

ビデオカセット レコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いがたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DV Digital
Video
Cassette

Mini **DV** Digital
Video
Cassette

SVHS

Hi-Fi

G-CODE™

WV-D10000

必ずお読みください

大切な録画の場合は

必ず事前にためし録りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません

本機やテープなどを使用中、万一これらの不具合により録画・録音されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

- 録画するとき
著作権保護のための信号が記録されているソフトを録画すると、テレビ画面に警告が表示され、録画が停止します。
著作権保護のための信号が記録されている放送を予約録画すると、録画動作は行われますが、映像・音声信号は記録されません。
- 再生するとき
著作権保護のための信号が記録されているソフトを本機で再生して他機で録画する場合、記録が制限されることがあります。
- あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

次のようなことはできません

- －市販のビデオソフト/レンタルビデオの編集・ダビング
- －DVとVHSで同時に同じ外部入力を録画する
- －DVとVHSで同時にBS放送を録画する
- －BS放送の録画中に別のBS放送を見る・録画する
- －DVをLPモードで録画する・再生する
- －DV入力/出力端子からテレビ放送やBS放送、入力端子につないだ機器の信号、VHSの再生信号などを出力する
- －DV入力/出力端子につないだ機器からVHSに録画する

画面分割機能について

本機は、画面分割機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、2画面モード/マルチピクチャーモードをお選びください(▶▶ 34、37ページ)。

本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、2画面分割機能などを利用して、画面の分割表示や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。
リモコンと同じなまえのビデオ本体のボタンも同じように使えます。

目次

操作の前に「接続と準備」(59ページ)を済ませておいてください。

主な特長 4

ここだけ読んでも使えます

ビデオを見る	6
BSを見る	8
録画する	10
予約する	12
予約を確認する・変更する・取り消す ...	14
ダビングする(おまかせダビング)..	16
テープの途中からダビングする	18

再生

CMをとばす	20
速さを変えて見る	21
場面を頭出しする	22
二か国語放送などの音声を切り換える	25
アフレコした音声を聞く	25
画面表示やテープ残量を見る	27
画像と音声を調整する(トラッキング、VHSのみ).	28
録画情報を見る(DVのみ).....	29

録画・予約

ビデオ本体で予約する(快速本体予約).....	30
Gコードで予約する	32

画面分割

2画面で見る(ツインピクチャー).....	34
裏番組を確認する(マルチピクチャー).....	37

編集

不要な場面をカットして編集する(カット編集)..	38
好きな場面を選んで自動編集する (プログラムダビング).....	41
タイトルを入れる (カセットメモリー付きDVのみ).....	44
カセットメモリーの内容を消す (カセットメモリー付きDVのみ).....	48
別売りのタイトラーを使って編集する	49
音声を重ねる(音声アフレコ).....	51

他機をつないで行う操作

ビデオ機器をつないで見る・ゲームをする	54
ビデオ機器をつないでダビング・編集する	56

接続と準備

接続と準備の流れ	59
手順1: 付属品を確かめる	60
手順2: リモコンを準備する.....	61
手順3: アンテナとテレビにつなぐ	62
手順4: BSアンテナをつなぐ	66
手順5: 電源コードをつなぐ.....	68
手順6: チャンネルを自動で合わせる (自動チャンネル合わせ).....	69
手順7: 時計を合わせる	70
手順8: Gコードの設定をする	72
チャンネルの番号を変える (手動チャンネル合わせ).....	76
Gコードの設定を変える	80
デコーダーやケーブルテレビなどをつなぐ	83
リモコンで各社のテレビを操作する	86
受信状態を調整する	87
お買い上げ時の設定を変える	88

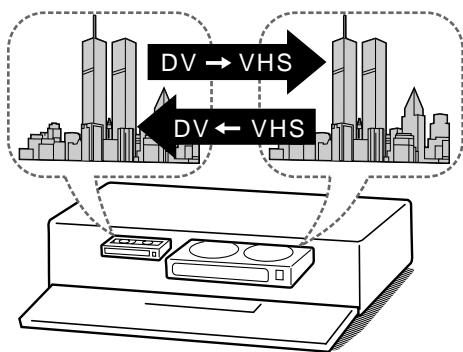
その他

使えるテープと再生・録画方式について	90
使用上のご注意	92
故障かな?と思ったら	94
自己診断表示 (アルファベットや数字で始まる表示、表示が出たら)..	97
保証書とアフターサービス	97
主な仕様	98
各部のなまえ	100
用語解説	106
索引	裏表紙

主な特長

本機は、デジタルビデオ(DV)とS-VHSビデオの2つのデッキがひとつになったダブルビデオです。使いたいデッキをボタンひとつで選んで操作できます。

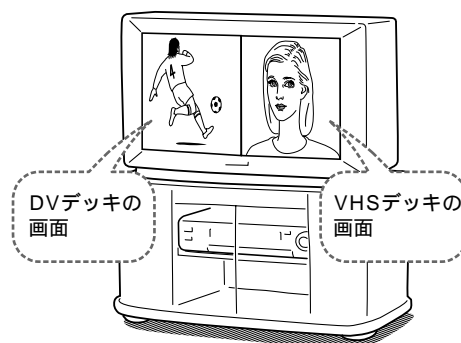
接続なしで簡単にダビング・編集できる



- おまかせダビング(34ページ)
- 好きな場面だけつないで編集(38ページ)

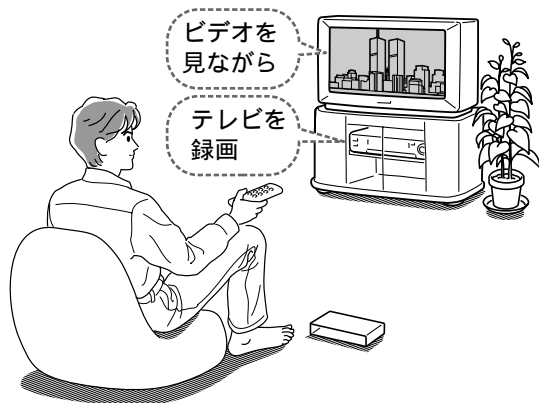
2つの画面を同時に見られる

(ツインピクチャー)(34ページ)



- DVとVHSのビデオを同時に見る
- 2つのテレビ番組を同時に見る・録画する

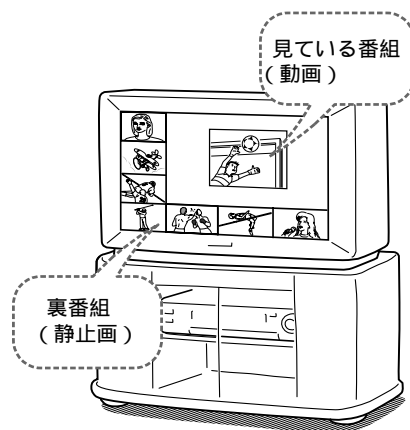
2つのデッキを同時に使える



- 片方のデッキを使用中に、もう片方のデッキでビデオを見る・録画する・予約する

7つの画面(静止画)で裏番組を確認できる

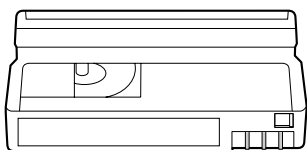
(マルチピクチャー)(37ページ)



DVデッキでできること

DVデッキでは、画像や音声をデジタル信号によって記録・再生します。高画質・高音質を楽しむことができます。

DV・ミニDVの2種類のカセットを使える



DVカセット



ミニDVカセット

- デジタルビデオカメラで撮影したミニDVカセットの映像を、本機で再生して見ることができます。

場面の頭出しができる



- 場面の一覧表示を使って頭出しする
(カセットメモリーのあるDVテープのみ)
(▶▶▶ 23ページ)

タイトルを入れられる

(カセットメモリーのあるDVテープのみ)



- 好きな場面にタイトルを入れる (▶▶▶ 44ページ)
- カセットになまえを付ける (▶▶▶ 47ページ)

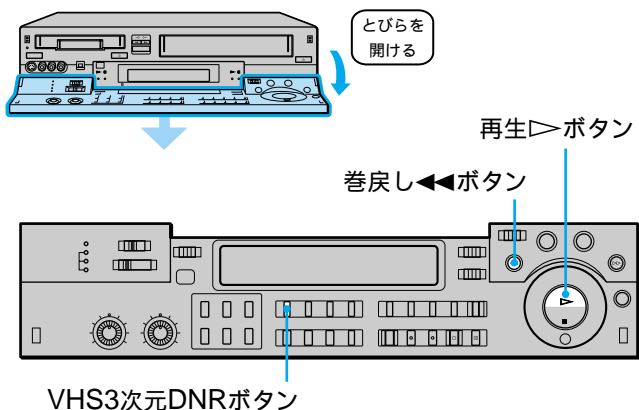
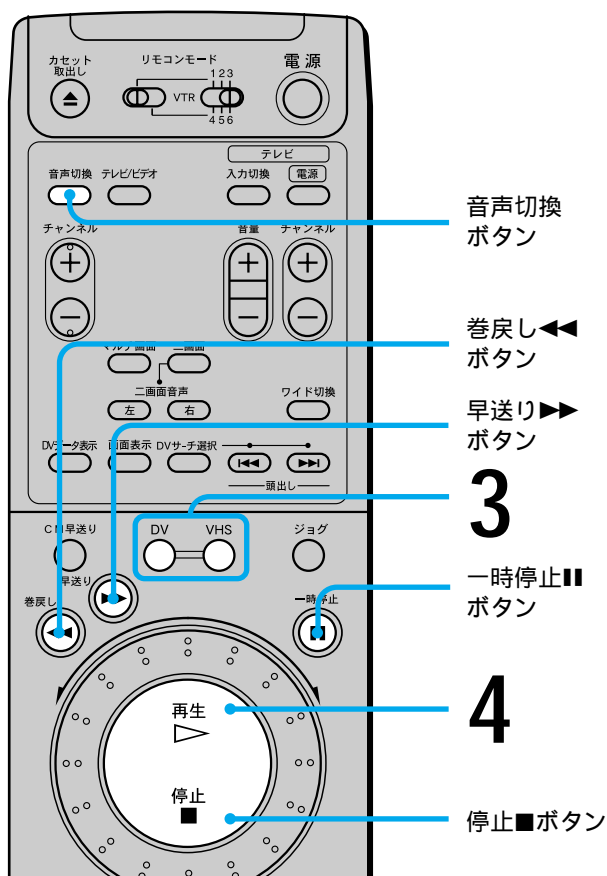
さらにこんなことができます。

- DV入力/出力端子を使ってデジタル編集 (▶▶▶ 57ページ)
- 12ビットの音声記録モードによる音声アフレコ (▶▶▶ 51ページ)
- 録画情報(日付・時刻・チャンネルなど)の確認 (▶▶▶ 29ページ)

ビデオを見る

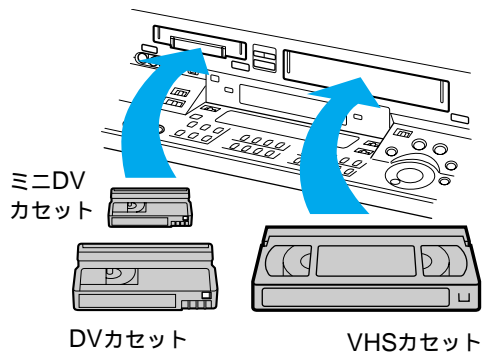
DVデッキでは、DVまたはミニDVのビデオテープを再生して見ることができます。

VHSデッキでは、S-VHSまたはVHSのビデオテープを再生して見ることができます。

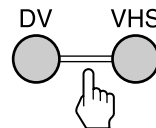


1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 カセットを入れる。
ビデオの電源が自動的に入ります。
ミニDVカセットを入れると、ビデオ本体の表示窓に「Mini」が表示されます。



3 DVまたはVHSボタンを押して、再生するデッキを選ぶ。



4 再生▷ボタンを押す。



⚠注意

小さなお子様がカセット挿入口に手を入れないようご注意ください。けがをすることがあります。

再生を止めるには

停止■ボタンを押します。

再生を一時停止するには

一時停止■ボタンを押します。

もう1度押すか5分以上たつと、再生に戻ります。

巻き戻し・早送りするには

停止中に巻き戻し◀◀ボタンまたは早送り▶▶ボタンを押します。

巻き戻し中または早送り中にもう1度押すと、押し続けている間、画像が見られません。

テープの頭から自動的に再生するには

停止中にビデオ本体の巻き戻し◀◀ボタンを押しながら、再生▷ボタンを押します。テープの頭まで巻き戻り、自動的に再生が始まります(オートプレイ)。

DVとVHSを同時に使うには

片方のデッキを使用中に、もう片方のデッキでビデオを見られます。手順3で使用していないデッキを選んでください。

DVテープの使用後は

テープを始めまで巻き戻して、ケースに入れた上で立てて保管するようにしてください。巻き戻さないで放置すると、画像や音声がかかる原因となることがあります。

ちょっと一言

- ツメの折れたVHSカセットを入れると、自動的にVHSデッキが選ばれ再生が始まります。
- 二か国語放送などの音声を切り換えるには、音声切換ボタンを押します(▶▶▶ 25ページ)。
- DNRランプが点灯しているときは、再生画のノイズが軽減され、よりきれいな画像を楽しむことができます(VHSのみ、▶▶▶ 106ページ)。VHS3次元DNRボタンで入/切できます。

ご注意

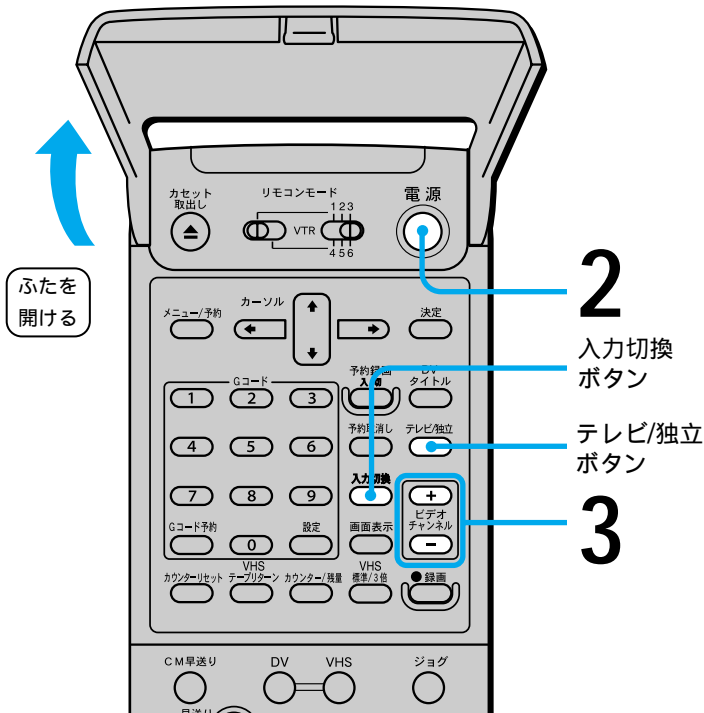
- カセット挿入口にDV、ミニDVまたはVHSカセット以外のものを入れないでください。故障の原因になります。
- DVデッキではSPモードで録画したテープのみ再生できます。

こんなときは

- リモコンで操作できない。
リモコンモードを確認してください
(▶▶▶ 61ページ)。

BSを見る

このビデオにはBSチューナーが内蔵されています。別売りのBSアンテナにつなげば、テレビにBSチューナーがなくてもBS放送が楽しめます。



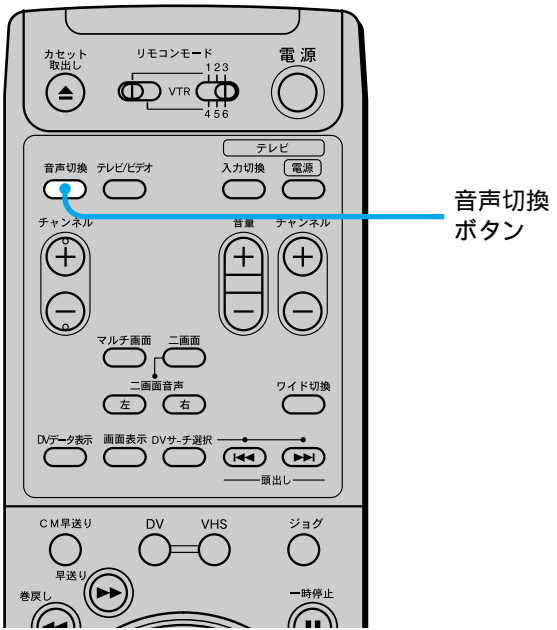
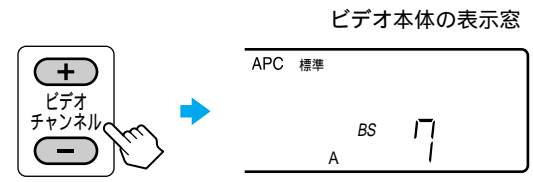
1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。




3 ビデオチャンネル +/- ボタンを押してチャンネルを選ぶ。
+ ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

VHF/UHFチャンネル(CH1、CH3、...) BSチャンネル(BS1、BS3、...) 入力1(L1) 入力2(L2)
DV入力(DVデッキのみ)






ちょっと一言

- 二か国語放送などの音声を切り換えるには、音声切換ボタンを押します( 25ページ)。
- 入力切換ボタンを押してBS放送に切り換えることもできます。押すたびに次のように切り換わります。
VHF/UHFチャンネル BSチャンネル 入力1 入力2
DV入力(DVデッキのみ)
- テレビ/独立ボタンを押すと、独立音声がかかります。

ご注意

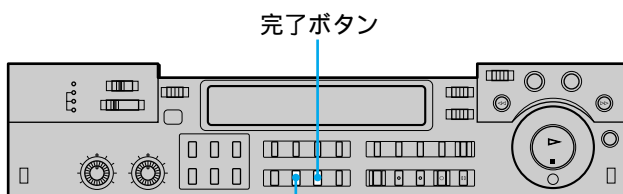
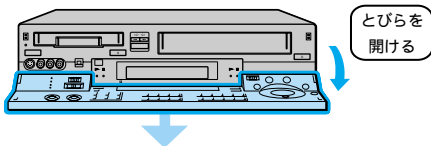
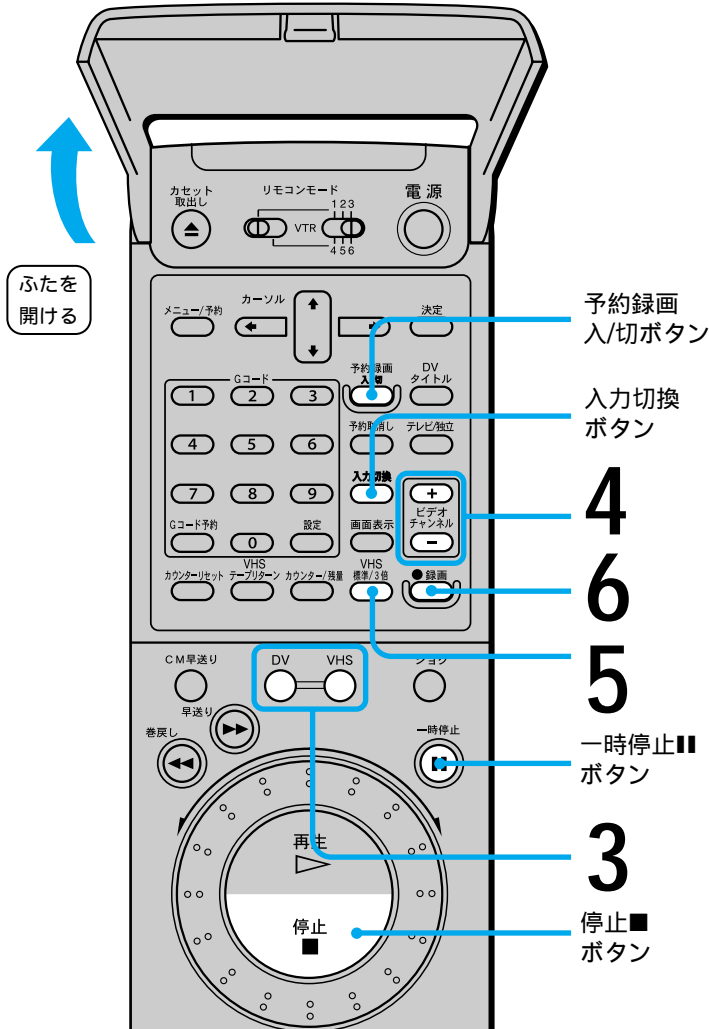
- 次のときはデコーダーで音声を切り換えてください。
 - St.GIGAを聞くとき
 - WOWOWの音声多重放送のとき

こんなときは

- BS放送が映らない。
BSアンテナを正しくつないでください
( 64、66ページ)。
BSアンテナの向きを正しく合わせてください
( 66ページ)。
- リモコンで操作できない。
リモコンモードを確認してください
( 61ページ)。

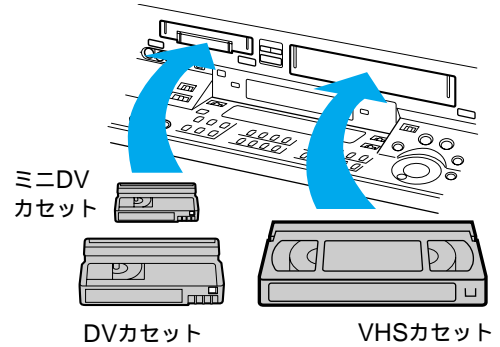
録画する

テレビで見ている番組を録画したり、裏番組を録画したりできます。

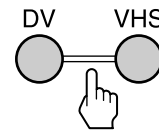


1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 カセットを入れる。
ビデオの電源が自動的に入ります。

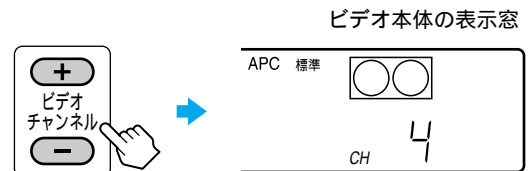


3 DVまたはVHSボタンを押して、録画するデッキを選ぶ。

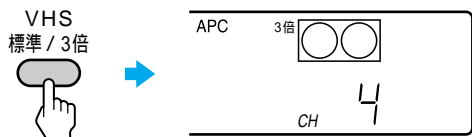


4 ビデオチャンネル+/- ボタンを押して録画するチャンネルを選ぶ。
+ ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

VHF/UHFチャンネル(CH1, CH3, ...) BSチャンネル(BS1, BS3, ...) 入力1(L1) 入力2(L2)
DV入力(DVのみ)



5 VHS標準/3倍ボタンを押して、録画モードを選ぶ(VHSのみ)。長時間録画したいときは、ビデオ本体の表示窓に「3倍」を出します。標準の3倍長く録画できます。画質は「標準」の方が優れています。



6 録画●ボタンを押す。このあとテレビの電源を切っても、録画に影響はありません。



録画中に裏番組を見るには

DVまたはVHSボタンを押して、使っていないデッキを選び、ビデオチャンネル+/- ボタンでチャンネルを変えます。またはテレビの入力を「テレビ」に切り換えて、テレビのチャンネルを選びます。録画に影響はありません。

録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

録画を一時停止するには

一時停止■ボタンを押します。録画一時停止が5分以上続くと自動的に停止します。

録画中に終了時刻を決めるには

録画中に、30分単位で終了時刻を決めることができます。ただし、選んでいるデッキに予約が6番組あるときは、この操作はできません。

- 1 録画中にビデオ本体の終了時刻ボタンを押す。押すたびに30分単位で終了時刻が変わります。
- 2 ビデオ本体の完了ボタンを押す。

終了時刻を決めたあとで録画を止めたいときは、予約録画入/切ボタンを押してください。

DVとVHSを同時に使うには

片方のデッキを使用中に、もう片方のデッキで録画できます。手順3で使用していないデッキを選んでください。

ちょっと一言

- 本機の入力端子につないだ機器から録画するときは、手順4で入力切換ボタンを押して「L1」または「L2」を選ぶこともできます。DVデッキで「L1」または「L2」を選んだときは、録音レベルとバランスの調節ができます(➡51ページ)。
- 本機のDV端子につないだ機器から録画するときは、手順4で入力切換ボタンを押して「DV」を選ぶこともできます(DVのみ)。
- 本機の入力1端子にS映像コードをつないだときは、映像・音声コードの映像端子(黄)はつなぎません。このとき、メニューの「各種設定1」で「映像入力1」を「S映像」にします(➡89ページ)。
- 本機の入力1端子または入力2端子につないだ機器からDVデッキで録画するとき、音声記録モード(12ビット、16ビット)を選べます(➡89ページ)。
- DVデッキでテレビやBS放送を録画すると、音声は自動的に16ビットで記録されます。

ご注意

- DVデッキでは、常にSPモードで録画します。

こんなときは

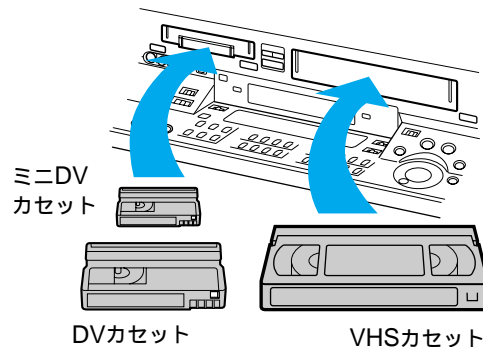
- 録画●ボタンを押すと、カセットが出てくる。カセットのつまみが赤になっています。つまみを戻してください(DVテープ)(➡91ページ)。
カセットのツメが折れています。セロハンテープなどを貼ってツメの穴をふさいでください(VHSテープ)(➡91ページ)。
- リモコンで操作できない。
リモコンモードを確認してください(➡61ページ)。

予約する

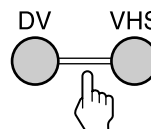
1か月先までの番組や、毎日または毎週の番組を予約できます。それ以外に、今日と明日に放送される番組のビデオ本体を使った予約(▶▶30ページ)や、Gコードを使った予約(▶▶32ページ)と合わせて、DVデッキ、VHSデッキそれぞれに6番組まで予約できます。

1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

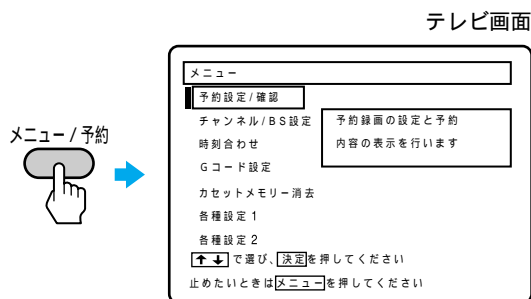
2 カセットを入れる。
ビデオの電源が自動的に入ります。



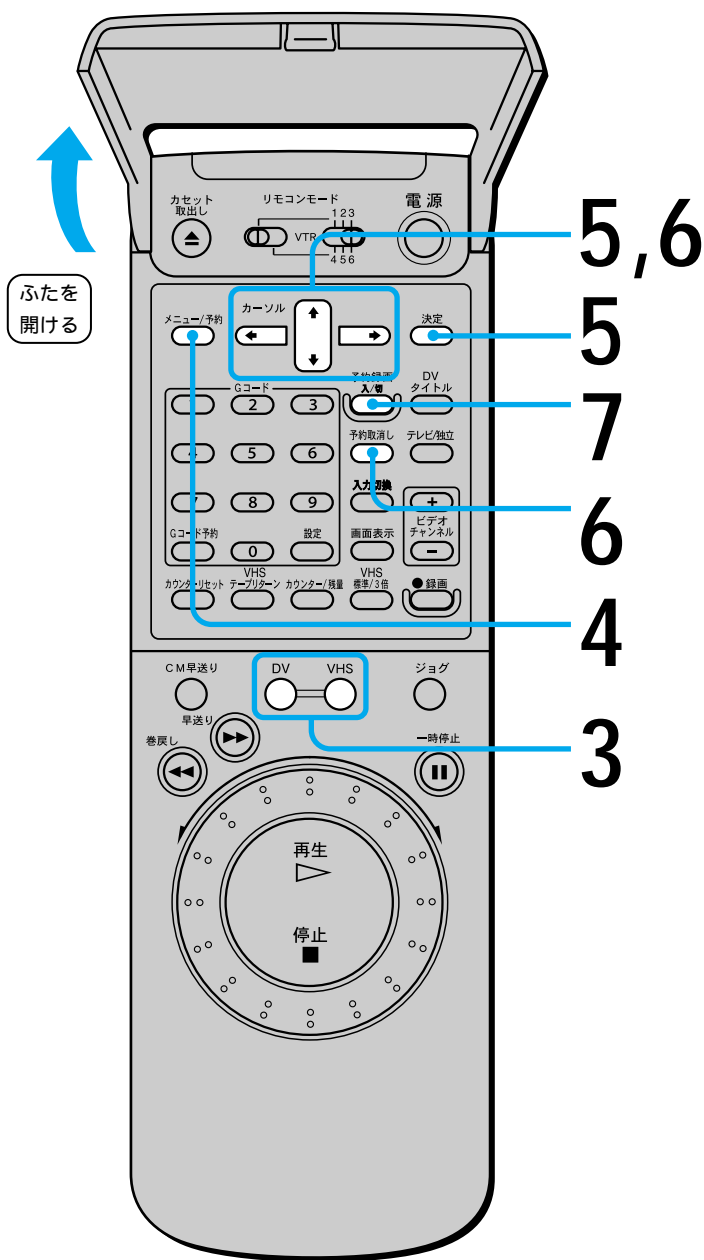
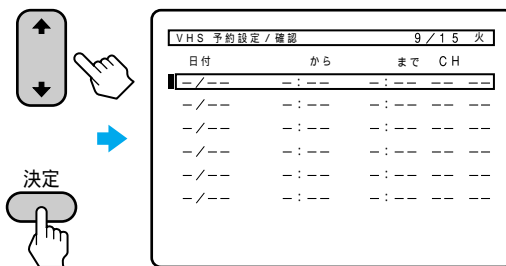
3 DVまたはVHSボタンを押して、予約するデッキを選ぶ。



4 メニュー/予約ボタンを押す。

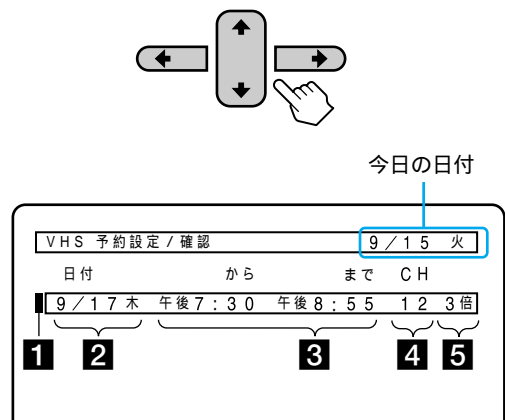


5 ▲/▼で「予約設定/確認」を選び、決定ボタンを押す。



ふたを開ける

6 ▲/▼/←/→で日時とチャンネルを選ぶ。



1 ▲/▼で予約を入れる行を選び、→を押す。

2 ▲/▼で日付を選び、→を押す。
毎日または毎週同じ番組を予約するときは、▼を押して選びます。

今日(9/15) 毎日 毎週月~土 毎週月~金
毎週土 毎週日 1か月先の日(10/14)
今日(9/15).....

- 間違えたときは
←を押して前の項目に戻ります。
- 途中でやめるときは
予約取消しボタンを押します。

3 ▲/▼で時刻を選び、→を押す。

4 ▲/▼でチャンネルを選び、→を押す。
▲を押すたびに以下のように切り換わります。

VHF/UHFチャンネル(CH1、CH3、...) BS
チャンネル(BS1、BS3、...) 入力1 入力2

- 本機の入力端子につないだ機器を予約するには
「入力1」または「入力2」を選びます。

5 ▲/▼で録画モード(標準/3倍)を選ぶ
(VHSのみ)
長時間録画したいときは「3倍」にします。

6 →を押す。
選んだ行に予約が入ります。

7 続けて予約するときは、**1** ~ **6**を繰り返す。

7 予約録画入/切ボタンを押す。
ビデオ本体の予約録画表示が点灯して電源が切れ、予約待機になります。



予約録画中に録画を止めるには

予約録画入/切ボタンを押します。

予約待機中にビデオを使うには

予約の入っていないデッキは、デッキを選んでそのまま使えます。

予約が入っているデッキを使うときは、DVまたはVHSボタンを押して予約の入っているデッキを選び、予約録画入/切ボタンを押して本体の予約録画表示を消します。使い終わったあとは、予約用のカセットを入れて、予約開始時刻になる前に予約録画入/切ボタンを押してください(ビデオ本体の予約録画表示が点灯)。

DVとVHSを同時に使うには

片方のデッキを使用中でも、もう片方のデッキに予約を入れることができます。

ちょっと一言

- 次の日にまたがる番組は、開始する日付はそのままで終了時刻を合わせます。終了時刻は自動的に次の日に設定されます。

ご注意

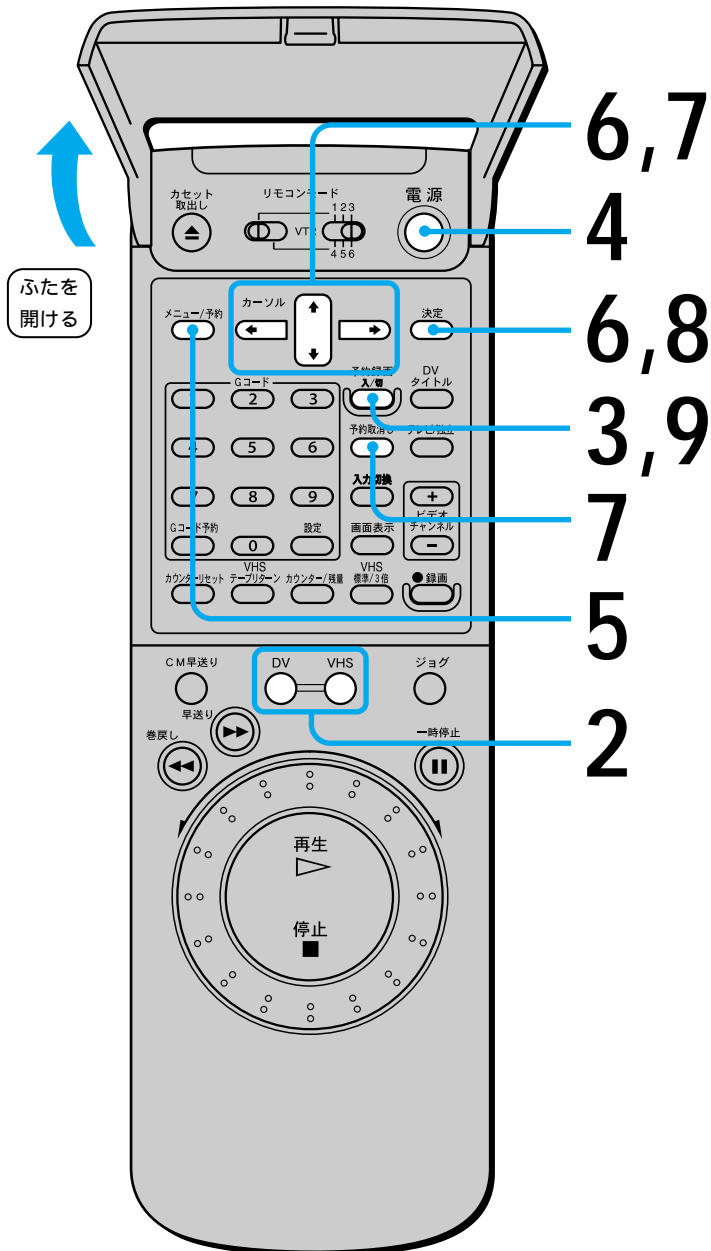
- DVデッキでは、常にSPモードで録画します。
- 本機のDV端子につないだ機器の予約はできません。

こんなときは

- 手順7で予約録画入/切ボタンを押したあと、カセットが出てくる。
カセットのつまみが赤になっています。つまみを戻してください(DVテープ)
(91ページ)
カセットのツメが折れています。セロハンテープなどを貼ってツメの穴をふさいでください(VHSテープ)(91ページ)
- 予約したのに録画されていない。
ビデオの時計で日付と時刻を正しく合わせてください(70ページ)
- リモコンで操作できない。
リモコンモードを確認してください
(61ページ)

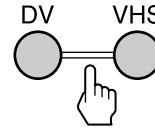
予約を確認する・ 変更する・取り消す

テレビ画面を使って、予約の確認、変更、取り消しができます。



1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 DVまたはVHSボタンを押して、予約の入っているデッキを選ぶ。



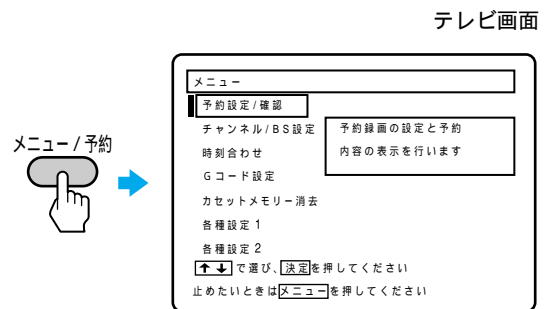
3 予約録画入/切ボタンを押して、ビデオ本体の予約録画表示を消す。



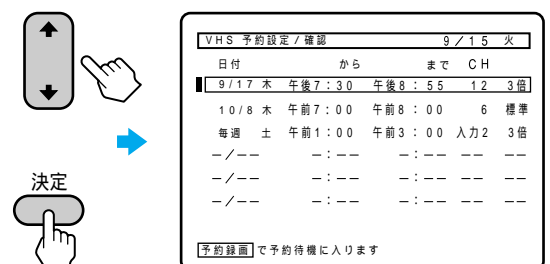
4 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。



5 メニュー/予約ボタンを押す。

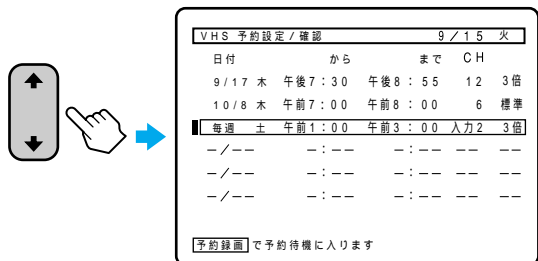


6 ▲/▼で「予約設定/確認」を選び、決定ボタンを押す。

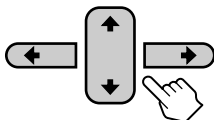


7

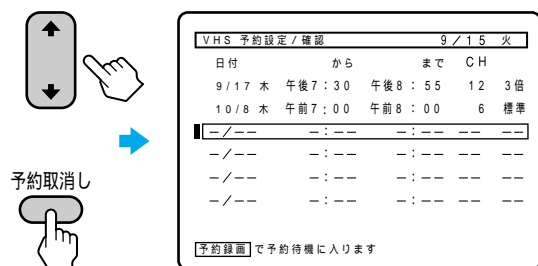
- 予約を確認するには
予約の内容がテレビ画面に表示されています。確認してください。
- 予約を変更するには
1 ▲/▼で変更する予約内容を選ぶ。



- 2** ◀/▶で変えたい項目を選び、▲/▼で変更する。



- 予約を取り消すには
▲/▼で取り消す内容を選び、予約取消しボタンを押す。



続けて別の予約を変更または取消すときは
手順7を繰り返します。

8

- 決定ボタンを押す。
メニューが消えます。



9

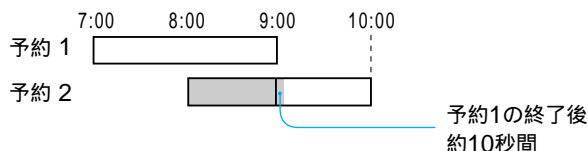
- 予約録画入/切ボタンを押す。
予約待機に戻ります。ただし、予約をすべて取り消した場合は予約録画入/切ボタンを押す必要はありません。



同じデッキで予約が重なったり連続したときは

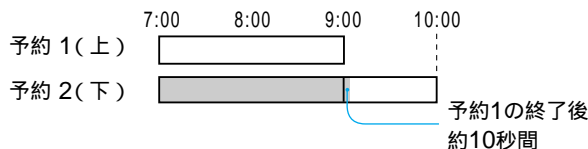
■ で示した部分は録画しません。

- 予約時間帯が重なっているとき
先に始まる予約が優先されます。



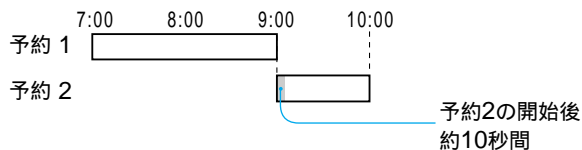
- 予約開始時刻が同じとき

「予約設定/確認」画面で、上に表示される予約が優先されます。



- 一方の予約の終了時刻と、もう一方の予約の開始時刻が同じとき

後から始まる予約の最初の10秒間が録画されません。



ちょっと一言

- DVデッキとVHSデッキの予約時間帯が重なっても録画できます。ただし、DVデッキとVHSデッキで同時にBS放送を録画したり、同時に同じ外部入力を録画したりすることはできません。

ご注意


- DVデッキでは、常にSPモードで録画します。

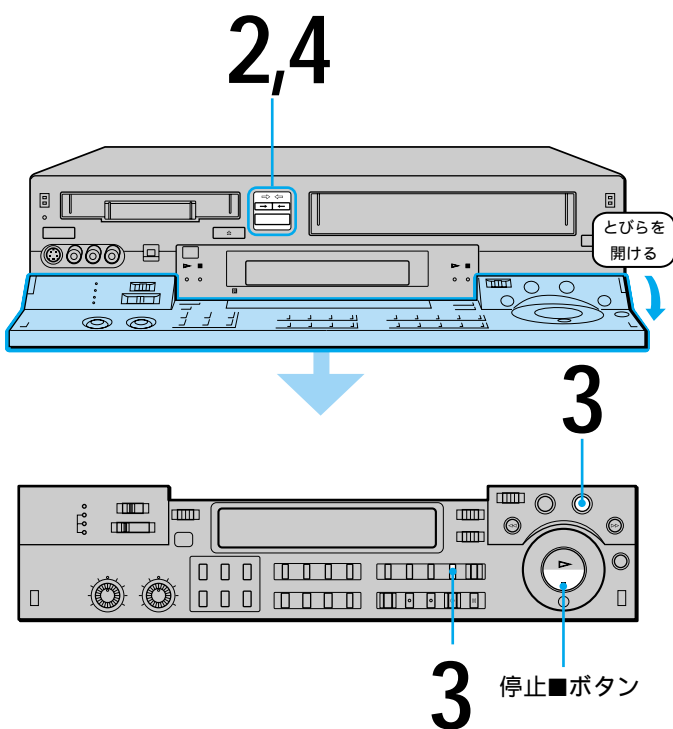
こんなときは

- リモコンで操作できない。
リモコンモードを確認してください
(▶▶▶ 61ページ)

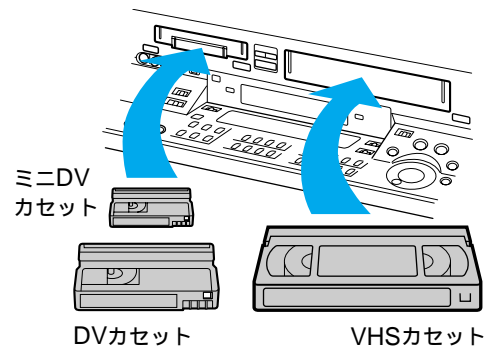
ダビングする (おまかせダビング)

- 著作権保護のため、市販のビデオソフトやレンタルビデオなどはダビングできません。
- VHSからDVにダビングするとき、ご自分で録画したVHSテープのツメが折れていると、自動的にカセットが出てきてダビングできません。

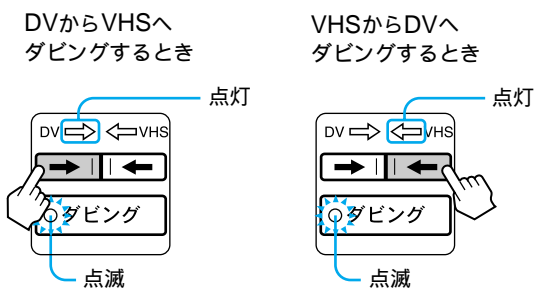
自動的にテープが頭まで巻き戻され、最初から最後までダビングできます。終わるとテープが頭まで巻き戻され、カセットが出てきて、電源が切れます。テープの途中からダビングしたいときは、 18ページをご覧ください。
リモコンでは操作できません。



- 1** 両方のデッキにカセットを入れる。
電源が自動的に入ります。
VHSテープのツメが折れていないことを確認してください。折れているときはセロハンテープなどでふさいでください。

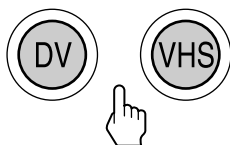


- 2** ダビングの方向を選ぶ。
大切な録画内容を消さないように、方向をしっかりと確認してください。

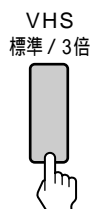


3 録画モードを選ぶ(DVからVHSへダビングするとき)

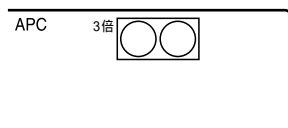
1 VHSデッキを選ぶ。



2 VHS標準/3倍ボタンを押して、録画モードを選ぶ。



- 長時間録画したいときはビデオ本体の表示窓に「3倍」を出します。



ダビングを止めるには

停止■ボタンを押します。

ちょっと一言

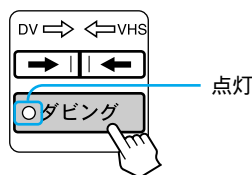
- 二か国語放送などで録画したテープをダビングするときは、あらかじめ再生し、リモコンの音声切換ボタンで音声を選んでおきます(25ページ)。
- アフレコしたテープをダビングするとき、ダビングしたい音声を選べます。DVからVHSにダビングするときは、DV音声切換スイッチで選びます(25ページ)。VHSからDVにダビングするときは、メニューの「各種設定2」の「VHS音声ミックス」で選びます(26ページ)。
- DVテープにダビングするときは、音声記録モード(12ビット、16ビット)を選べます(89ページ)。

ご注意

- DVデッキでは、常にSPモードで録画します。
- LPモードで録画したDVテープからのダビングはできません。
- ダビングしたテープの最初の部分の画像が乱れることがあります。
- ダビングでは、録音レベルおよびバランスの調整はできません。

4 ダビングボタンを押す。

両方のテープが自動的に頭まで巻き戻され、ダビングが始まります。どちらかのテープが終わると、自動的に両方のテープが頭まで巻き戻され、カセットが出てきて、電源が切れます。



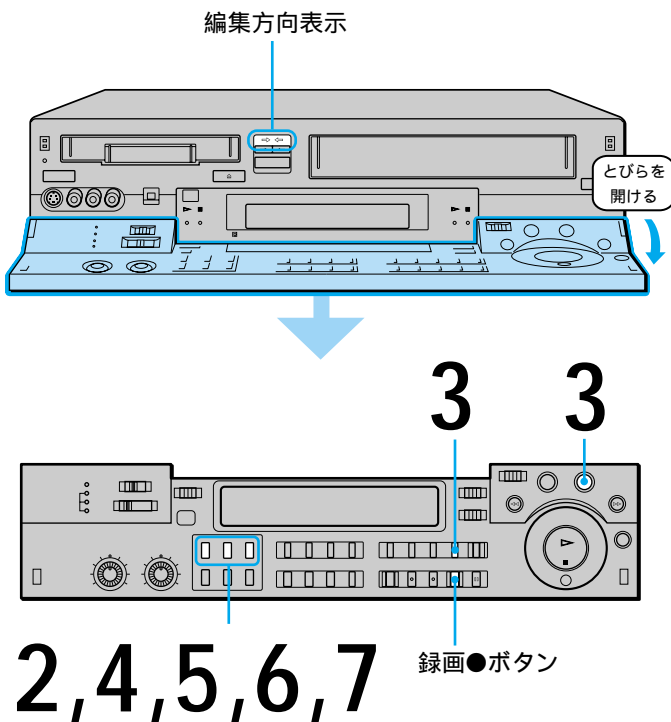
こんなときは

- 自動的にカセットが出てくる。
コピーガード(録画防止機能)がついているビデオソフトです(DV・VHSテープ)。カセットのつまみが赤になっています。つまみを戻してください(DVテープ) (91ページ)
カセットのツメが折れています。セロハンテープなどを貼ってツメの穴をふさいでください(VHSテープ) (91ページ)

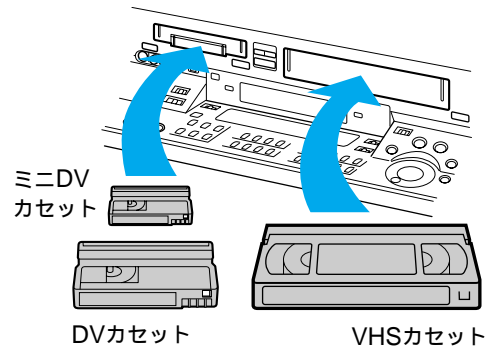
テープの途中から ダビングする

- 著作権保護のため、市販のビデオソフトやレンタルビデオなどはダビングできません。
- VHSからDVにダビングするとき、ご自分で録画したVHSテープのツメが折れていると、自動的にカセットが出てきてダビングできません。

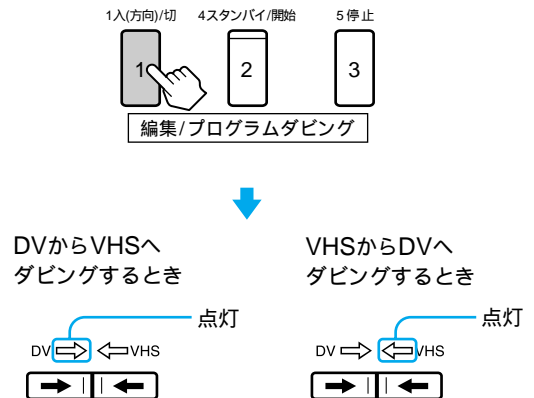
テープの好きなところからダビングを始め、好きなところで止めることができます。
リモコンでは操作できません。



- 1 両方のデッキにカセットを入れ、ダビングを始める場面まで巻き戻し(または早送り)しておく。
カセットを入れると、電源が自動的に入ります。
VHSテープのツメが折れていないことを確認してください。折れているときはセロハンテープなどでふさいでください。

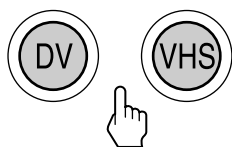


- 2 編集入(方向)/切ボタンを押して、ダビングの方向を選ぶ。
押すたびに編集方向表示は「⇒」「⇐」(切)と切り換わります。大切な録画内容を消さないように、方向をしっかりと確認してください。

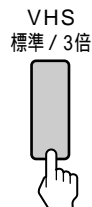


3 録画モードを選ぶ(DVからVHSへダビングするとき)

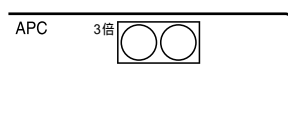
1 VHSデッキを選ぶ。



2 VHS標準/3倍ボタンを押して、録画モードを選ぶ。

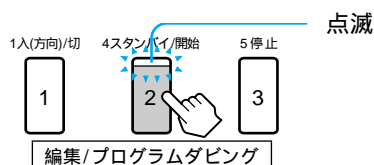


- 長時間録画したいときはビデオ本体の表示窓に「3倍」を出します。

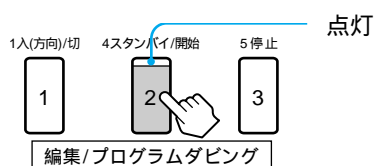


4 編集スタンバイ/開始ボタンを押す。ボタンの上にある表示灯が点滅し、数秒後に両方のデッキが一時停止状態になります。

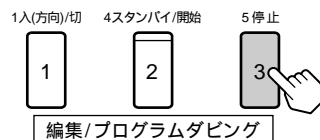
VHSで録画するときに、ビデオ本体の表示窓にAPC表示が点滅していたら、録画●ボタンを押して点灯させます。これでAPCが働きます(89ページ)。



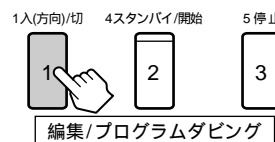
5 編集スタンバイ/開始ボタンをもう1回押す。両方のデッキの一時停止が解除され、ダビングが始まります。



6 終わったら、編集停止ボタンを押す。



7 編集入(方向)/切ボタンを押して、編集方向表示を消す。



ダビングを止めるには

編集停止ボタンを押します。

ちょっと一言

- 操作中の画面表示は録画されません。
- 二か国語放送などで録画したテープをダビングするときは、あらかじめ再生し、リモコンの音声切換ボタンで音声を選んでおきます(25ページ)。
- アフレコしたテープをダビングするとき、ダビングしたい音声を選べます。DVからVHSにダビングするときは、DV音声切換スイッチで選びます(25ページ)。VHSからDVにダビングするときは、メニューの「各種設定2」の「VHS音声ミックス」で選びます(26ページ)。
- DVテープにダビングするときは、音声記録モード(12ビット、16ビット)を選べます(89ページ)。

ご注意

- ダビングでは、録音レベルおよびバランスの調整はできません。
- LPモードで録画したDVテープからのダビングはできません。

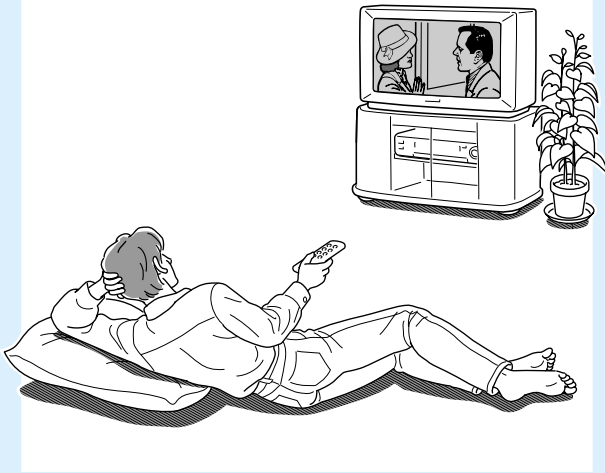
こんなときは

- 自動的にカセットが出てくる。
コピーガード(録画防止機能)がついているビデオソフトです。
カセットのつまみが赤になっています。つまみを戻してください(DVテープ)
(91ページ)
カセットのツメが折れています。セロハンテープなどを貼ってツメの穴をふさいでください(VHSテープ)(91ページ)。

再生

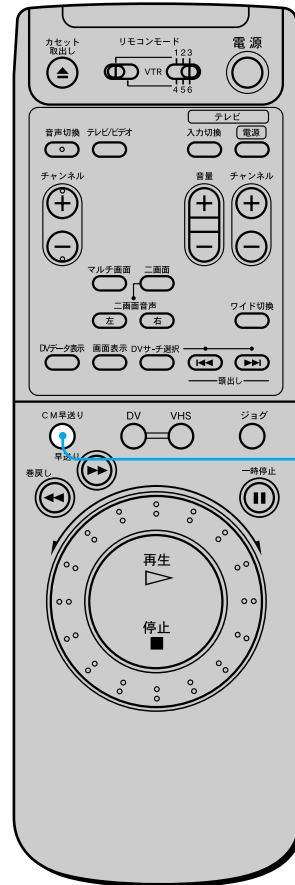
ここでは、再生するとき使えるいろいろな機能について説明します。

スロー・2倍速などの変速再生ができるほか、録画した番組のとばしたい部分（CMなど）を早送りしたり、1本のテープに録画した各番組を頭出ししたりできます。また、二か国語放送などの主音声・副音声の切り換え、アフレコした音声の切り換え、テープカウンターやテープ残量の表示、画像と音声の調整など、再生に役立つ機能もあります。



CMをとばす

録画したテープを見ているときに、CMなど、とばしたい部分を早送りすることができます。



CM早送りボタン

再生中にとばしたい部分で、CM早送りボタンを押す。

テープの30秒ぶんを早送りしたあと、自動的に再生に戻ります。早送り中は、音声は出ません。

CM早送り



続けて1分以上早送りするには

CM早送りボタンを2回以上押します。

押すたびに30秒ずつ、最長2分間（4回押したぶん）まで早送りします。

ご注意

- 録画中は、CM早送りボタンは働きません。

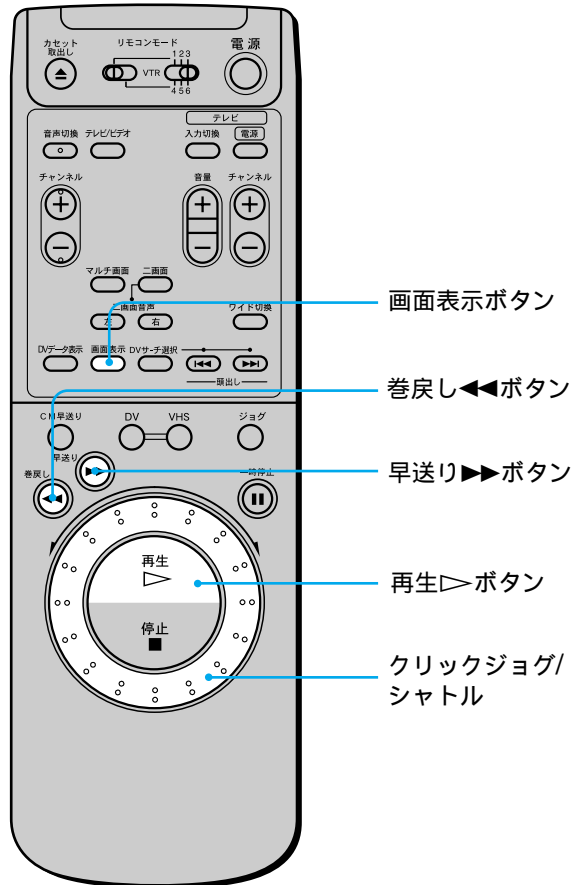
速さを変えて見る

いろいろな速さで画像を見ることができます。再生の速さを変えると、音声は出ません。

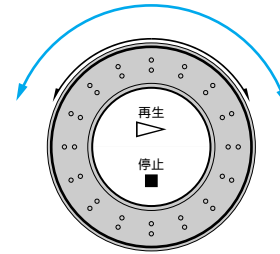
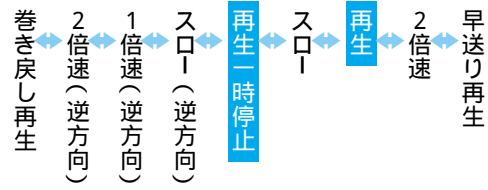
リモコンおよびビデオ本体のクリックジョグ/シャトルは、再生中や再生一時停止中にはクリックシャトルとして、ジョグボタンを押したときにはクリックジョグとして働きます。

クリックシャトルで速さを変える

ビデオを見ているときにクリックジョグ/シャトルを回すと、スローや2倍速などいろいろな速さに変えられます。



再生中または再生一時停止中にクリックジョグ/シャトルを回す。



画面表示ボタンを押すと、下の表示が出ます。

画像の速さ	画面表示
早送り再生	---- ---->
2倍速	---- ---->
再生	---- --->--
スロー	---- >---
再生一時停止	---- ----
スロー (逆方向)	----< ----
1倍速 (逆方向)	--<<< ----
2倍速 (逆方向)	<--- ----
巻き戻し再生	<--- ----

ふつうの再生に戻すには

クリックジョグ/シャトルを回して再生の位置に戻すか、再生▷ボタンを押します。

ちょっと一言

- 再生中に早送り▶▶ボタンや巻き戻し◀◀ボタンを押すと、押している間早送り再生や巻き戻し再生になります。
- スローで見ているときに、DVデッキは1分以上、VHSデッキは5分以上たつと自動的にふつうの再生になります。

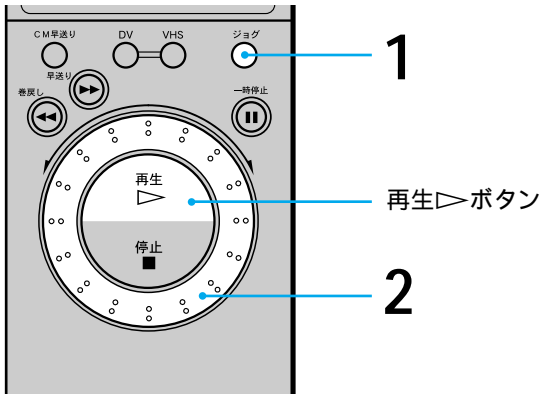
ご注意

- 停止中、録画中、録画一時停止中は、クリックシャトルは働きません。
- 本体にクリックシャトルがないソニーのビデオを、本機のリモコンのクリックシャトルで操作しても、動きません。

速さを変えて見る(つづき)

コマ送りで見ると

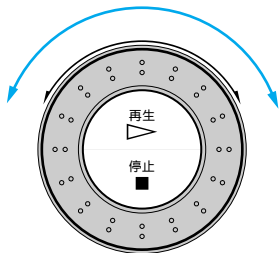
ジョグボタンを押すと、クリックジョグ/シャトルを回すスピードに応じて、コマ単位で再生の速さを変えられます。



- 1 再生中または再生一時停止中にジョグボタンを押す。
ジョグランプが点灯します。



- 2 クリックジョグ/シャトルを回す。
正方向・逆方向ともに、回すスピードに応じてコマ送りからふつ々の再生の範囲で速さが変わります。



ふつ々の再生に戻すには

再生▷ボタンを押します。

ご注意

- 停止中、録画中、録画一時停止中は、クリックジョグは動きません。
- 本体にクリックジョグがないソニーのビデオを、本機のリモコンのクリックジョグで操作しても、動きません。

場面を頭出しする

いくつかの場面を1本のテープに録画したときは、各場面の頭出しができます。本機では、以下のような頭出しができます。

- 録画開始位置で頭出しする
(インデックスサーチ)
- デジタルビデオカメラで撮影した日付で頭出しする
(日付サーチ)
- デジタルビデオカメラのフォトモードで撮影した場面を頭出しする
(フォトサーチ)
- 場面に入れたタイトルで頭出しする
(タイトルサーチ)

各頭出しができるかどうかは、テープの種類によって以下のように変わります。

	DVテープ*1	DVテープ*2	VHSテープ
インデックス			
日付		-	-
フォト		-	-
タイトル		-	-

*1 カセットメモリー付き

*2 カセットメモリーなし

- カセットメモリー付きのDVテープを使うとき
カセットメモリーに記録された頭出し信号を使って、場面の一覧表示から見たい番組を頭出しできます。「場面の一覧表示を使って頭出しする」(23ページ)をご覧ください。
- カセットメモリーのないDVテープやVHSテープを使うとき
テープ上に記録された頭出し信号を使って、前後の番組を順に頭出しできます。「前後の場面を順に頭出しする」(24ページ)をご覧ください。

頭出し信号について

頭出し信号は次のときに自動的に付きます。

- 録画が始まったとき
- 録画一時停止中にチャンネルを変えて、再び録画を始めたとき
- 予約録画が始まったとき
- タイトルを入れたとき(タイトル信号のみ)

頭出しの方法に応じて4種類の頭出し信号があります。頭出し信号はカセットメモリーとテープ上に記録されますが、カセットメモリーの有無や、録画した機器によって記録される信号が異なります。信号がないときは、その信号を使った頭出しはできませんのでご注意ください。

本機で録画したとき

	カセットメモリー	テープ上
インデックス信号	記録する	記録する
日付信号	記録しない	記録する
フォト信号	記録しない	記録しない
タイトル信号	記録する	記録しない

デジタルビデオカメラ(DCR-TRV7など)で撮影したとき

	カセットメモリー	テープ上
インデックス信号	記録しない	記録しない
日付信号	記録する*	記録する
フォト信号	記録する*	記録する
タイトル信号	記録する*	記録しない

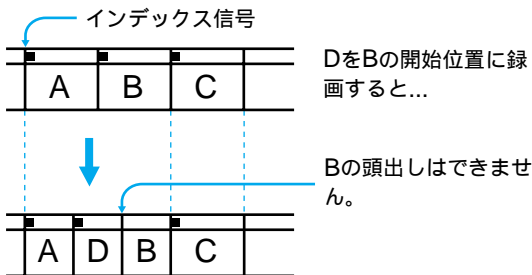
*カセットメモリーに対応していないデジタルビデオカメラ(DCR-PC7など)では、カセットメモリーに記録できません。

ちょっと一言

- C114KマークのあるDVテープを使うと、本機ではインデックスを最大12個までカセットメモリーに記録できます。ただし、日付信号、フォト信号、タイトル信号の数によって、記録できるインデックス信号の数は変化します。

ご注意

- 頭出し信号は録画を開始した時点で記録されます。開始位置の上に他の番組を録画した場合、もとの番組は頭出しできなくなります。

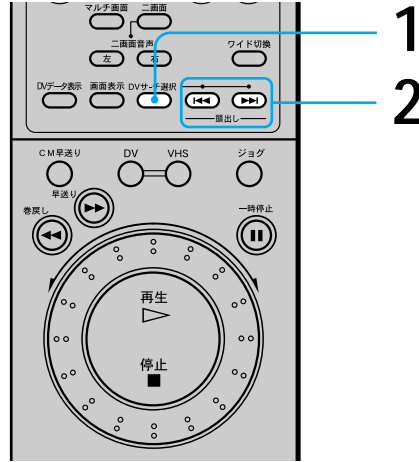


- 録画した部分の間に無記録の部分があるテープでは、頭出しが正しくできないことがあります。
- ソニー以外のデジタルビデオで記録されたテープでは、頭出しができないことがあります。

場面の一覧表示を使って頭出しする

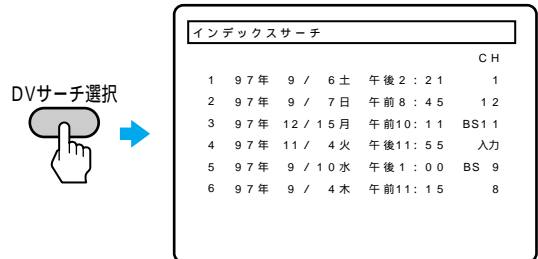
録画した場面の日付や時間などをテレビ画面に一覧表示して、見たい番組を選べます。カセットメモリー付きのDVテープでのみできます。

メニューの「各種設定2」で「カセットメモリーサーチ」を「自動」にしておいてください(89ページ)。

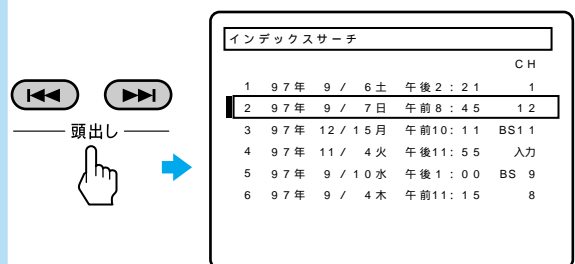


- 1 DVサーチ選択ボタンを繰り返し押し、頭出しの種類を選ぶ。押すたびに次のように切り換わります。

インデックスサーチ 日付サーチ フォトサーチ
タイトルサーチ もとの画面



- 2 頭出し◀◀/▶▶ボタンを繰り返し押し、頭出ししたい場面を選ぶ。▶▶で次の場面を、◀◀で前の場面を頭出しして再生します。




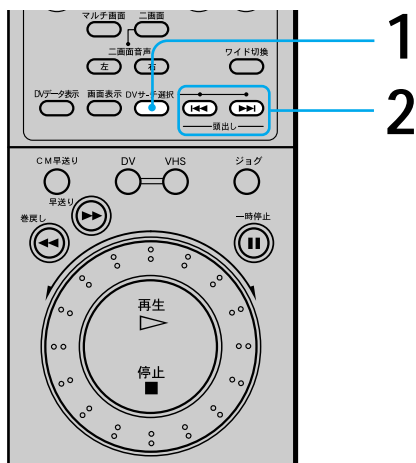
場面を頭出しする(つづき)

ちょっと一言

- フォトサーチでは、デジタルビデオカメラレコーダーで静止画を撮影したときの日付と時間を一覧表示して、見たい静止画を選べます。

前後の場면을順に頭出しする

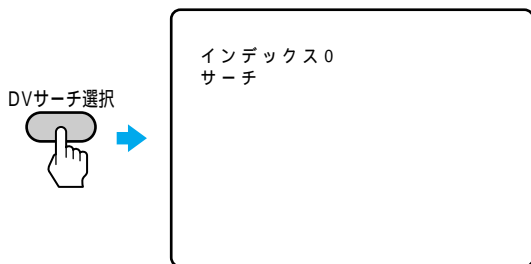
ボタンを押すたびに、前後の場면을順に頭出しできます。場面の一覧表示は出ません。カセットメモリー付きのDVテープでこの頭出しをしたいときは、メニューの「各種設定2」で「カセットメモリーサーチ」を「切」にしておいてください( 89ページ)。



1 DVサーチ選択ボタンを繰り返し押し、頭出しの種類を選ぶ。

押すたびに次のように切り換わります。

インデックスサーチ 日付サーチ フォトサーチ
もとの画面

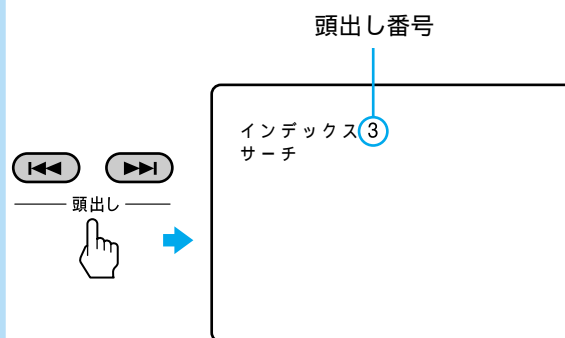


2 頭出し◀◀/▶▶ボタンを繰り返し押し、頭出ししたいところの頭出し番号を選ぶ。

頭出し番号

-2	-1	1	2
前の場面	今の場面	次の場面	

▶▶で次の番組を、◀◀で前の番組を頭出しして再生します。



ちょっと一言

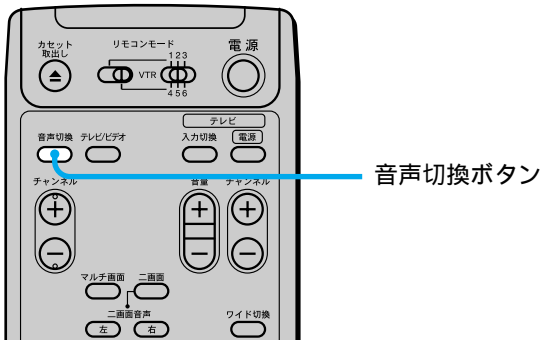
- 他機で録画した頭出し信号の付いたテープも、本機で番組を頭出しできます。

ご注意

- カセットメモリーのないDVテープでは、タイトルサーチはできません。
- VHSテープでは、インデックスサーチのみできます。

二か国語放送などの 音声を切り換える

二か国語放送などを録画したテープを再生すると、主音声と副音声と同時に聞こえます。聞きたい音声に切り換えてください。ステレオ放送を録画したテープは、自動的にステレオで聞こえます。



再生中に音声切換ボタンを押す。
ボタンを押すたびに、画面に出る表示と聞こえる音声が次のように切り換わります。



ビデオ本体表示 窓に出る表示	聞こえる音声	
	二か国語放送	ステレオ放送
主/左・副/右* またはステレオ	主音声と副音声の混合	ステレオ
主/左	主音声	左チャンネル
副/右	副音声	右チャンネル
表示なし**	主音声	モノラル

* DVのみ(二か国語放送かステレオ放送かを自動判別します)。

**VHSのみ

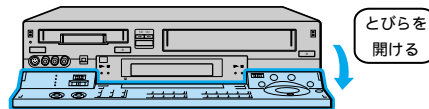
ご注意

- 音声切換ボタンは、次のとき働きません。
 - モノラルビデオで録画したテープを再生したとき(常にモノラル)
 - ステレオ放送を受信しているとき
 - メニューの「各種設定2」で「VHS音声ミックス」を「入」にしたとき(89ページ)
- 12ビットで音声を記録したDVテープを再生するとき、ステレオ2の音声を切り換えても、表示は常にステレオ1の状態を示します。

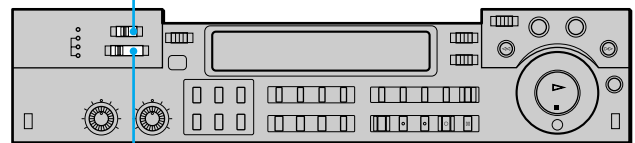
アフレコした音声を 聞く

DVテープにアフレコした音声を聞く

アフレコしたテープなど、12ビットモードで記録したDVテープを再生するとき、聞きたい音声を選べます。



DV音声切換スイッチ



音声ミックスバランス
スイッチ

DVテープの再生中にDV音声切換スイッチを切り換えて、聞きたい音声を選ぶ。



- ステレオ1：すでに入っていた音声のみ
- ミックス：すでに入っていた音声とアフレコした音声のミックス音声
- ステレオ2：アフレコした音声のみ

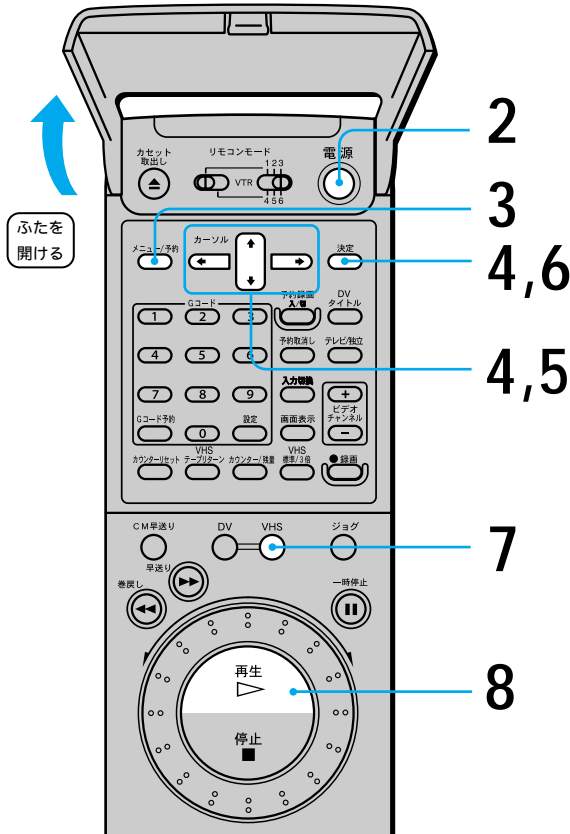
音声のバランスを調節したいときは

DV音声切換スイッチを「ミックス」にしたときは、音声ミックスバランススイッチで、ステレオ1とステレオ2の音声のバランスを調節できます。

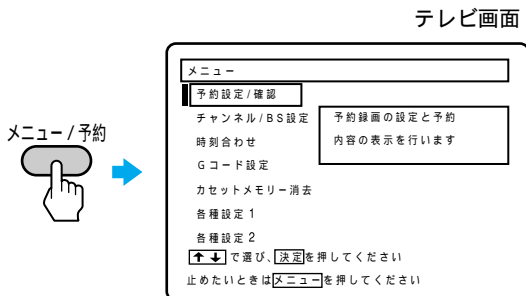
アフレコした音声を聞く(つづき)

VHSテープにアフレコした音声を聞く

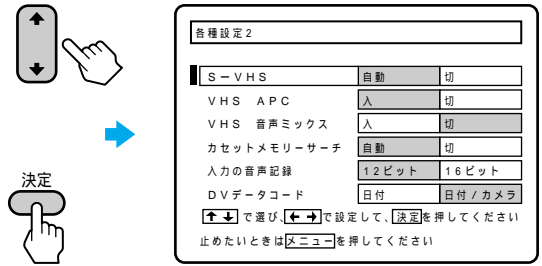
すでに入っていた音声とアフレコした音声を同時に聞くことができます。



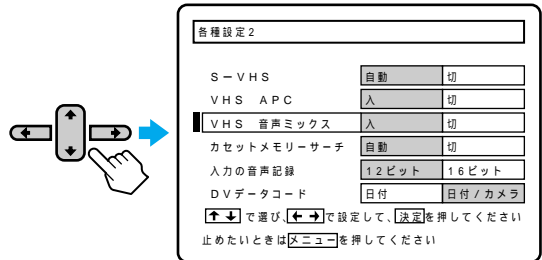
- 1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。
- 2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。
- 3 メニュー/予約ボタンを押す。



- 4 ▲/▲で「各種設定2」を選び、決定ボタンを押す。



- 5 ▲/▲で「VHS音声ミックス」を選び、◀/▶で「入」にする。



- 6 決定ボタンを押す。
メニューが消えます。

- 7 VHSボタンを押す。

- 8 再生▶ボタンを押す。
すでに入っている音声とアフレコした音声を同時に聞けます。

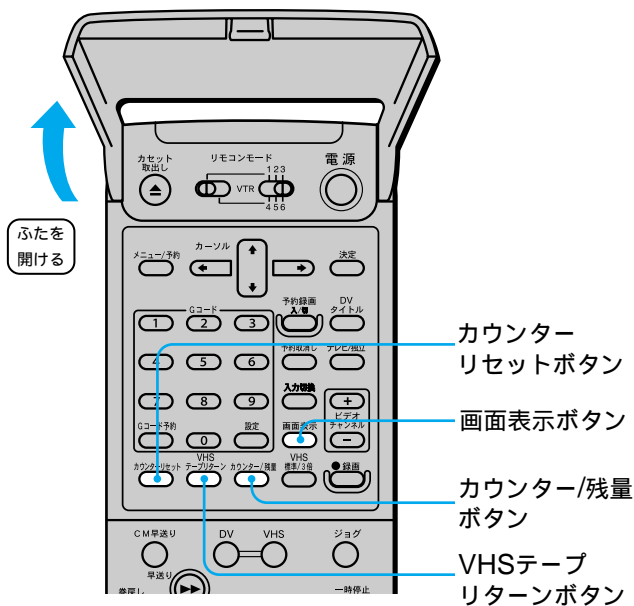
ご注意

- 「VHS音声ミックス」を「入」にすると、音声切換ボタンが使えなくなります。アフレコした音声を聞いたあとは、「切」に戻しておいてください。

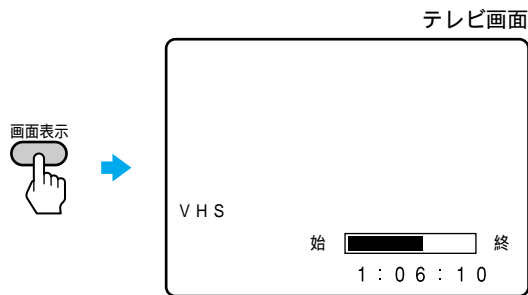
画面表示やテープ残量を見る

テープカウンターとテープ残量をテレビ画面で見たり、テープ残量を時間表示することができます。残量表示はテープの残りを知る目安としてお使いください。

画面表示を見る



画面表示ボタンを押す。
テープカウンターおよび残量表示が出ます。
もう1度押すと元に戻ります。



テープカウンターを「0:00:00」に戻すには
カウンターリセットボタンを押します。テープを入れ
換えたときも「0:00:00」になります。ビデオ本体
では「0H00M00s」表示になります。

テープを「0:00:00」の位置に戻すには
(VHSのみ)

VHSテープリターンボタンを押します。テープカウンターが「0:00:00」になるまで早送り・巻き戻しします。

テープカウンターをフレーム単位で表示するには(DVのみ)

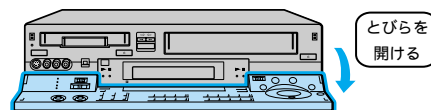
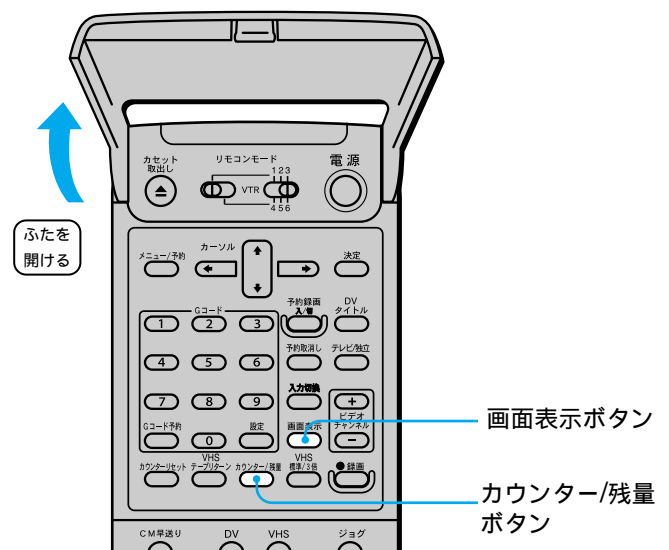
カウンター/残量ボタンを押します。ビデオ本体の「タイムコード」表示が点灯して、テープ上の位置をフレーム単位で正確にカウントするタイムコード(106ページ)が表示されます。カウンター/残量ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

テープカウンター タイムコード テープ残量

ちょっと一言

- 「再生」や「早送り」など操作時に自動的に出てくる走行表示を消したいときは、メニューの「各種設定1」で「自動画面表示」を「切」にしてください(89ページ)。

テープ残量を時間表示する



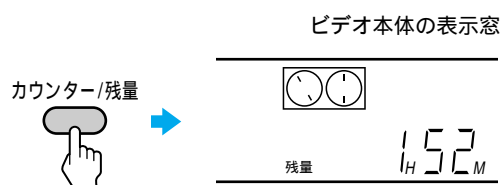
テープ残量切換VHSスイッチ



画面表示やテープ残量を見る (つづき)

カウンター/残量ボタンを押す。
押すたびに次のように切り換わります。

- DVテープ
テープカウンター タイムコード テープ残量
- VHSテープ
テープカウンター テープ残量



ちょっと一言

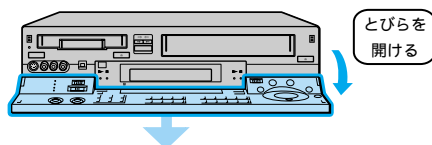
- VHSテープの残量を時間表示するときは、あらかじめビデオ本体のテープ残量切替VHSスイッチでテープの長さを選んでください。
- テープ残量を時間表示しているとき、画面表示ボタンを押すと、テレビ画面でも表示を見ることができます。

ご注意

- VHS-Cカセットアダプターを使用した場合、残量表示は正しく表示されません。
- テープの種類によっては、残量が正しく表示されないことがあります。
- テープ残量の時間表示が出ないときは、しばらく再生などの操作をしてください。

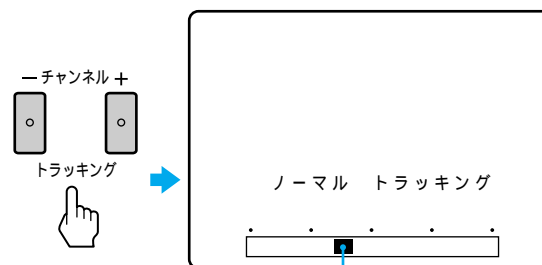
画像と音声を調整する (トラッキング、VHSのみ)

VHSテープの再生中に画像が乱れたり雑音が出るときは、手動でトラッキングを調整してください。通常はトラッキング自動調整が働いて、きれいな画像で見ることができます。DVテープ再生中のトラッキングは自動調整されています。



チャンネル・トラッキング
+/- ボタン

VHSテープの再生中にトラッキング
+/- ボタンを押して調整する。
ビデオ本体の表示窓に☒表示が出ます。



- で左へ、+ で右へ動く
(+/- を同時に押すと、中央に戻る)

トラッキングを自動調整に戻すには

カセットを入れ直します。ビデオ本体の表示窓に☒表示が点滅し、調整が終わると消えます。

ご注意

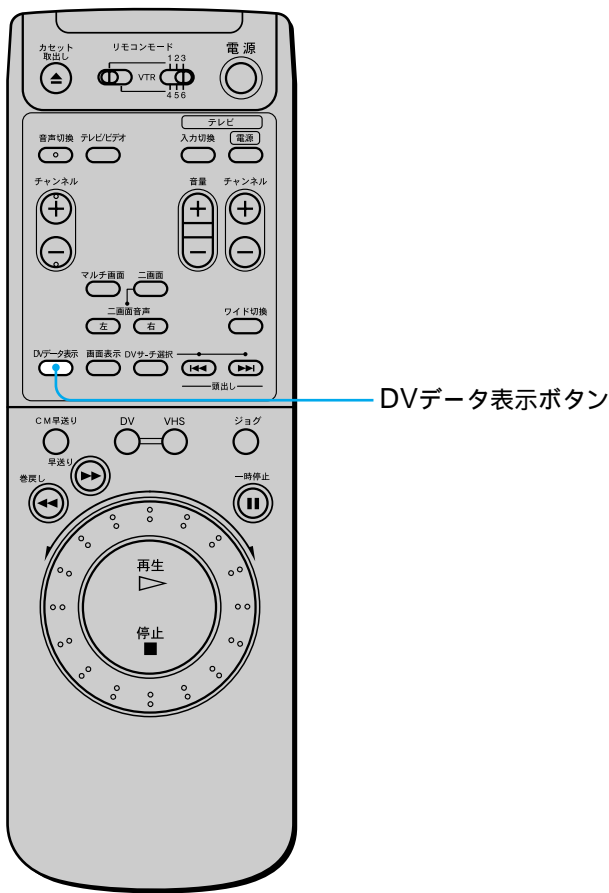
- 他のビデオで録画したカセットや録画状態の悪いカセットでは、チラつきが十分に消えないことがあります。
- ハイファイ音声はノーマル音声に変わることがあります。
- スローのチラつきは、スロー再生中にトラッキング +/- ボタンを押して調整してください。
- 再生一時停止中の縦ゆれは、再生一時停止中にトラッキング +/- ボタンを押して調整してください。

録画情報を見る

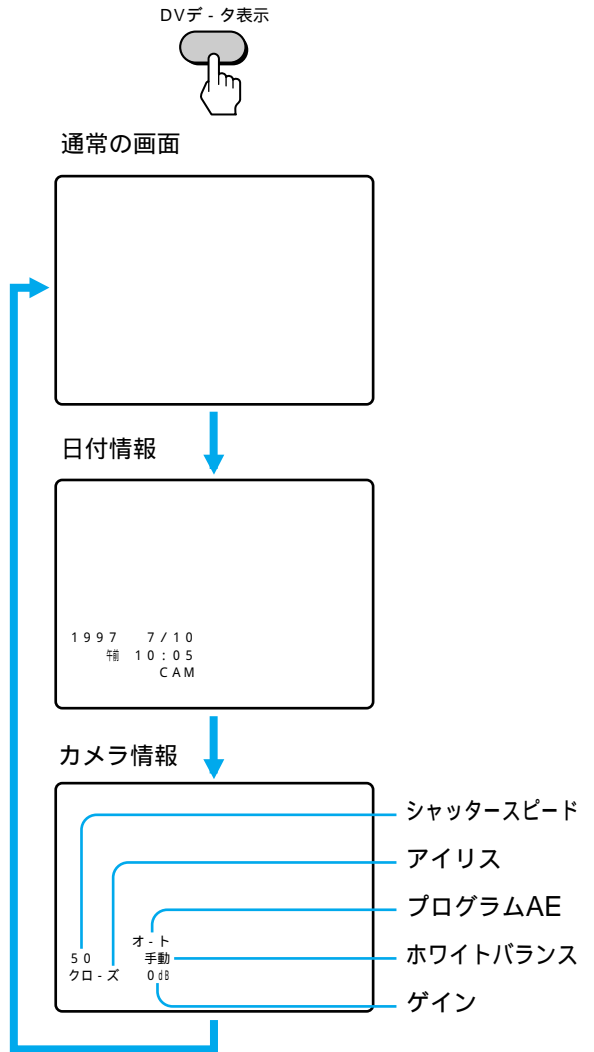
(DVのみ)

DVデッキで録画したテープには、録画した日付・時刻・チャンネルが記録されます。また、ソニーのデジタルビデオカメラで撮影したテープには、カメラ情報(シャッタースピード・プログラムAEモード・ホワイトバランス・アイリス・ゲイン)が記録されます。

これらの録画情報を、テープの再生中にいつでも確認することができます。



DVテープの再生中にDVデータ表示ボタンを押す。
押すたびに以下のように画面表示が切り換わります。



日付情報のみを確認したいときは

メニューの「各種設定2」で「DVデータコード」を「日付」にしてください(89ページ)。カメラ情報が表示されなくなります。

ちょっと一言

- 日付情報またはカメラ情報が記録されていない場合は、「---」が表示されます。

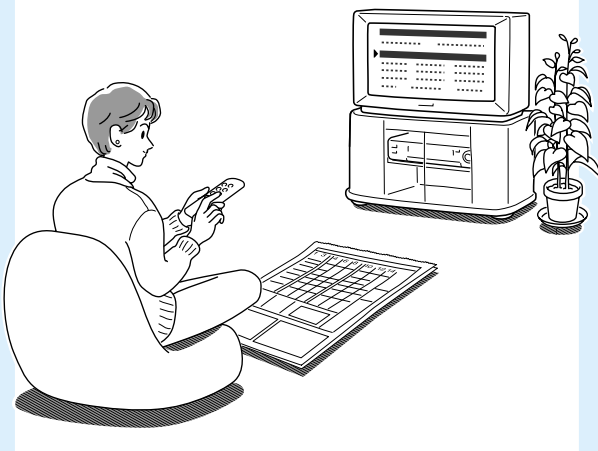
ご注意

- 本機で確認できるカメラ情報の表示は、ビデオカメラの表示のしかたと異なることがあります。

録画・予約

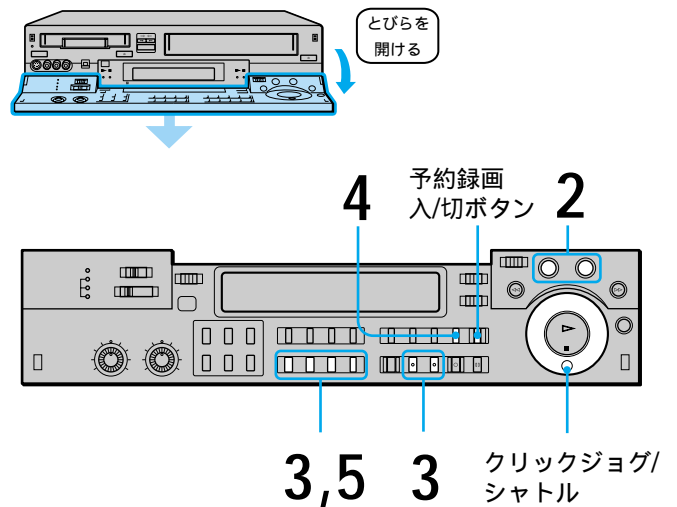
ここでは、次のような録画と予約について説明します。

- 時刻とチャンネルだけを指定して、今日と明日の番組の予約ができる、快速本体予約。
- Gコード予約。

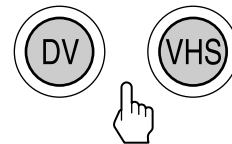


ビデオ本体で予約する (快速本体予約)

時刻を30分単位で指定する予約録画です。予約できるのは、今日と明日に放送される番組だけです。他の予約と合わせて、DVデッキ、VHSデッキそれぞれに6番組まで予約できます。リモコンではできません。

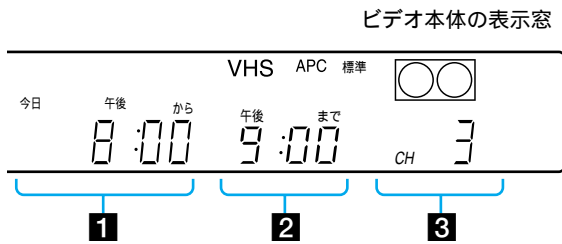


- 1 カセットを入れる。
ビデオの電源が自動的に入ります。
- 2 DVまたはVHSボタンを押して、予約するデッキを選ぶ。

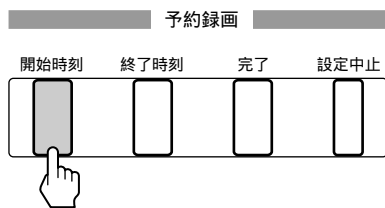


3

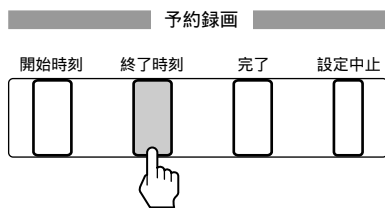
開始時刻、終了時刻、チャンネル+/- ボタンで日時とチャンネルを選ぶ。



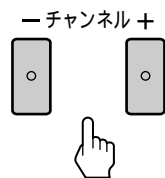
- 1** 開始時刻ボタンをくり返し押して、録画開始時刻を決める。
押すたびに30分単位で時刻が変わります。



- 2** 終了時刻ボタンをくり返し押して、録画終了時刻を決める。
押すたびに30分単位で時刻が変わります。



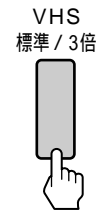
- 3** チャンネル+/- ボタンを押して、録画したいチャンネルを選ぶ。
+ ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。
VHF/UHFチャンネル(CH1、CH3、...)
BSチャンネル(BS1、BS3、...) 入力1 入力2



- 間違えたときは
設定中止ボタンを押して、最初から予約し直します。
- 途中で止めるには
設定中止ボタンを押します。

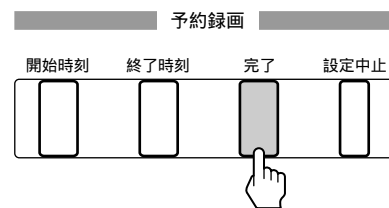
4

VHS標準/3倍ボタンを押して、録画モードを選ぶ (VHSのみ)。



5

完了ボタンを押す。
ビデオ本体の予約録画表示が点灯して、予約待機になります。



予約録画中に録画を止めるには

予約録画入/切ボタンを押します。

1分単位で録画時刻を設定するには

手順3の**1**、**2**で開始時刻または終了時刻ボタンを押してから、クリックジョグ/シャトルを回します。

すぐに予約録画を始めたいときは

手順3の**1**をとばします。手順5で完了ボタンを押すと、録画が始まります。

予約を確認・変更・取り消すには

「予約を確認する・変更する・取り消す」(14 ページ) をご覧ください。

ちょっと一言

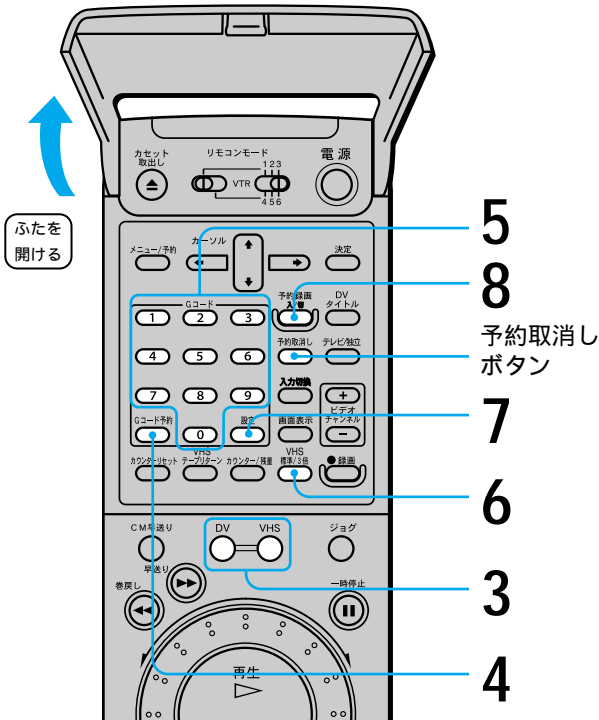
- 録画中に録画時間を延長するには、終了時刻ボタンを押して終了時刻を変え、完了ボタンを押します。延長分は1件の予約になるため、DVデッキ、VHSデッキそれぞれに6番組ぶん予約が入っていると、録画時間は延長できません。
- 次の日にまたがる番組は、開始する日付はそのままです。終了時刻を合わせます。

ご注意

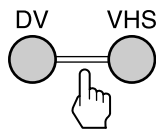
- DVデッキでは、常にSPモードで録画します。
- 本機のDV端子につないだ機器の予約はできません。

Gコードで予約する

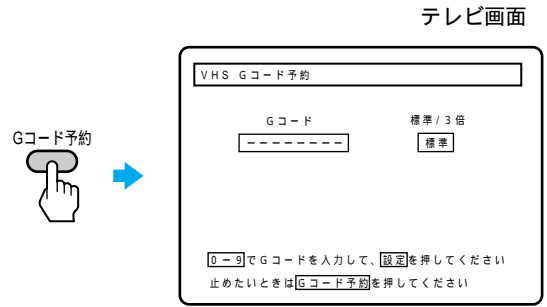
新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されているGコードを使う予約録画です。予約したい番組の日時とチャンネルを自動的に設定できます。他の予約と合わせて、DVデッキ、VHSデッキそれぞれ6番組まで予約できます。



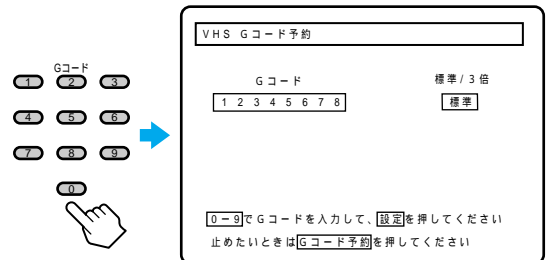
- 1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。
- 2 カセットを入れる。ビデオの電源が自動的に入ります。
- 3 DVまたはVHSボタンを押して、予約するデッキを選ぶ。



- 4 Gコード予約ボタンを押す。



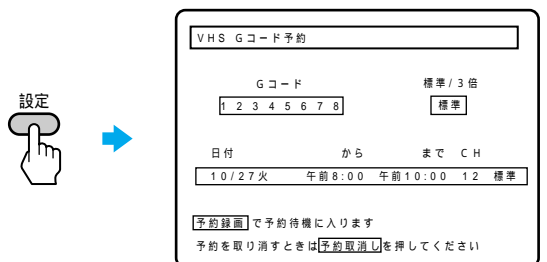
- 5 Gコード数字ボタンを押して、Gコードの番号を入れる。
間違えたときは、予約取消しボタンを押して、最初から入れ直します。
例：Gコードが「12345678」のとき



- 6 VHS標準/3倍ボタンを押して、録画モードを選ぶ(VHSのみ)。



- 7 設定ボタンを押す。
予約した番組の放送される日時とチャンネル番号が出ます。




- 取り消したいときは
予約取消しボタンを押します。
- 続けて予約するときは
手順4からくり返します。
- 途中で止めるときは
Gコード予約ボタンを押します。


予約録画入/切ボタンを押す。
ビデオ本体の予約録画表示が点灯して、予約待機になります。



予約を確認・変更・取り消すには

「予約を確認する・変更する・取り消す」( 14ページ)をご覧ください。

本機の入力端子につないだ機器をGコードで予約する

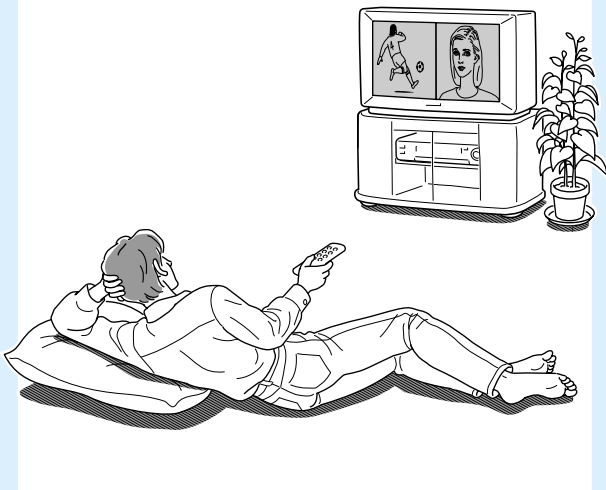
「本機の入力端子につないだ機器をGコードで予約するには」( 82ページ)に従って、つないだ機器のGコードを設定しておきます。

ご注意

- 間違ったGコードを入れると「ピピピ」と鳴ります。このときは、手順5からやり直してください。
- DVデッキでは、常にSPモードで録画します。

画面分割

ここでは、画面を2つまたは8つ(見ている画面と7つの静止画像)に分割して、ビデオやテレビを見る方法を説明します。2画面を使うと、テレビを見ながらゲームをしたり、それぞれのデッキの映像を見ながら編集したりすることができます。7つの静止画面(マルチ画面)を使うと、今見ている番組を見ながら裏番組を確認することができ、チャンネル選別に便利です。

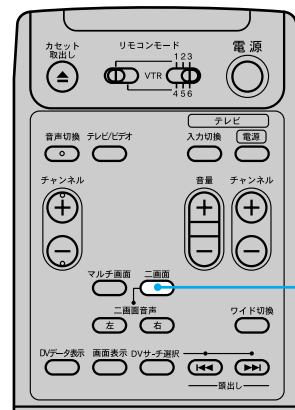


2画面で見る (ツインピクチャー)

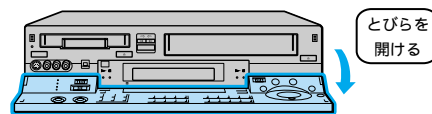
ビデオを見たり、本機のチューナーでテレビを見るときに、画面を2つに分けられます。2つの画面では次の組み合わせを同時にご覧になれます。音声は、選ばれている(白い枠で囲まれている)画面の音が出ます。

- ビデオ+ビデオ
- テレビ+テレビ*
- ビデオ+テレビ
- ビデオ+外部入力(ゲームや、他のビデオデッキの映像など)
- テレビ+外部入力(ゲームや、他のビデオデッキの映像など)

* DVとVHSで同時に別のBS放送は見られません。



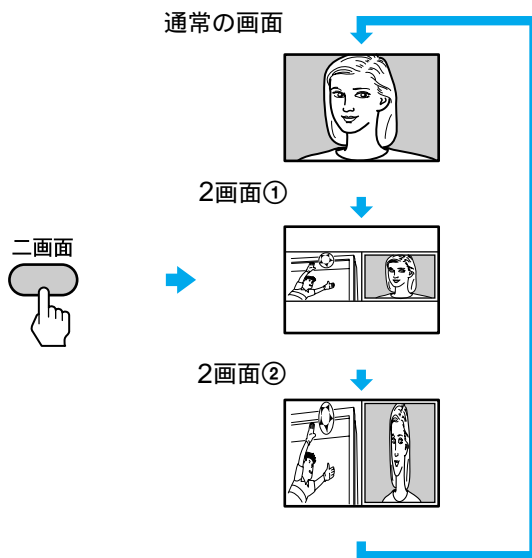
二画面ボタン



出力1切換スイッチ



二画面ボタンを押す。
 押すたびに、次のように切り換わります。



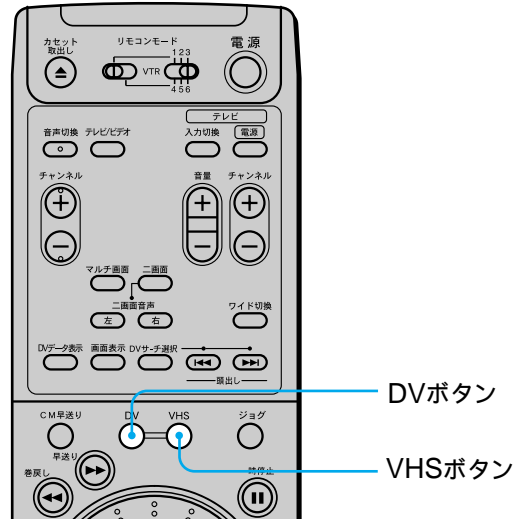
2画面を元に戻すには

1画面になるまで、二画面ボタンをくり返し押します。

テレビを本機の出力1端子につないでいるときは

二画面に切り換える前に、ビデオ本体の出力1切換スイッチが「ノーマル」になっていることを確認してください。「DV」または「VHS」になっていると、二画面になりません。

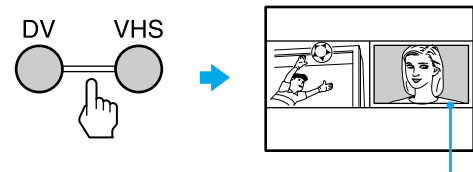
操作する画面を選ぶ



DVまたはVHSボタンを押して、操作したい画面を選ぶ。

常に左がDV、右がVHSの画面です。

選んだ画面が白い枠で囲まれ、チャンネルを操作したり、音声を調節できるようになります。



白い枠で囲まれた画面を操作できます

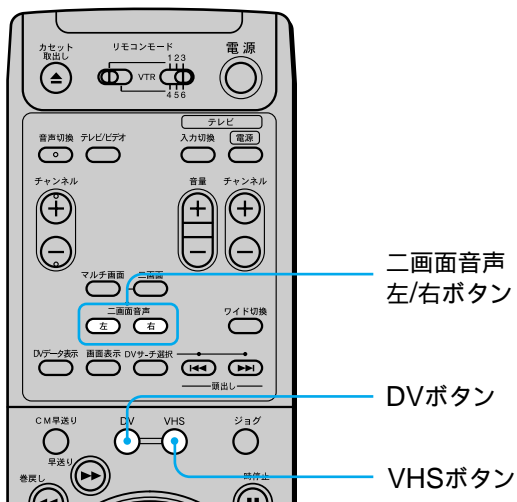
ご注意

- 2画面の画像を、そのまま録画することはできません。
- スローなど変速再生すると、画面がみだれることがあります。
- ご使用のテレビによっては、画像の一部にゆがみや色ズレが起こることがあります。

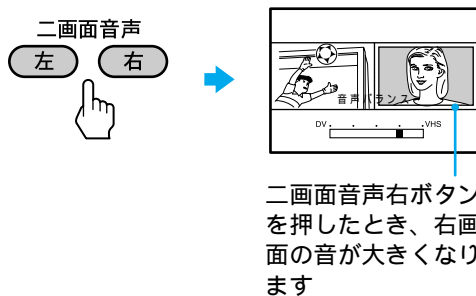
2画面で見る(つづき)

2画面の音声を同時に聞く (ツインサウンド)

2画面にしたときに、両画面の音声を同時に聞くこともできます。左(DV)画面の音を左スピーカーから、右(VHS)画面の音を右スピーカーから聞けます。さらに、左右の音のバランスを調節できます。



二画面音声左または右ボタンを押す。
左画面の音声が左スピーカーから、右画面の音声が右スピーカーから同時に出ます。
どちらかの音を大きくしたいときは、左または右ボタンを繰り返し押します。押した側の画面の音が大きくなります。



音声を元に戻すには

DVまたはVHSボタンを押して、音を出したい画面を選びます。

選んだ画面の音だけが聞こえます。

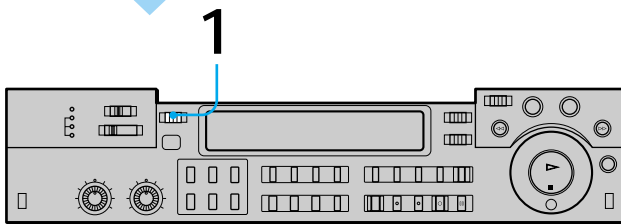
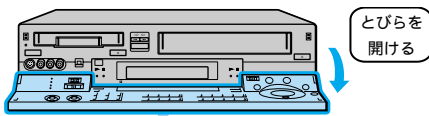
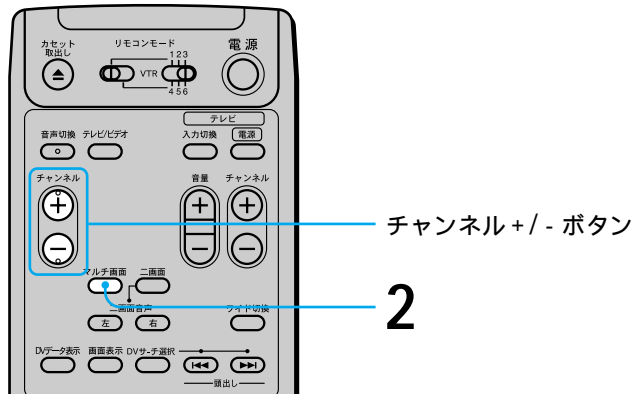
ご注意

- テレビがモノラルのときは、両画面の音を同時に聞くことはできません。ただし、アンテナ線だけでテレビとつないだときや、モノラルテレビ用の映像・音声コード VMC-910MSなど(別売り)でつないだときは、両画面の音を同時に聞けます。

裏番組を確認する

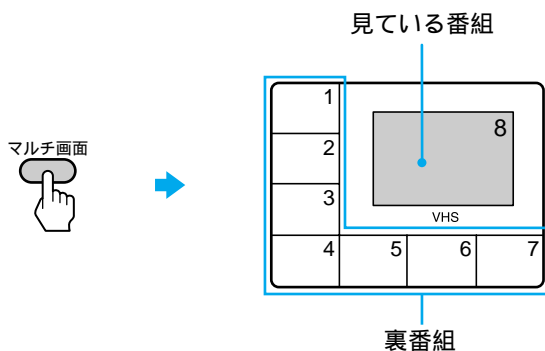
(マルチピクチャー)

本機のチューナーでテレビを見ているときに、今見ている番組を見ながら、裏番組を7つのマルチ画面の静止画像で確認できます。次に見たい番組を確認したり、チャンネルを選ぶときに便利です。



1 ビデオ本体の出力1切換スイッチを「ノーマル」にする。
「DV」または「VHS」になっていると、マルチ画面になりません。

2 マルチ画面ボタンを押す。
裏番組が静止画像で出ます。裏番組が7つ以上あるときは、順に送られて出ます。



見ている番組を変えるには

チャンネル +/- ボタンを押します。

元の画面に戻すには

マルチ画面ボタンを押します。

ご注意

- 選んでいないデッキが再生または録画中のときは、裏番組を確認できません。
- テレビをワイドモードにしているときにマルチ画面に切り換えると、画像が欠けることがあります。
- スローなど変速再生すると、画像がみだれることがあります。
- マルチ画面の画像をそのまま録画することはできません。
- 本機の出力1端子に他機をつないでダビングまたは編集しているときに、ビデオ本体の出力1切換スイッチを「ノーマル」にすると、編集が正しく行われなことがあります。また、本機のみを使ってダビングまたは編集しているときは、マルチ画面になりません。

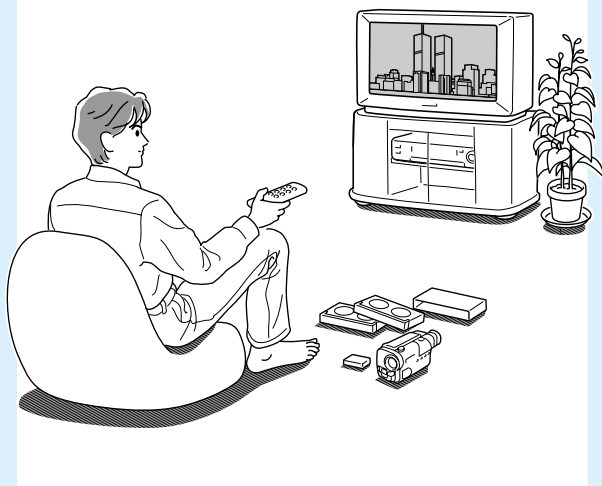
編集

ここでは、いろいろな編集のしかたについて説明します。

録画したテープの好きな場面を順につないで編集したり、選んだ場面を自動的に編集したりできます。

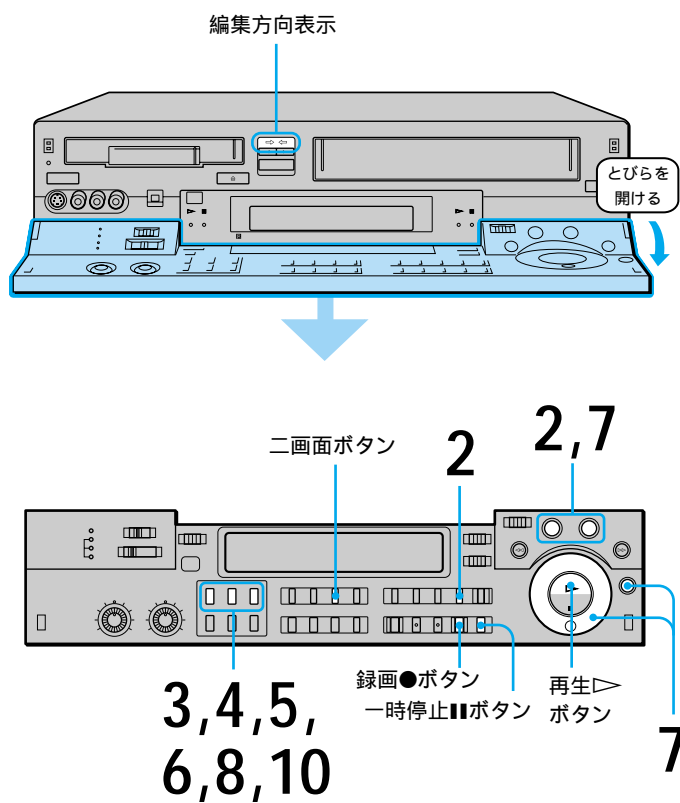
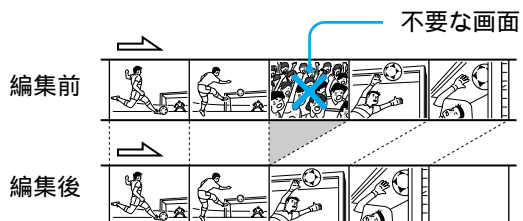
好きな場面にタイトルを入れたテープを作ることができます。2つの方法があります。

- カセットメモリー付きのDVテープを使って、好きな場面にタイトルを入れる（DVのみ）
 - 別売りのタイトラーをつないで編集する。
- また、録画したテープに音声を重ねて入れることもできます。



不要な場面をカットして編集する（カット編集）

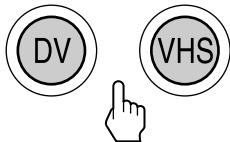
録画したテープから不要な場面をカットし、好きな場面だけをつないで他のテープに録画できます。リモコンではできません。



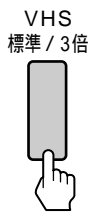
1 両方のデッキにカセットを入れ、編集を始める場面まで巻き戻し(または早送り)しておく。

2 録画モードを選ぶ(VHSデッキで録画するとき)

1 VHSデッキを選ぶ。

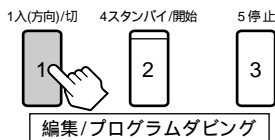


2 VHS標準/3倍ボタンを押して、録画モードを選ぶ。



3 編集入(方向)/切ボタンを押して、ダビングの方向を選ぶ。

押すたびに編集方向表示は「⇒」「⇐」(切)と切り換わります。大切な録画内容を消さないように、方向をしっかりと確認してください。



DVからVHSへダビングするとき



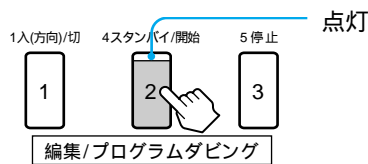
VHSからDVへダビングするとき



4 編集スタンバイ/開始ボタンを押す。両方のデッキが一時停止状態になります。



5 編集スタンバイ/開始ボタンをもう1回押す。両方のデッキの一時停止が解除され、録画が始まります。



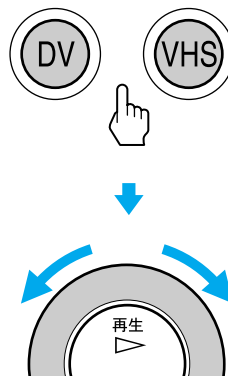
6 不要な場面で編集スタンバイ/開始ボタンを押す。

両方のデッキが一時停止状態になります。

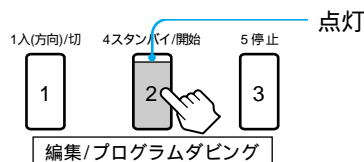


7 DVまたはVHSボタンを押して再生側のデッキを選び、クリックジョグ/シャトルを回して録画を再開したい場面を出し、再生一時停止にする。

ジョグボタンを押してからクリックジョグ/シャトルを回すと、微妙な速度調整ができて便利です(▶▶22ページ)。



8 編集スタンバイ/開始ボタンを押す。録画が再開します。

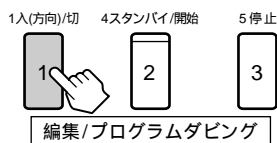
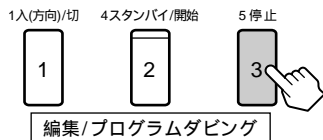


9 手順6から8をくり返して、必要な場面をつないで録画していく。

不要な場面をカットして編集する (つづき)

10

終わったら編集停止ボタンを押し、編集入(方向)/切ボタンを押して編集方向表示を消す。



編集を止めるには

編集停止ボタンを押します。

手順6で不要な場面で止められず、テープ が行きすぎたときは

- 1 録画側のデッキを選び、再生▷ボタンを押す。
- 2 クリックジョグ/シャトルを回して録画を再開したい場面を出し、再生一時停止にする。
- 3 DVまたはVHSボタンを押して再生側のデッキを選び、クリックジョグ/シャトルを回して録画を再開したい場面を出し、再生一時停止にする。
- 4 録画側のデッキを選び、録画●ボタンを押してから手順8以降を行う。

両方のデッキの画面を見ながら編集するには

二画面ボタンを押して2画面にします(34ページ)。再生側と録画側の画像を見ることができ便利です。

VHSデッキでAPCを働かせて録画するには

手順4でビデオ本体の表示窓にAPC表示が点滅するときは、VHSデッキを選んで録画●ボタンを押します。APC表示が点滅から点灯に変わります。これを確かめてから手順5に進んでください(89ページ)。

ちょっと一言

- 操作中の画面表示は録画されません。
- 二か国語放送などで録画したテープをダビングするときは、あらかじめ再生し、リモコンの音声切替ボタンで音声を選んでおきます(25ページ)。
- アフレコしたテープを再生側で使うとき、記録したい音声を選べます。アフレコしたDVテープを使うときは、DV音声切替スイッチで選びます(25ページ)。アフレコしたVHSテープを使うときは、メニューの「各種設定2」の「VHS音声ミックス」で選びます(26ページ)。
- DVテープに録画するときは、音声記録モード(12ビット、16ビット)を選べます(89ページ)。

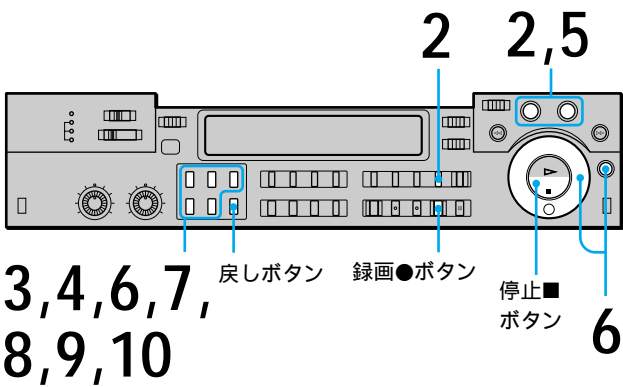
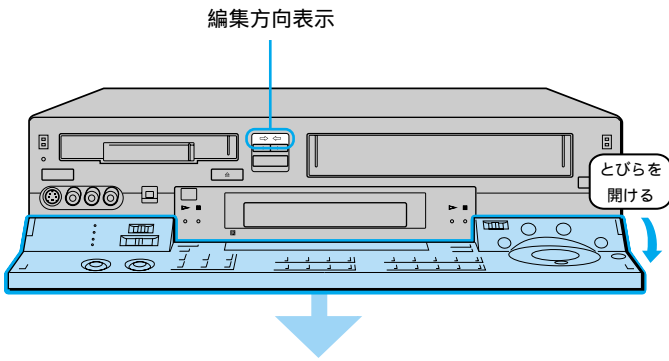
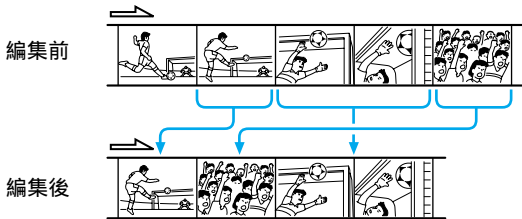
ご注意

- つないだ部分の最初の画像がみだれることがあります。
- 手順4および手順6で、両方のデッキの一時停止状態が5分以上続くと、再生側のデッキは再生に、録画側のデッキは停止状態になります。

好きな場面を選んで 自動編集する (プログラム ダビング)

好きな場面をテープカウンターを使っていくつか選び、選んだ順に自動的に編集します。場面は8つまで選べます。選んだ場面のテープカウンターを使って、同じ内容のテープを何本か作ることもでき、便利です。

使うボタンの左上には操作手順を示す青い数字(1~5)が書いてありますので、参考にしてください。リモコンではできません。



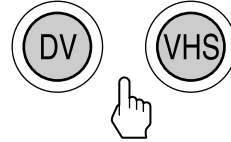
1

両方のデッキにカセットを入れ、編集を始める場面まで巻き戻し(または早送り)しておく。

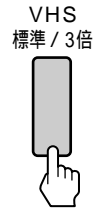
2

録画モードを選ぶ(VHSデッキで録画するとき)。

1 VHSデッキを選ぶ。



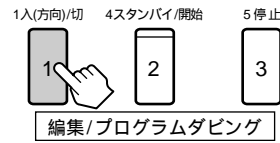
2 VHS標準/3倍ボタンを押して、録画モードを選ぶ。



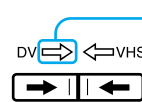
3

編集入(方向)/切ボタンを押して、編集する方向を選ぶ。

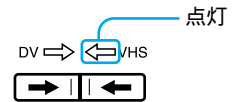
押すたびに編集方向表示は「⇒」「⇐」(切)と切り換わります。大切な録画内容を消さないように、方向をしっかりと確認してください。



DVからVHSへ
ダビングするとき

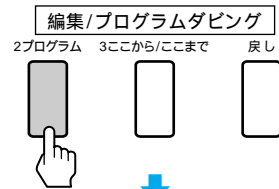


VHSからDVへ
ダビングするとき



4

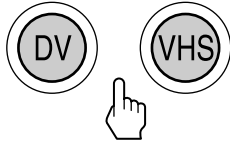
プログラム(入/切)ボタンを押す。



	ここから	→	ここまで
1	0 : 17 : 48	→	-- : -- : --
2	-- : -- : --	→	-- : -- : --
3	-- : -- : --	→	-- : -- : --
4	-- : -- : --	→	-- : -- : --
5	-- : -- : --	→	-- : -- : --
	トータル		-- : -- : --
VHS		DV → VHS	
	始	終	
	標準	0 : 35 : 48	

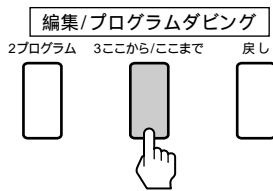
好きな場面を選んで自動編集する (つづき)

5 DVまたはVHSボタンを押して再生側のデッキを選び、再生を始める。



6 録画したい場面の始めと終わりで、ここから/ここまでボタンを押す。
クリックジョグ/シャトルや巻戻し/早送りボタンを使って場面を探します。ジョグボタンを押してからクリックジョグ/シャトルを回すと、微妙な速度調整ができて便利です (22ページ)。

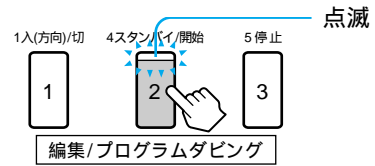
この手順を繰り返し、好きな場面を選んでいきます。最大8つまで選べます。ただし、1場面の長さは2秒以上ないと選べません。



	ここから	→	ここまで
1	0 : 35 : 17	→	1 : 05 : 48
2	1 : 05 : 54	→	- : - : -
3	- : - : -	→	- : - : -
4	- : - : -	→	- : - : -
5	- : - : -	→	- : - : -
トータル			0 : 30 : 31
DV	DV → VHS		
	始		終
	SP		1 : 05 : 54

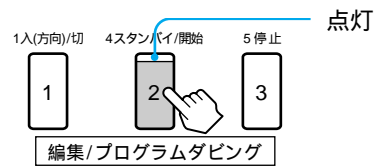
選んだ場面の合計時間

7 編集スタンバイ/開始ボタンを押す。
再生側のデッキが再生一時停止に、録画側のデッキが録画一時停止になります。

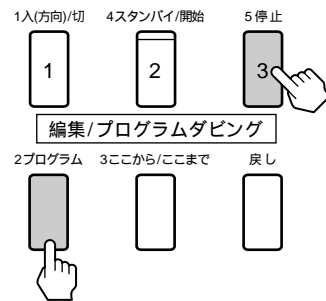


8 もう1度、編集スタンバイ/開始ボタンを押す。

選んだ順に自動編集します。編集が終わると、再生側のデッキは停止し、録画側のデッキは録画一時停止になります。



9 終わったら、編集停止ボタンを押したあと、プログラム(入/切)ボタンを押す。
録画側のデッキが停止します。



10 編集入(方向)/切ボタンを押して、方向表示を消す。



フレーム単位のテープカウンターを使ってプログラムするには(DVのみ)

DVデッキが再生側のときは、テープ上の位置をフレーム単位で正確にカウントするタイムコード(25ページ)を使って場面を選べます。手順6でカウンター/残量ボタンを押し、テープカウンターをタイムコード表示にしてください。ただし、途中で録画されていない部分があるテープを使うと、編集が正しく行われなことがあるあります。このときは、あらかじめテープ全体を別のDVテープにダビングしてください。タイムコードが連続して記録され、正確に編集できるようになります。

VHSデッキでAPCを働かせて録画するには

手順7でビデオ本体の表示窓にAPC表示が点滅するときは、VHSデッキを選んで録画●ボタンを押します。APC表示が点滅から点灯に変わります。これを確かめてから手順8に進んでください(89ページ)。

選んだ場面を確認・変更するには

手順6で、戻しボタンを押します。押すたびに1項目ずつ戻ります。変更したいときは、その項目まで戻り、好きな場面を選び直します。

プログラムを止めて変更するには

- 1 停止■ボタンを押す。
それまでに選んだ場面のテープカウンターを残して停止します。
- 2 戻しボタンを押して、変更したい場面のテープカウンターを選ぶ。
- 3 再生側のデッキを選び、再生を始める。
- 4 録画したい場面の始めと終わりで、ここから/ここまでボタンを押す。
- 5 録画側のデッキを選び、録画を始めたところまで巻き戻す。
- 6 編集スタンバイ/開始ボタンを押す。
- 7 もう1度、編集スタンバイ/開始ボタンを押す。
最初の場面から編集し直します。

編集を止めるには

プログラム(入/切)ボタンを押します。

同じ内容のテープを作るときは

手順9で編集停止ボタンを押し、録画側のデッキが停止したら、録画側のテープを取り出して、別のテープを入れてください。そのあと、手順7から繰り返します。

ちょっと一言

- 操作中の画面表示は録画されません。
- アフレコしたテープを再生側で使うとき、記録したい音声を選べます。アフレコしたDVテープを使うときは、DV音声切換スイッチで選びます(25ページ)。アフレコしたVHSテープを使うときは、メニューの「各種設定2」の「VHS音声ミックス」で選びます(26ページ)。
- DVテープに録画するときは、音声記録モード(12ビット、16ビット)を選べます(89ページ)。

ご注意

- 再生側のテープが次のようになっているときは、編集の始めと終わりの位置がずれることがあります。
 - 録画モードが途中で変わっている。
 - 未記録の部分がある。
 より精度の高い編集を行いたいときは、「不要な場面をカットして編集する」(38ページ)をご覧ください。
- 場面の終わりの位置を決めないと、どちらかのテープが終わるまでダビングします。途中で一時停止IIIボタンを押すと、そこが終わりの位置になります。
- テープの保護のため、録画一時停止状態は約5分で自動的に停止になります。

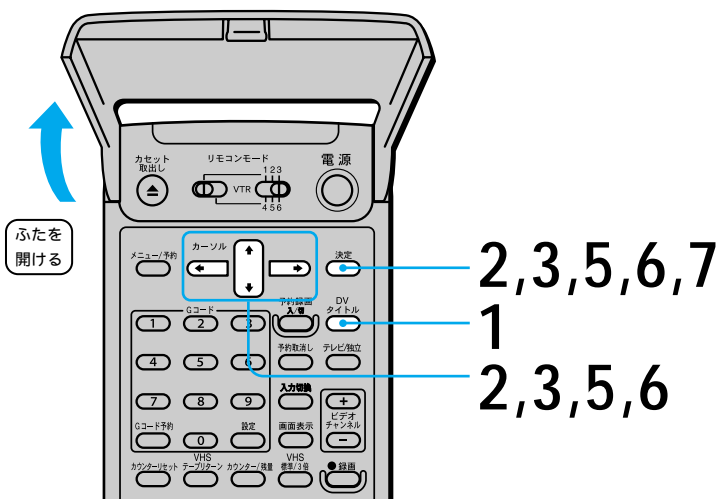
タイトルを入れる (カセットメモリー付きDVのみ)

カセットメモリー付きのDVテープには、タイトルを好きな場面に重ねて入れられます。タイトルを入れたDVテープからダビングすると、タイトルが入ったVHSテープなどを作ることができます。入れたタイトルは、再生したときに約5秒間表示されます。

タイトルはカセットメモリーに記録されます(91ページ)。1本のカセットに、平均5文字で18個のタイトルを入れられます。

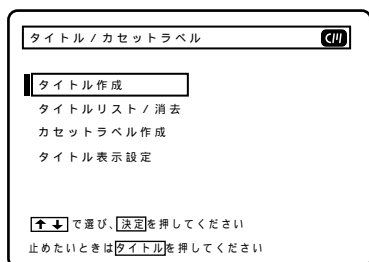
好きな場面にタイトルを入れる

あらかじめ用意されている18種類の単語から、タイトルを選べます。また、ひらがなや記号などを組み合わせ、最大20文字のオリジナルタイトルを作成できます。色・位置・サイズを選んで、好きな場面に入れられます。タイトルは、テープが再生または再生一時停止状態になっていないと入れられません。

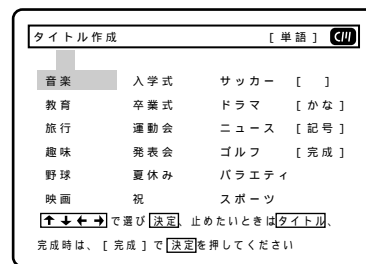
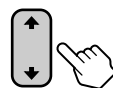


1 DVタイトルボタンを押す。

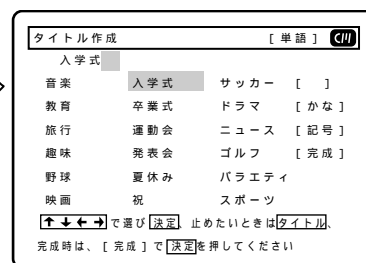
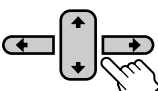
テレビ画面



2 ▲/▼で「タイトル作成」を選び、決定ボタンを押す。



3 ▲/▼/←/→でタイトルを選び、決定ボタンを押す。



• ひらがなや記号を使ってオリジナルタイトルを作成したいときは

1 ▲/▼/←/→で[かな]または[記号]を選び、決定ボタンを押す。

ひらがなやアルファベットなどを選べる画面に移ります。[単語]を選ぶと、単語を選べる画面に戻ります。

2 ▲/▼/←/→で文字を選び、決定ボタンを押す。

選んだ文字がテレビ画面に表示されます。これを繰り返して、タイトルを作成します。

• 間違えたときは

▲/▼/←/→で[←]を選び、決定ボタンを押します。選んだ文字が1文字ずつ消えます。

4

DVテープを再生してタイトルを入れたい場面を出し、再生一時停止にする。

5

↑/↓/←/→で[完成]を選び、決定ボタンを押す。

「タイトル確認」の画面が出ます。



6

色・サイズ・位置を設定する。
表示されている色・サイズ・位置でよいときは、手順7にすすんでください。

1 ↑/↓で「色」、「サイズ」または「位置」を選び、決定ボタンを押す。

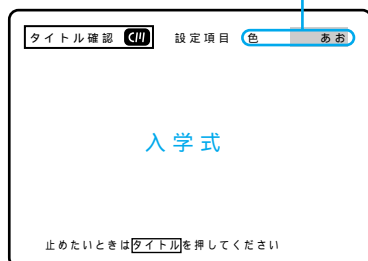
2 ↑/↓で設定する。
↓を押すたびに次のように切り換わります。

色 しろ→きいろ→みずいろ→みどり→
むらさき→あか→あお

サイズ 大→小

位置 1(画面の上の部分)→2→3→4→5→
6→7→8(画面の下の部分)→
9(「サイズ」が「小」のときのみ)

「色」を「あお」にしたとき



3 他の項目も変えたいときは、手順**1**と**2**を繰り返す。

4 決定ボタンを押す。
「設定項目」が「打ち込み」に戻ります。

7

決定ボタンを押す。

「タイトル打ち込み中」の表示が出ます。

約5秒後に表示が消え、タイトルが記憶されます。

タイトル作成を途中でやめるには

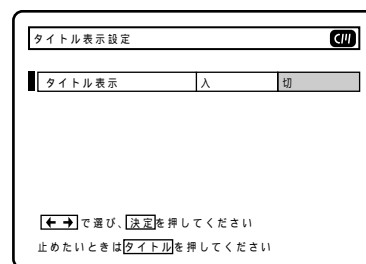
DVタイトルボタンを押します。

タイトルが入らないときは

カセットメモリーがいっぱいになっています。手順7で決定ボタンを押してもタイトルを入れられないときは、「カセットメモリーの内容を消す」(48 ページ)にしたがって、カセットメモリーの不要なデータを消してください。

タイトルを表示したくないときは

- 1 DVタイトルボタンを押す。
- 2 ↑/↓で「タイトル表示設定」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 ←/→で「切」を選び、決定ボタンを押す。



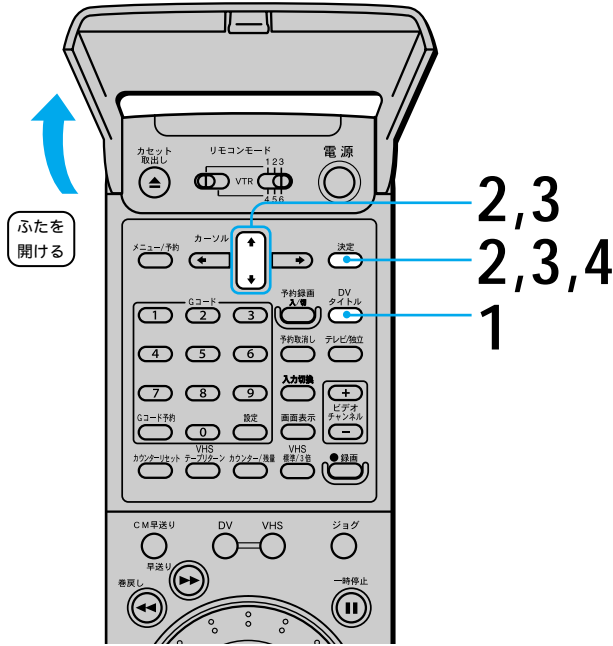
ご注意

- テープの何も録画していない部分には、タイトルを入れられません。
- カセットのつまみが赤になっていると、タイトルを入れられません。つまみをもとに戻してください(91 ページ)。
- テープが再生または再生一時停止状態になっていないと、タイトルを入れられません。
- 手順4で再生一時停止状態が5分以上続くと、自動的に再生に戻ります。もう一度タイトルを入れたい場面を探して、再生一時停止状態にしてください。
- 録画した部分の間に無記録の部分があるテープでは、タイトルが正しい位置に表示されないことがあります。

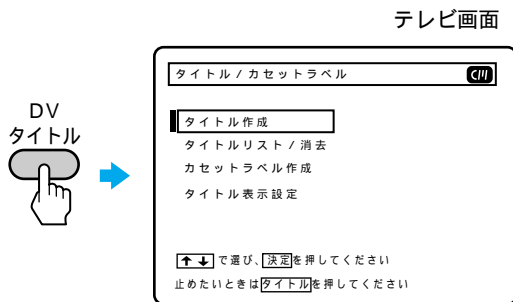
タイトルを入れる(つづき)

タイトルを確認する・消す

入れたタイトルの一覧をテレビ画面で確認できます。また、不要なタイトルを消すことができます。

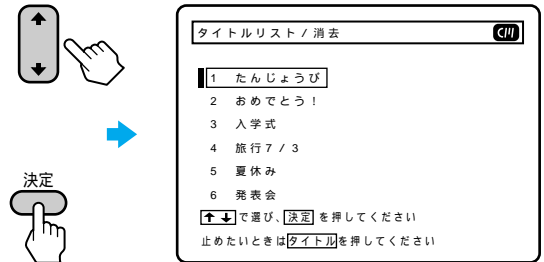


1 DVタイトルボタンを押す。



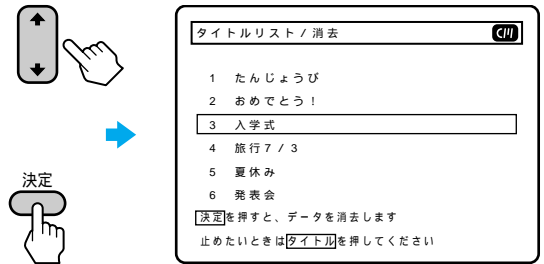
2 ▲/▼で「タイトルリスト/消去」を選び、決定ボタンを押す。

入れたタイトルが表示されます。6つ以上入れたときは、▼を押すと確認できます。DVタイトルボタンを押すとメニューが消えます。



3 ▲/▼で消したいタイトルを選び、決定ボタンを押す。

確認のメッセージが出ます。



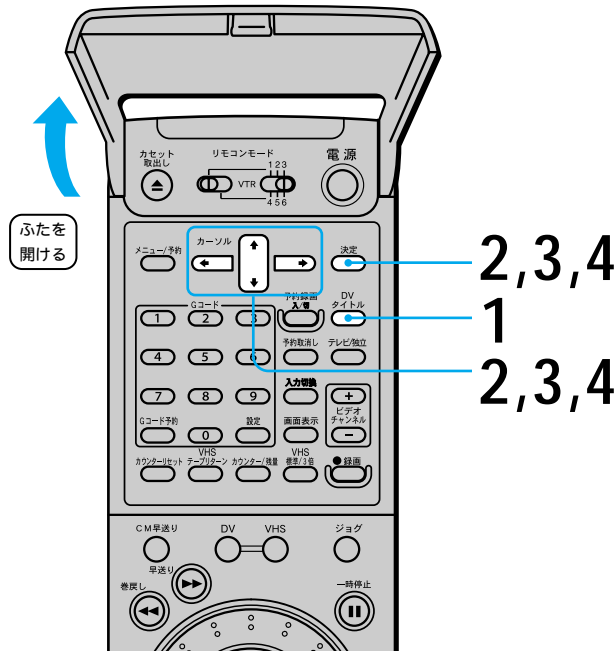
4 決定ボタンを押す。タイトルが消えます。

ちょっと一言

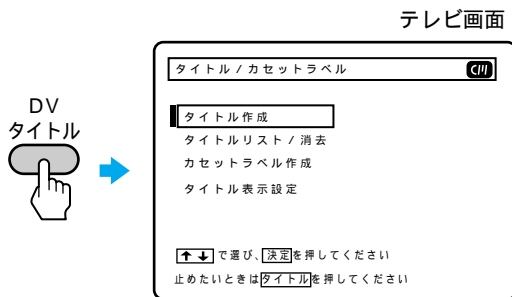
- タイトルを変更したいときは、いったん消してから、もう一度作って入れ直してください。

カセットになまえを付ける(カセットラベル)

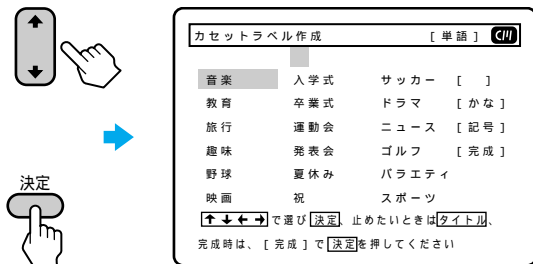
カセットメモリー付きのDVカセットには、最大10文字のなまえ(カセットラベル)を付けられます。カセットラベルは、カセットを入れたときに約10秒間テレビ画面に表示されます。再生しなくてもテープの内容を確認することができて便利です。



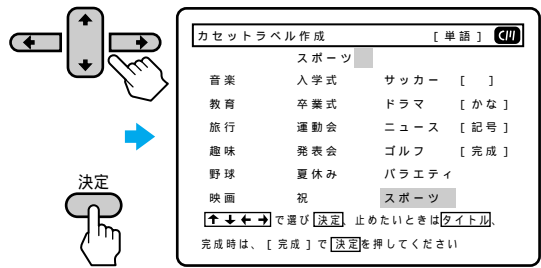
1 DVタイトルボタンを押す。



2 上下で「カセットラベル作成」を選び、決定ボタンを押す。



3 上下/左右で単語を選び、決定ボタンを押す。選んだ単語がテレビ画面に表示されます。



• ひらがなや記号を使ってオリジナルカセットラベルを作成したいときは

1 上下/左右で[かな]または[記号]を選び、決定ボタンを押す。

ひらがなやアルファベットなどを選べる画面に移ります。[単語]を選ぶと、単語を選べる画面に戻ります。

2 上下/左右で文字を選び、決定ボタンを押す。

選んだ文字がテレビ画面に表示されます。これを繰り返して、カセットラベルを作成します。

• 間違えたときは

上下/左右で[←]を選び、決定ボタンを押します。選んだ文字が1文字ずつ消えます。

4 完成したら上下/左右で[完成]を選び、決定ボタンを押す。

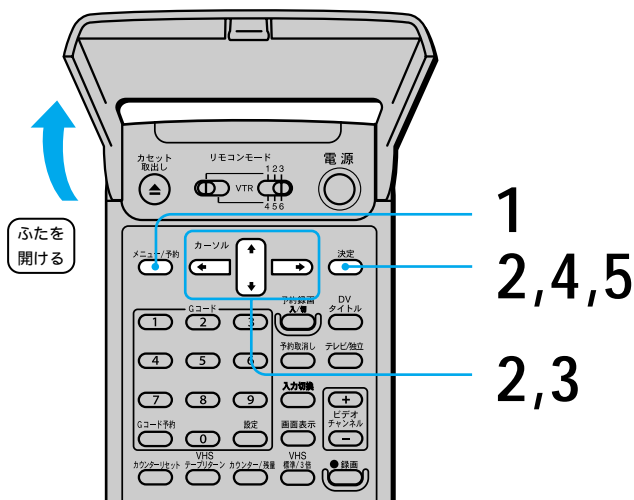
カセットラベルが記録され、もとの画面に戻ります。

ご注意

- カセットのつまみが赤になっていると、カセットラベルを入れられません。つまみをもとに戻してください (91ページ)。

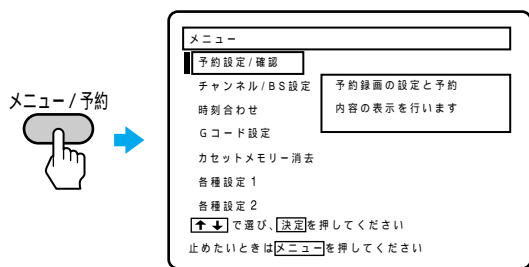
カセットメモリの 内容を消す

カセットメモリーに記録されたインデックス、日付、フォトデータをそれぞれ消すことができます。また、タイトルデータも含めたすべてのデータをまとめて消すこともできます。カセットメモリーがいっぱいで新しいタイトルを入れられないときや、テープを編集して不要な頭出し信号が多く入っているときなどは、以下の手順にしたがって不要なデータを消してください。

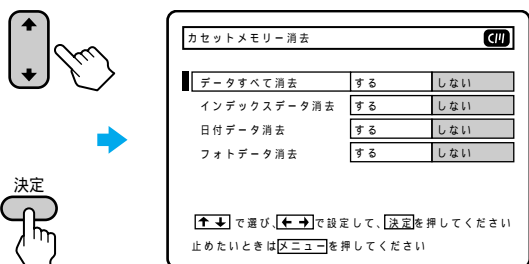


1 メニュー/予約ボタンを押す。

テレビ画面

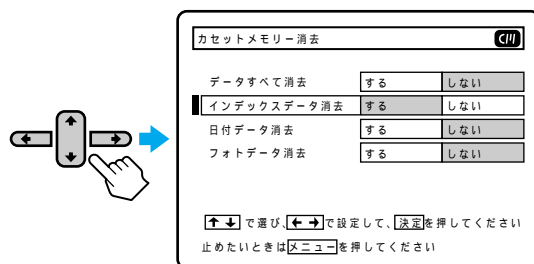


2 ▲/▼で「カセットメモリー消去」を選び、決定ボタンを押す。

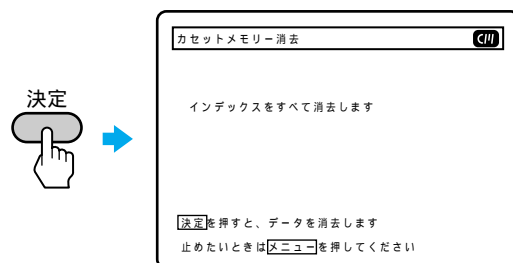


3 ▲/▼で消したい項目を選び、←/→で「する」にする。

「データすべて消去」を選ぶと、インデックス、日付、フォトデータおよびタイトルデータなどがすべて消えます。



4 決定ボタンを押す。 確認のメッセージが出ます。



5 決定ボタンを押す。 手順3で選んだ項目が消去されます。終わるともとの画面に戻ります。途中でやめたいときは、メニューボタンを押してください。

ちょっと一言

- 手順3では、消したい項目を一度に2つ以上選ぶこともできます。

ご注意

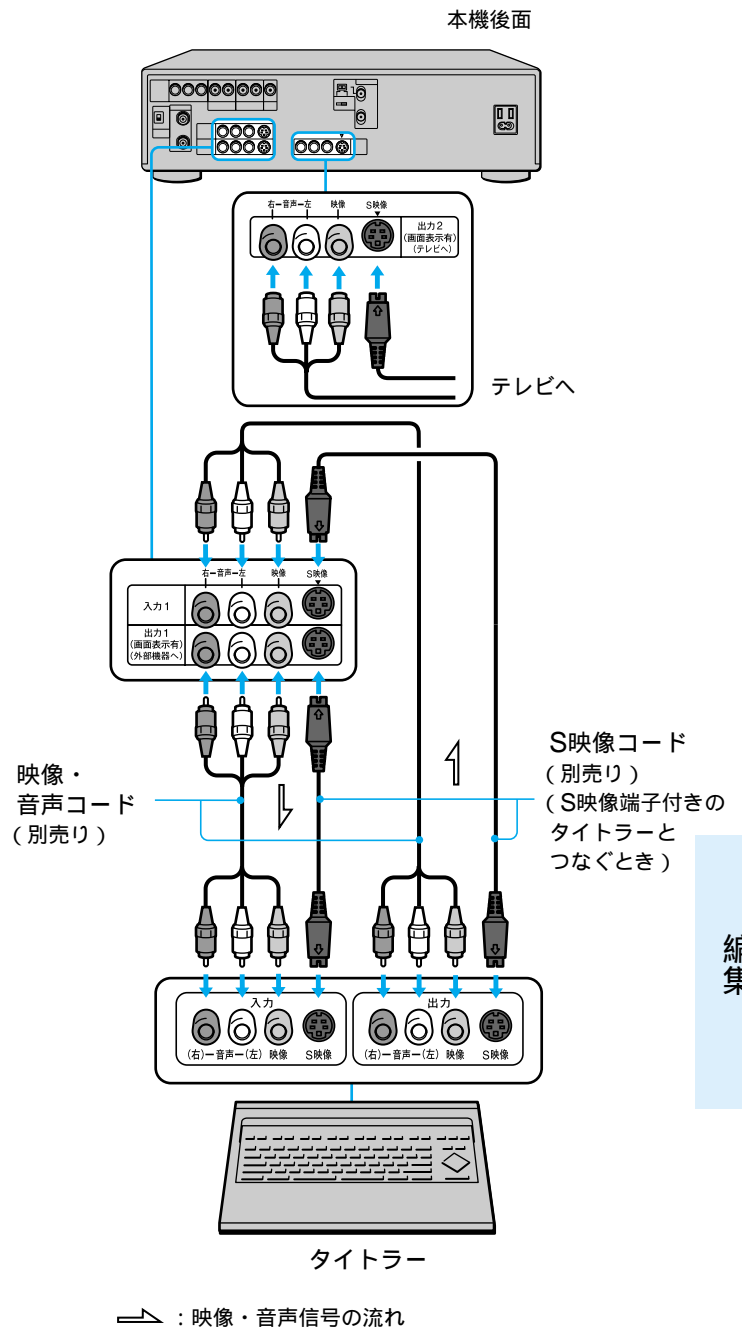
- カセットのつまみが赤になっていると、データを消去できません。つまみをもとに戻してください(91ページ)。

別売りのタイトラー を使って編集する

本機にタイトラーをつなぐと、タイトラーで作った文字や絵を再生側の映像に重ねて、文字や絵の入ったテープを作ることができます。

タイトラーをつないで編集するときは、本機の編集入(方向)/切、編集スタンバイ/開始、編集停止ボタンは使えません。以下のように操作してください。お手持ちのタイトラーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続する



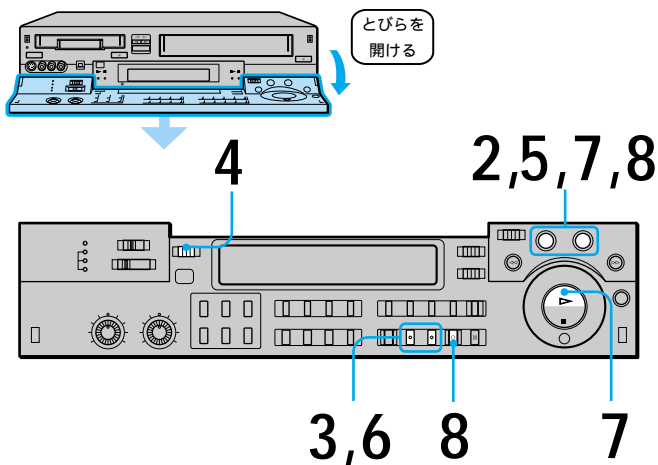
編集

ちょっと一言

- 本機の入力1端子にS映像コードをつないだときは、映像・音声コードの映像端子(黄)はつなぎません。このとき、メニューの「各種設定1」で「映像入力1」を「S映像」にします(89ページ) (入力2端子にS映像コードをつないだときは、映像信号は自動的にS映像端子に入力されます。)

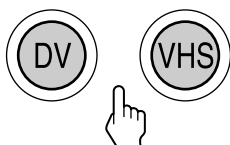
別売りのタイトラーを使って 編集する(つづき)

タイトルを入れる

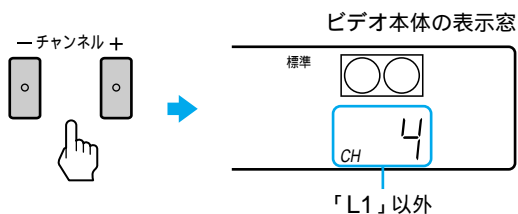


1 両方のデッキにカセットを入れ、タイトルを入れる場面の少し前まで巻き戻し(または早送り)しておく。

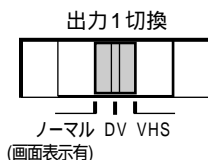
2 DVまたはVHSボタンを押して再生側のデッキを選ぶ。



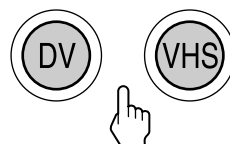
3 ビデオ本体の表示窓に「L1」以外の表示を出す。
チャンネル+/- ボタンで「L1」以外のチャンネルにしてください。「L1」になっていると、「ブーン」という音が出る場合があります。



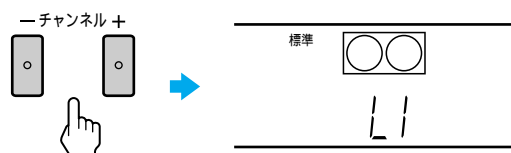
4 出力1切換スイッチを再生側のデッキ(DVまたはVHS)に合わせる。



5 DVまたはVHSボタンを押して、録画側のデッキを選ぶ。



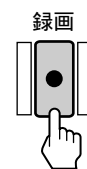
6 チャンネル+/- ボタンを押して、ビデオ本体の表示窓に「L1」を出す。
タイトラーからの映像が画面にでます。この状態でタイトル作成できます。



7 DVまたはVHSボタンを押して再生側のデッキを選び、再生▶ボタンを押す。



8 DVまたはVHSボタンを押して録画側のデッキを選び、録画●ボタンを押す。



9 タイトルを入れたい場面になったら、タイトラーを操作して画面にタイトルを出す。

両方のデッキの画面を見ながら編集するには

二画面ボタンを押して2画面にします(▶▶ 34ページ)。再生側と録画側の画像を見ることができ便利です。

ちょっと一言

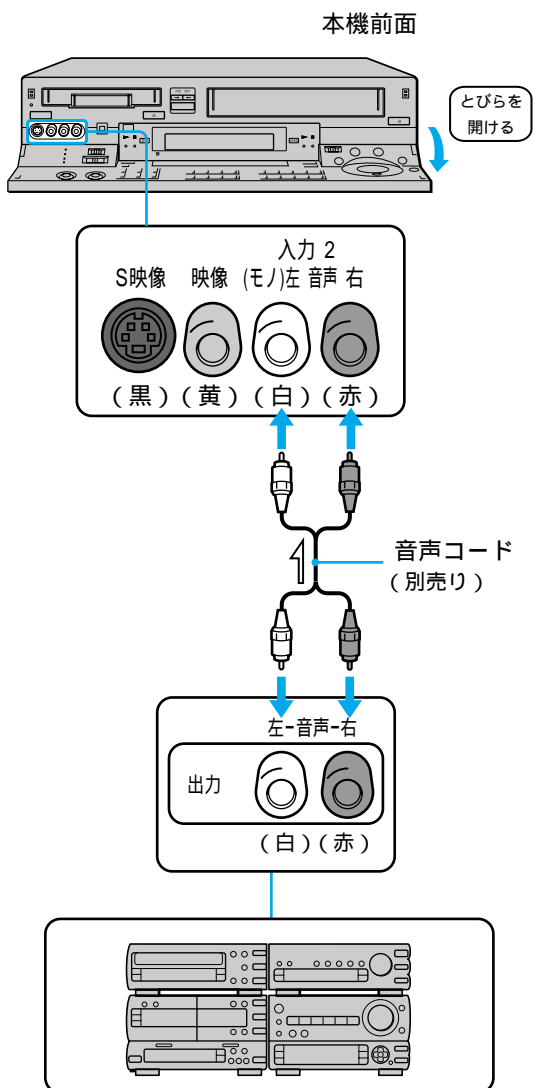
- 手順3および手順6で入力切換ボタンを押して選ぶこともできます。

音声を重ねる

(音声アフレコ)

本機にステレオなどのオーディオ機器をつなぐと、テープを編集するときBGMなどを重ねて入れることができます。これをアフレコといいます。すでに入っている音声は消えません。リモコンではできません。

接続する



→ : 映像・音声信号の流れ オーディオ機器

ちょっと一言

- 入力2端子の代わりに、本機後面の入力1端子につなぐこともできます。

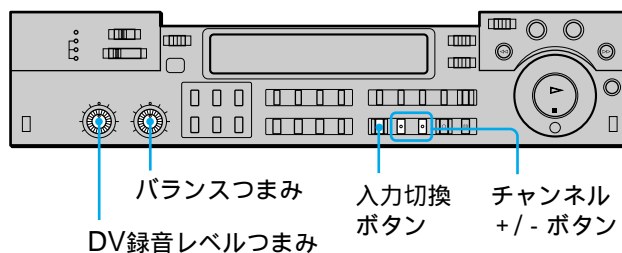
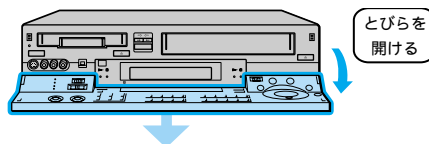
ご注意

- DV端子を使ってアフレコすることはできません。

準備する(DVのみ)

DVテープでは、アフレコする音声はステレオ2に記録されます(91ページ)。ステレオ1の音声はそのまま残ります。

以下のようにテープと本機を準備してください。



アフレコするテープを準備する

アフレコできるテープは、12ビットの音声記録モードで録画したテープのみです。メニューの「各種設定2」で「入力の音声記録」を「12ビット」にして、アフレコするテープを作ってください(89ページ)。

本機を準備する

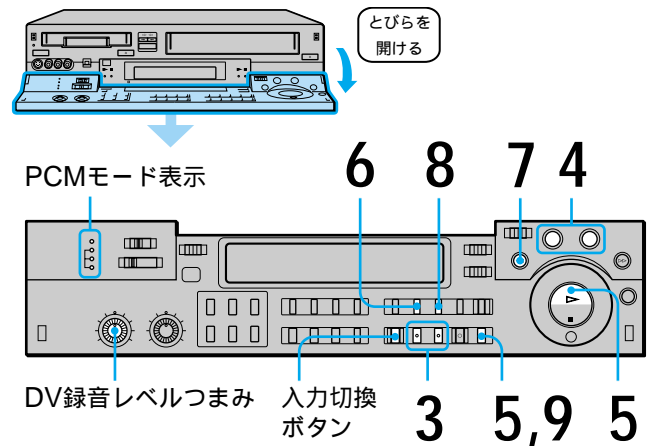
- 1 チャンネル +/- ボタンを押して、ビデオ本体の表示窓に「L2」を出す。
オーディオ機器を本機の入力1端子につないだときは、「L1」を出します。入力切換ボタンを押して「L1」または「L2」を選ぶこともできます。
- 2 メニューの「各種設定2」で「入力の音声記録」を「12ビット」にする(89ページ)。
- 3 録音レベルとバランスを調節する。
本機につないだステレオなどを再生して、DV録音レベルつまみ・バランスつまみで調節します。録音レベルは、ビデオ本体の表示窓のピークレベルメーターが赤にならないように調節してください。バランスはお好みに応じて調節してください(通常は中央にしておきます)。

音声を重ねる(つづき)

ご注意

- 16ビットの音声記録モードで記録されたテープには、アフレコできません。本機のチューナーでテレビやBS放送を録画すると、音声は自動的に16ビットで記録されます。
- 他のビデオで録画したテープにアフレコしたいときは、前もって本機でダビングし直してください。他のビデオで録画したテープにアフレコすると、音が劣化したり画像が乱れたりすることがあります。

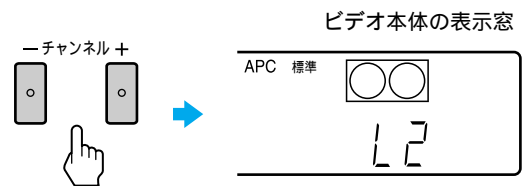
アフレコする



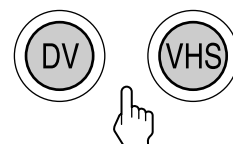
1 オーディオ機器で、入れたい音楽を再生一時停止にする。

2 本機にアフレコ用のテープを入れる。

3 チャンネル+/- ボタンを押して、ビデオ本体の表示窓に「L2」を出す。
オーディオ機器を本機の入力1端子につないだときは、「L1」を出します。入力切替ボタンを押して「L1」または「L2」を選ぶこともできます。

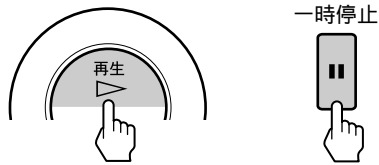


4 DVまたはVHSボタンを押して、アフレコするデッキを選ぶ。



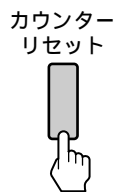
5

再生▶ボタンを押してテープを再生し、アフレコしたい場面の終わりで一時停止■ボタンを押す。



6

カウンターリセットボタンを押す。テープカウンターが「0H00M00s」になります。



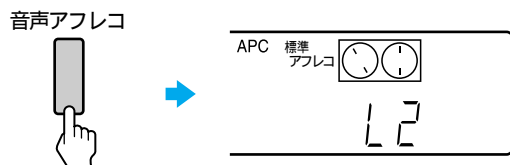
7

アフレコしたい場面の始めまで、巻戻し◀◀ボタンを押す。アフレコしたい場面の始めで、再生一時停止にしてください。



8

音声アフレコボタンを押す。



9

本機の一時的停止■ボタンを押すと同時に、オーディオ機器の再生一時停止を解除する。アフレコが始まります。このとき、ステレオ1の音声(すでに入っている音声)は聞こえませんが、テープカウンターが「0H00M00s」になったら自動的にアフレコが終わり、本機が停止します。

10

オーディオ機器の再生を止める。

アフレコしたテープを再生するには

「アフレコした音声を聞く」(▶▶ 25ページ)をご覧ください。

音声をフェードインする(DVのみ)

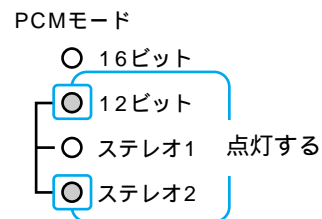
前もって本機のDV録音レベルつまみを「小」(もっとも左)に合わせておきます。アフレコが始まったら、つまみを徐々に右に回して録音レベルを上げてください。

音声をフェードアウトする(DVのみ)

アフレコが終わりに近づいたら、本機のDV録音レベルつまみを「小」の位置まで徐々に左に回して、録音レベルを下げてください。

ちょっと一言

- DVテープに録画するとき、ビデオ本体のPCMモード表示で音声記録モードを確認できます。アフレコ中は以下のように「ステレオ2」のランプが点灯します。



- アフレコしたBGMなどの音量が、すでに入っている音声よりも小さくなる場合があります。

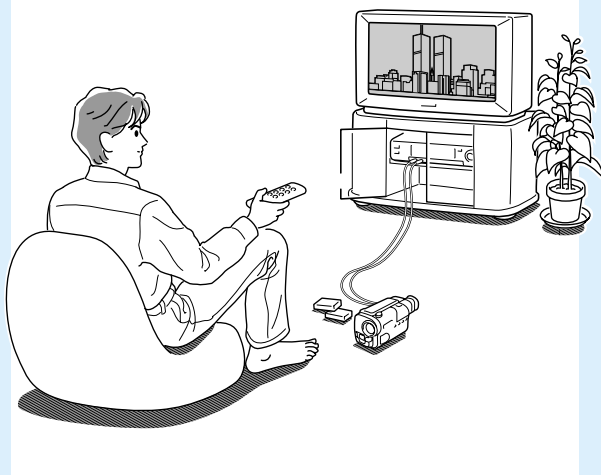
ご注意

- 手順6で「0H00M00s」が出ないときは、カウンター/残量ボタンを押してください。

他機をつないで 行う操作

ここでは、本機にいろいろな機器をつないでできる操作について説明します。ビデオカメラでとった画像を見たり、ゲームをするときは、本機の前面入力端子を使うと便利です。また、本機に他のビデオデッキやビデオカメラをつないで、テープをそのままダビングしたり、必要なところをつないで編集したりできます。以下の機器の接続は()内のページをご覧ください。

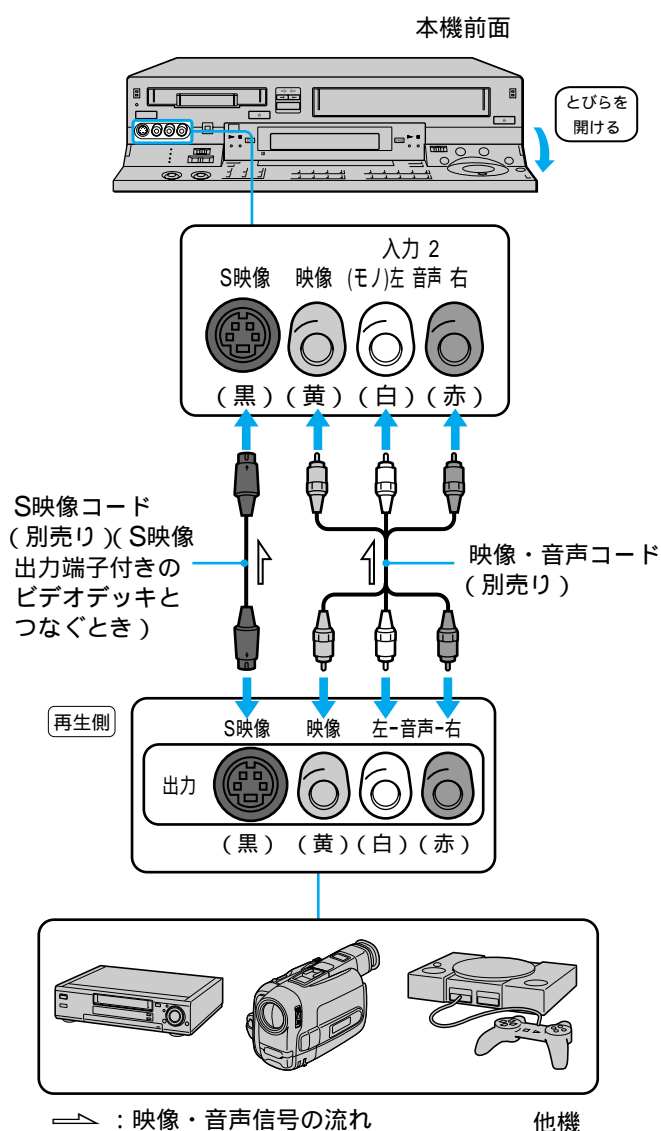
- BSデコーダー(WOWOW) (83ページ)
- ハイビジョンテレビ・MUSE-NTSCコンバーター(84ページ)
- ケーブルテレビ(CATV)(85ページ)



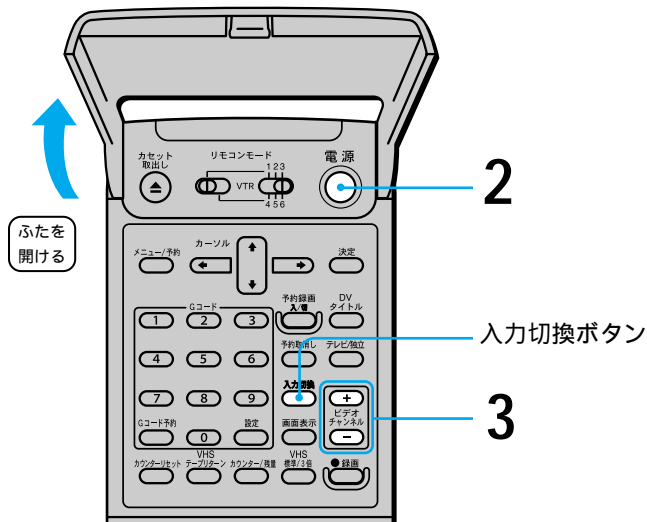
ビデオ機器をつないで 見る・ゲームをする

テレビに映像・音声入力端子がなかったり、後面にしかない場合、本機前面の入力2端子にビデオカメラやゲームなどをつなぐと便利です。

接続する



ビデオを見る・ゲームをする



ちょっと一言

- 手順3で入力切替ボタンを押しても「L2」が選べます。押すたびに次のように切り換わります。
VHF/UHFチャンネル BSチャンネル 入力1(L1) 入力2(L2) DV(DVのみ)

ご注意

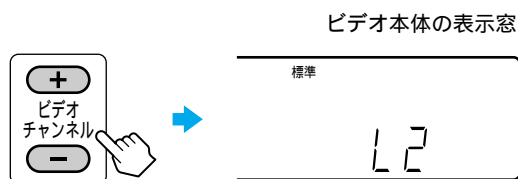
- 本機の入力端子につないだ機器がモノラルのときは、音声コードを必ず音声左(モノ)端子につないでください。

1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 電源スイッチを押して、本機の電源を入れる。

3 ビデオチャンネル +/- ボタンを押して「L2」を選ぶ。
+ ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

VHF/UHFチャンネル(CH1、CH3、...) BSチャンネル(BS1、BS3、...) 入力1(L1) 入力2(L2) DV(DVのみ)

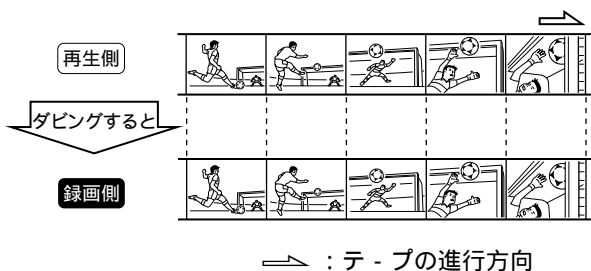


4 本機の入力端子につないだ機器の電源を入れて、その機器の再生をする。

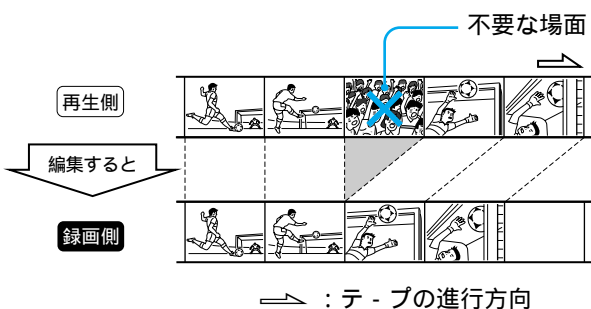
ビデオ機器をつないで ダビング・編集する

テープの内容を別のテープに録画します。つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

途中で止めずにそのままダビングするとき

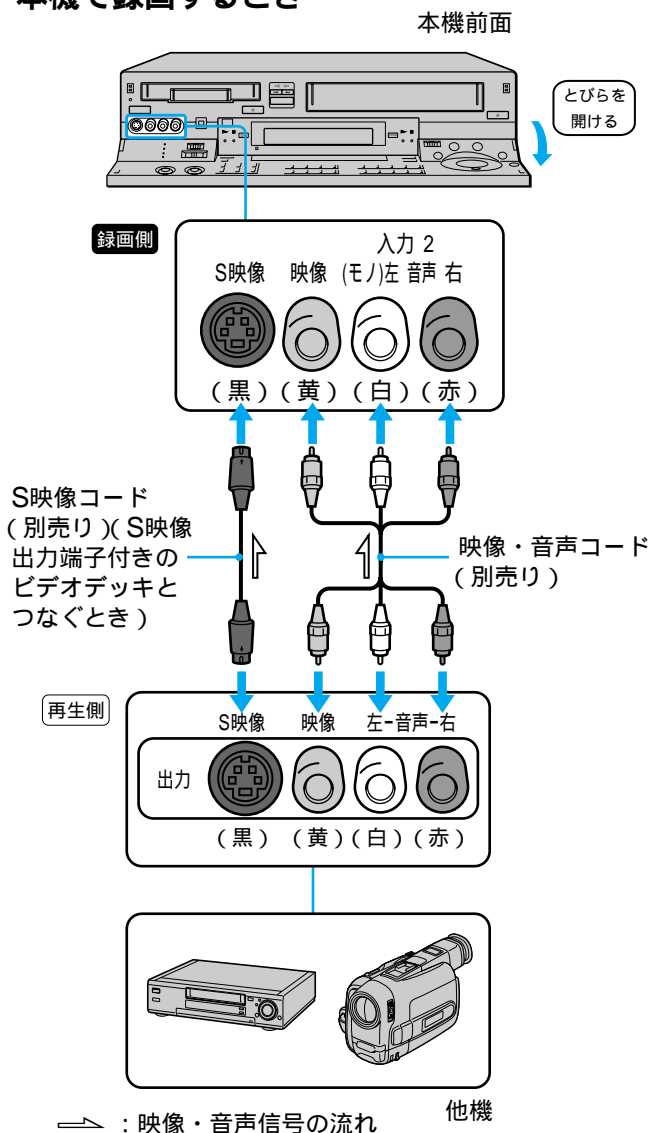


好きな場面だけ編集するとき



接続する

本機で録画するとき



ちょっと一言

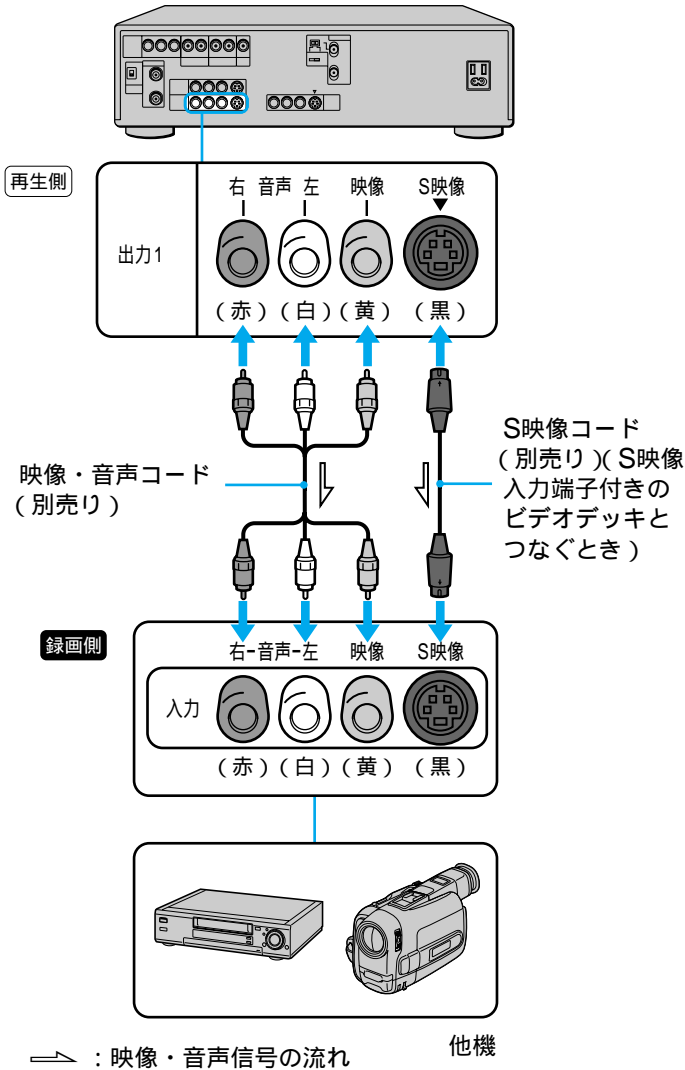
- 再生側の機器がモノラルのときは、音声コードは必ず音声左(モノ)端子につないでください(入力2のみ)。
- 本機で録画するとき、本機後面の入力1端子を使うこともできます。
- 本機の入力1端子にS映像コードをつないだときは、映像・音声コードの映像端子(黄)はつなぎません。このとき、メニューの「各種設定1」で「映像入力1」を「S映像」にします(89ページ)。(入力2端子にS映像コードをつないだときは、映像信号は自動的にS映像端子に入力されます。)

ご注意

- 本機の出力端子を他機の入力端子へつないだまま、その機器の出力端子を本機の入力端子へつながないでください。ブーンという音が出ることがあります。

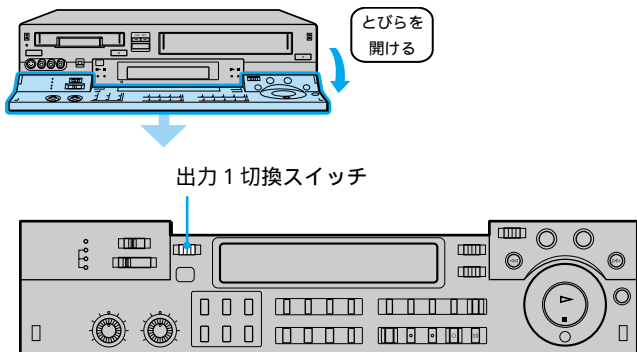
本機で再生するとき

本機後面



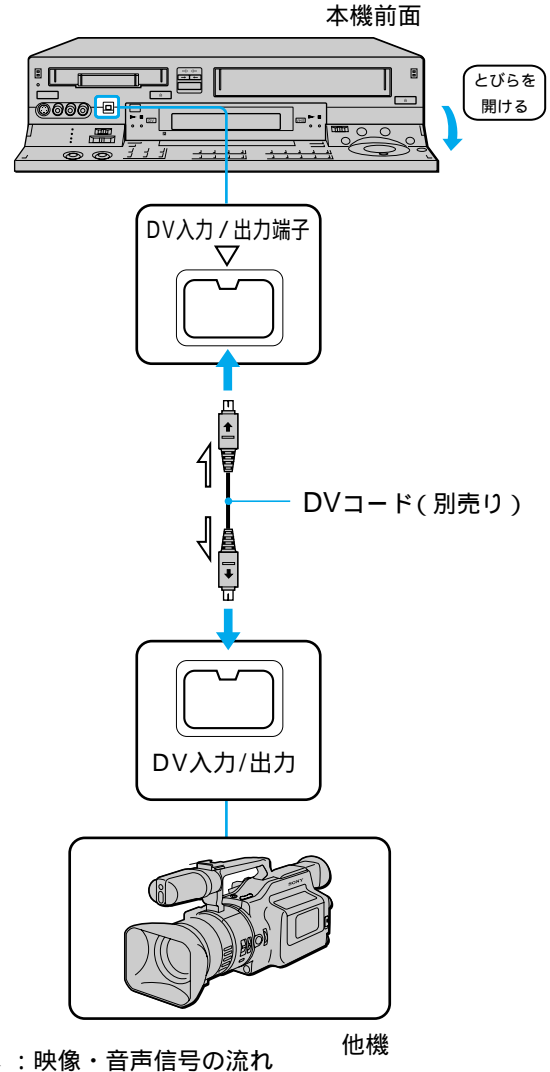
ちょっと一言

- S映像コードでつないだときは、映像・音声コードの映像端子(黄)はつなぎません。
- 本機の出力1端子に他機を接続すると、本機前面の出力1切換スイッチでDVデッキまたはVHSデッキのどちらかの映像に固定できます。誤録画を防止するのに便利です。このとき、画面表示は録画されません(出力1切換スイッチを「ノーマル」にすると、選んでいるデッキの映像が出力されます)。



DV入力/出力端子のあるビデオ機器と接続するとき

DV入力/出力端子を使ってデジタルビデオとつなぐと、画像や音声をデジタル信号のまま伝送し、画質や音質をほとんど劣化させずに編集できます。また、機器の状態によって信号の流れる方向を自動的に切り換えるため、入力/出力に応じてつなぎなおす必要がありません。



ちょっと一言

- 本機のDV入力/出力端子から出力されるのは、DVテープの再生信号のみです。テレビ放送やBS放送、本機の入力端子につないだ機器の信号、VHSデッキの再生信号などは出力されません。
- DV入力/出力端子につないだ機器からVHSデッキに録画することはできません。
- DV入力/出力端子を使ってつないだとき、再生側のテープに記録された録画情報(録画した日時、カメラ情報など)は、そのまま録画側に伝送されます。ただし、カセットメモリーの内容は伝送されません。
- DV入力/出力端子を使ってつないだとき、録画側のテープの音声記録モードは再生側と同じになります。本機で録画するときに音声記録モードを変えたいときは、入力1または入力2端子につないでください。

他機をつないで行う操作

ダビング・編集する

テープの内容をそのままダビングしたり、好きな場面だけ編集することができます。

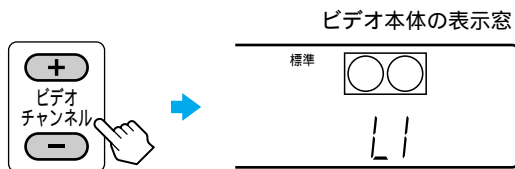
1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を録画側の機器に切り換える。

2 録画側 再生側
両方のビデオデッキにテープを入れる。

3 再生側
画面表示を消す。
画面表示を出したままにしておくと、画面表示もいっしょに録画されます。
本機が再生側のときは、ビデオ本体の出力1切換スイッチで再生するテープの入ったデッキを選んでください。画面表示が録画されなくなります。

4 再生側
二か国語放送などのテープからダビングするときは、録音したい音声を選ぶ。
本機が再生側のときは、あらかじめ再生し、音声切換ボタンを押して選びます。
音声切換ボタンが再生側の機器にないときは、この手順をとばします。

5 録画側
再生側の機器をつないでいる入力(「入力1」、「入力2」、「DV」など)に切り換える。
本機が録画側で、入力1端子につないでいるときは、ビデオチャンネル+/- ボタンを押して、ビデオ本体の表示窓に「L1」を出します。入力2端子につないでいるときは、「L2」を、DV入力/出力端子につないでいるときは「DV」を出します。



6 録画側
録画モードを選ぶ。
本機が録画側でVHSデッキで録画するときは、VHS標準/3倍ボタンを押して選びます。

7 録画側
録画一時停止にする。

再生側
再生一時停止にする。

8 録画側 再生側
両方の一時停止を解除する。
録画が始まります。

9 好きな場面だけ編集するとき
録画側

映像を見ながら、不要な場面で録画一時停止にする。

再生側
録画を再開したい場面の直前で再生一時停止にする。

手順8と9をくり返して、好きな場面だけ編集します。

10 録画側 再生側
録画が終わったら、両方の停止ボタンを押す。

音声をアフレコしたDVテープをダビング・編集するときは(本機が再生側のとき)

手順4でDV音声切換スイッチを切り換えて、録音したい音声を選んでください。

ステレオ1: すでに入っていた音声のみ

ミックス: すでに入っていた音声とアフレコした音声のミックス音声

ステレオ2: アフレコした音声のみ

本機のDV入力/出力端子に他機をつないだときは、音声を選ぶことはできません。

ちょっと一言

- 本機が再生側で出力2端子につないでいるときは、メニューの「各種設定1」の「自動画面表示」を「切」にしておいてください(89ページ)。
- 本機のDVデッキが再生側で、DV入力/出力端子につないだとき、ダビング・編集中(DVテープの再生中)に、ビデオ本体の表示窓に「DV出力」表示が点灯します。

ご注意

- 編集したテープを再生すると、場面のつなぎ目で映像が乱れることがあります。

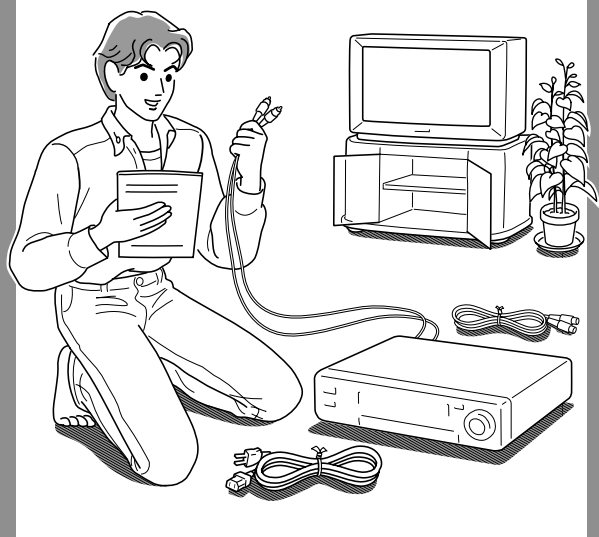
接続と準備

ここでは、本機を使用するために最低限必要なアンテナやテレビなどの接続および、時計やチャンネル合わせなどの準備について説明します。

さらに、WOWOWやケーブルテレビなどをお楽しみいただける別売りの機器とのつながりも説明しています。

以下の機器の接続は()内のページをご覧ください。

- ビデオカメラ・ビデオデッキなどのビデオ機器(≡ 54ページ)
- ゲーム機(≡ 54ページ)



接続と準備の流れ

手順1～8まで済ませれば、本機を使用できる状態になります。それ以外は必要に応じてご覧ください。

手順1：付属品を確認する ≡ 60ページ

手順2：リモコンを準備する ≡ 61ページ

手順3：アンテナとテレビにつなぐ ≡ 62ページ

手順4：BSアンテナをつなぐ ≡ 66ページ

手順5：電源コードをつなぐ ≡ 68ページ

手順6：チャンネルを自動で合わせる
(自動チャンネル合わせ) ≡ 69ページ

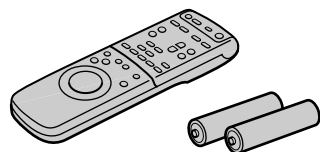
手順7：時計を合わせる ≡ 70ページ

手順8：Gコードの設定をする ≡ 72ページ

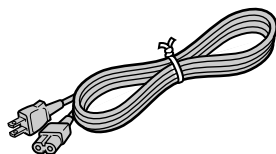
手順1: 付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

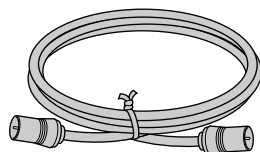
リモコン(1個)と
単3形乾電池(2個)



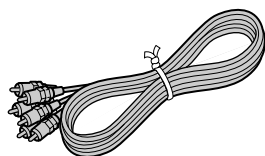
電源コード(1本)



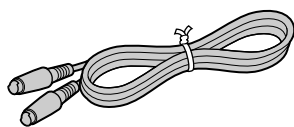
F型コネクター付き同軸ケーブル(1本)



映像・音声コード(1本)



S映像コード(1本)



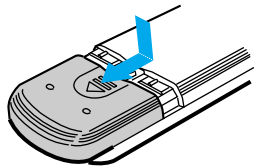
取扱説明書
安全のために
ソニーご相談窓口のご案内
保証書

(各1部)

手順2: リモコンを準備する

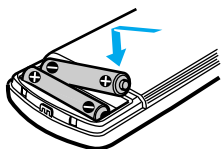
乾電池を入れ、ビデオ本体とリモコンのリモコンモードが合っていることを確認します。リモコンモードが合っていないと、リモコンで操作できません。

1 裏面のフタを開ける。

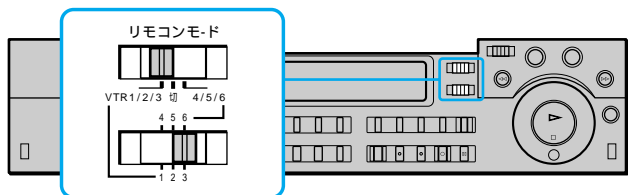
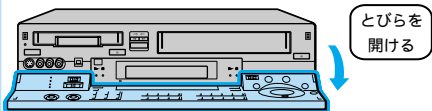
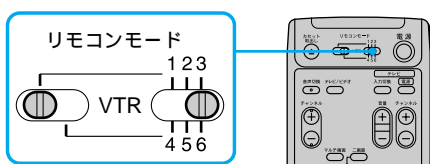


2 乾電池を入れる。 必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。

⊕と⊖の向きを正しく



3 ビデオ本体とリモコンのリモコンモードが合っていることを確認する。 お買い上げ時はリモコン、ビデオ本体とも「VTR3」になっています。

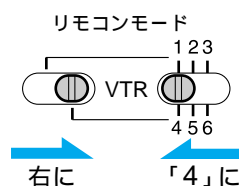


2台以上のソニーのビデオデッキを使うときは

操作したいビデオデッキだけが反応するように、ビデオデッキごとに別のリモコンモードを設定します。例えば、もう1台のビデオデッキが「VTR3」に設定されている場合は、本機を「VTR3」以外に設定します。リモコンモードスイッチのないビデオの場合は、ベータは「VTR1」、8ミリは「VTR2」、VHSは「VTR3」、DVIは「VTR2」または「VTR4」に設定されています。

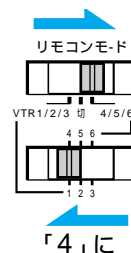
- リモコンモードを「VTR4」、「VTR5」または「VTR6」に設定するには
リモコンおよびビデオ本体のリモコンモードスイッチを、次のように切り換えてください。
例：「VTR4」に設定するとき

リモコン



ビデオ本体

「VTR4/5/6」に



ちょっと一言

- ビデオ本体のリモコンモードスイッチを「切」にすると、リモコンの操作を受け付けなくなります。
- 乾電池の交換時期は約6か月です。リモコン操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい乾電池に交換してください。
- リモコンの乾電池を交換したときは、テレビのメーカー番号を合わせ直してください(86ページ)。

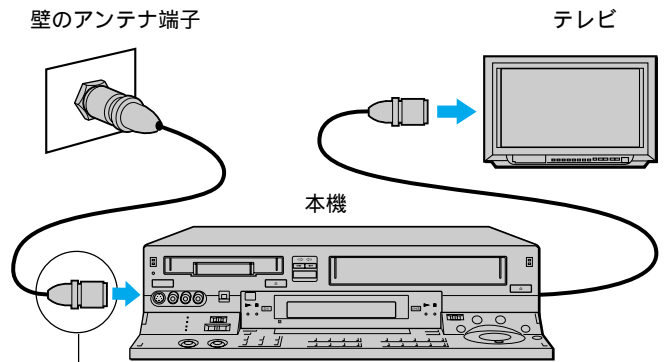
手順3：アンテナとテレビにつなぐ

アンテナ線をつなぐ

アンテナ線は次のようにつなぎます。テレビやお手持ちのビデオにアンテナ線がつながっている場合は、はずして本機につなぎ直します。

ちょっと一言

- 次のときは別売りのアンテナブースターを、本機とアンテナの間につないでください。
 - 電波が弱く画面にチラつき、斜めじまが入るとき
 - 2台以上のビデオにアンテナをつなぐとき




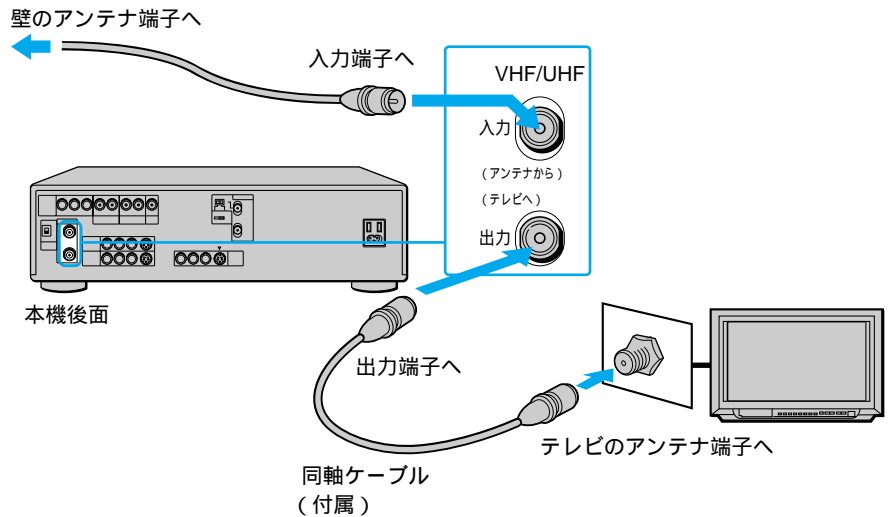
アンテナ線の形に合わせて、つなぎかたを選んでください。

該当する接続がないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

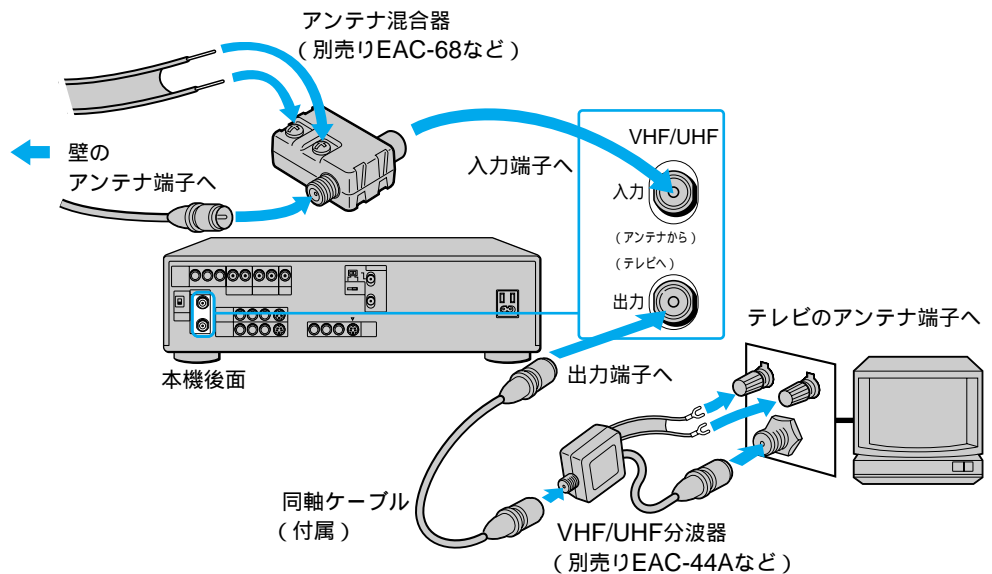
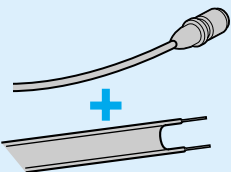
A プラグ付き同軸ケーブルのとき



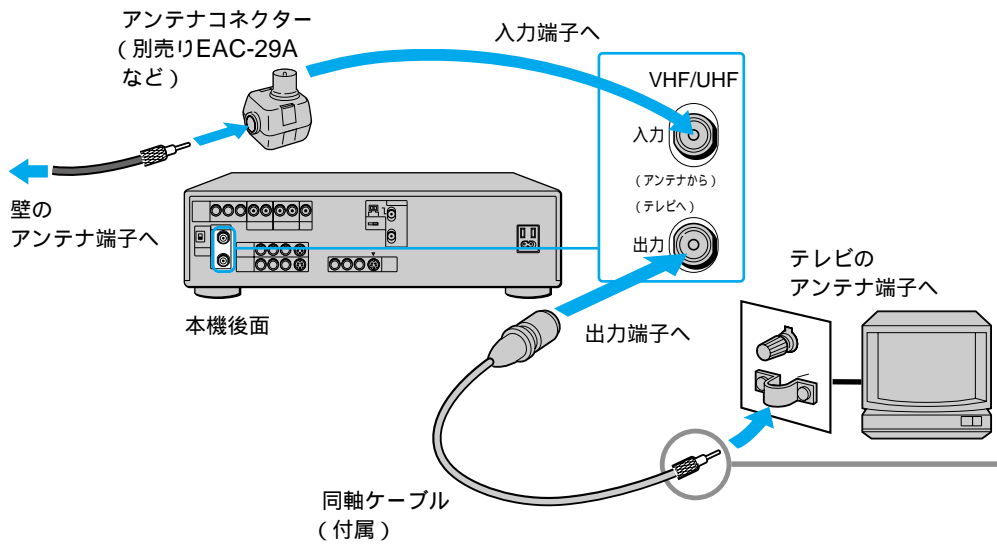
マンションなどの共同受信システムなどで、壁のアンテナ端子がVHF/UHF/BS混合のときは**B**( 64ページ)をご覧ください。



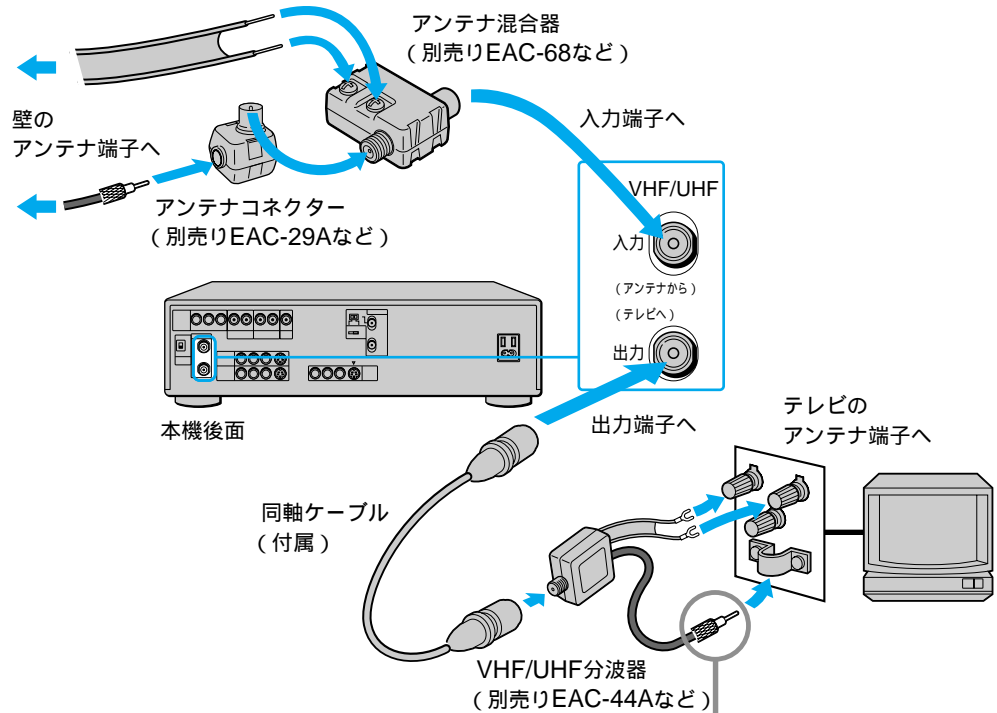
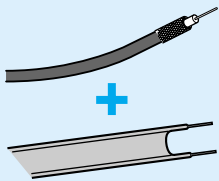
B プラグ付き同軸ケーブル + フィーダー線のとき



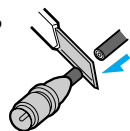
**㉞ プラグなし
同軸ケーブル
のとき**



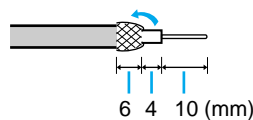
**㉟ プラグなし
同軸ケーブル
+ フィーダー線
のとき**



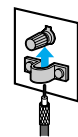
1 プラグを切り取る



2 切り取ったケーブルの
芯線とアミ線を出す



3 アンテナ端子
に巻き付ける



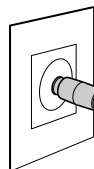
手順3：アンテナとテレビにつなぐ (つづき)

③ 壁のアンテナ端子がVHF/UHF/BS混合のとき

(マンションなどの共同受信システムなど)

WOWOWやSt.GIGAをご利用になるときは、「デコーダーやケーブルテレビなどをつなぐ」(83ページ)もあわせてご覧ください。

壁のアンテナ端子へ
(VHF/UHF/BS)



同軸ケーブル
(別売り)

衛星/UV
混合分波器
(別売りEAC-
BCUVなど)*

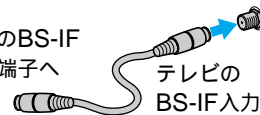
衛星用
同軸ケーブル
(室内用：別売り)

同軸ケーブル
(別売り)

* 衛星/UV混合分波器の代わりにテレビアンテナ用のコネクターや分波器、分配器を使わないでください。きれいに受信できません。

テレビがBSチューナー内蔵のとき
この接続をするとテレビのBSチューナーも使えます。本機でBS放送を録画し、テレビでBSを見るときなどに便利です。

本機のBS-IF
出力端子へ



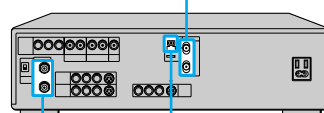
衛星用同軸ケーブル
(室内用：別売り)

BS-IF
入力端子へ

入力
(BSアンテナから)

出力

本機後面



コンバーター用電源を「切」にする

DC 15V最大4W



テレビのコンバーター用電源も「切」にします。

入力端子へ

VHF/UHF
入力
(アンテナから)

出力端子へ

同軸ケーブル
(付属)

テレビ後面のアンテナ端子へ
(端子の形状に合わせて、A~Dから選んでつないてください)

警告

BS-IF入力端子には専用のケーブルをつないでください

衛星用同軸ケーブル以外のケーブルをBS-IF入力端子に絶対つながないでください。BS-IF入力端子からはBSコンバーター用の電源が供給されているため、専用のケーブルをつながないとショートして火災などの事故の原因となることがあります。

推奨ケーブル

- 室内用：EAC-S310/S320/S330/S350/S3100など
- 室外用：SAK-C10/C20/C30など

ちょっと一言

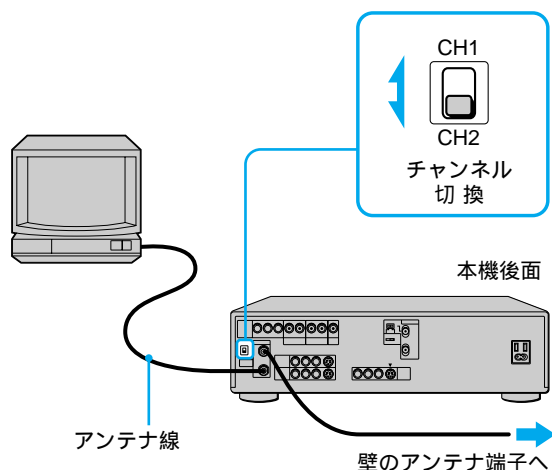
- BS放送の受信電波が弱くノイズが出るときは、別売りの衛星ブースター(BO-BC20など)を本機と壁のVHF/UHF/BS端子の間につないでください。
- 衛星分波器を使って複数のBS機器をつなぐときは、衛星分波器の取扱説明書もご覧ください。

ご注意

- 画像の乱れを防ぐために
 - 本機の上にテレビを直接置かないでください。
 - アンテナ線はなるべく短くし、本機から離してください。特にフィーダー線は同軸ケーブルにくらべて雑音電波などの影響を受けやすいため、本機から離してください。
- アンテナコネクターで、本機のVHF/UHF出力端子とテレビのアンテナ端子をつながないでください。

映像・音声入力端子のないテレビとつないだときは

本機とテレビの接続は「アンテナ線をつなぐ」(62~64ページ)で済んでいます。このように本機とテレビをアンテナ線だけでつないだときは、チャンネル切換スイッチを放送のないチャンネル(1または2)に合わせます。ビデオを見るときはここで合わせたチャンネル(1または2)を選びます。またこのとき、メニューの「各種設定1」で「アンテナ切りかえ」を「自動」にしてください(88ページ)。



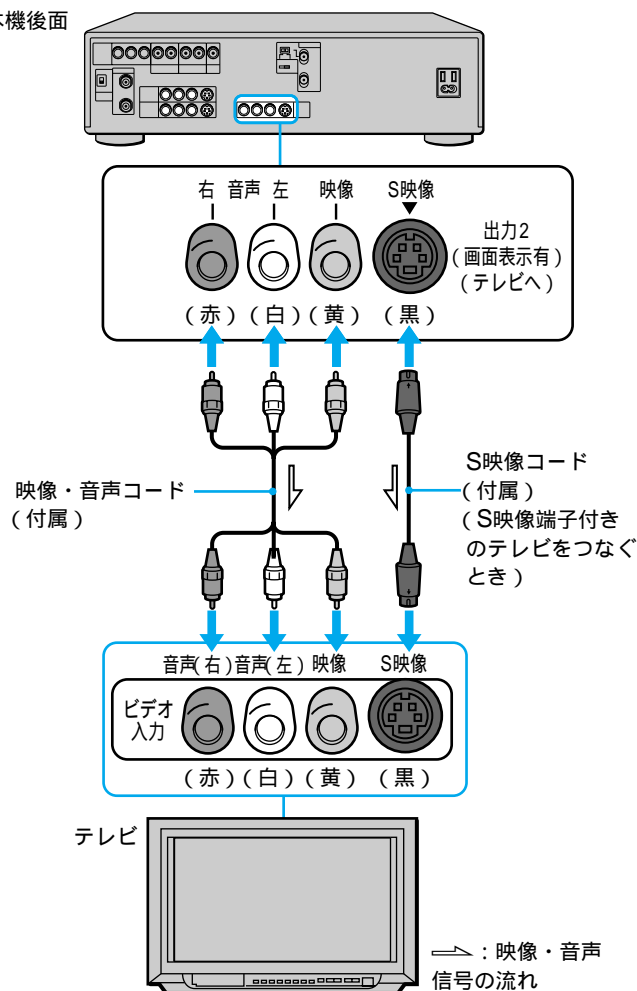
ご注意

- UHF放送だけの地域でも、テレビのVHF端子と本機のVHF/UHF出力端子をつないでください(62ページ)。つながないと、ビデオを見ることができません。
- 音声は常にモノラルになります。

映像・音声入力端子のあるテレビとつなぐ

本機の出力2端子とテレビの入力端子を付属の映像・音声コードでつなぎます。アンテナ線だけの接続より、きれいな画像とステレオ音声が楽しめます。ビデオを見るときは、つないだテレビの端子(「ビデオ1」、「ビデオ2」など)を選びます。

本機後面





S映像入力端子付きのテレビとつなぐときは

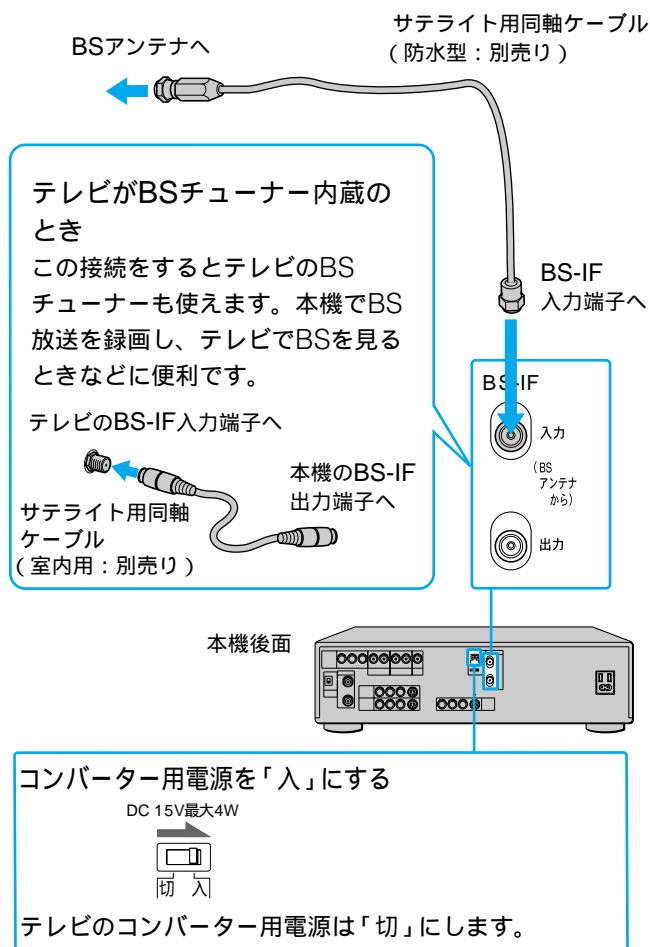
S映像コードを使うと、よりきれいな映像が楽しめます。このとき、映像・音声コードの映像端子(黄)はつなぎません。

ちょっと一言

- テレビは本機の出力2端子につないでください。メニューやテープ走行表示などが見られます。
- メニューの「各種設定1」の「アンテナ切りかえ」は「手動」のままにしておきます(88ページ)。「自動」にすると録画中に裏番組を見るときに、テレビ/ビデオボタンを押す必要がありますが、「手動」ではその必要がなく便利です。
- テレビの音声入力端子が1個しかない場合は、別売りの映像・音声コードVMC-910MSなどでつないでください。

手順4： BSアンテナをつなぐ

BSアンテナをビデオに直接つなぐ方法です。マンションの共同受信システムなどでVHF/UHF/BS混合のときは、 64ページをご覧ください。BSアンテナの設置には技術が必要なため、お買い上げ店などに依頼することをおすすめします。WOWOWやSt.GIGAをご利用になるときは、「デコーダーやケーブルテレビなどをつなぐ」( 83ページ)もあわせてご覧ください。



警告

BS-IF入力端子には専用のケーブルをつないでください

衛星用同軸ケーブル以外のケーブルをBS-IF入力端子に絶対つながないでください。BS-IF入力端子からはBSコンバーター用の電源が供給されているため、専用のケーブルをつながないとショートして火災などの事故の原因となることがあります。

推奨ケーブル

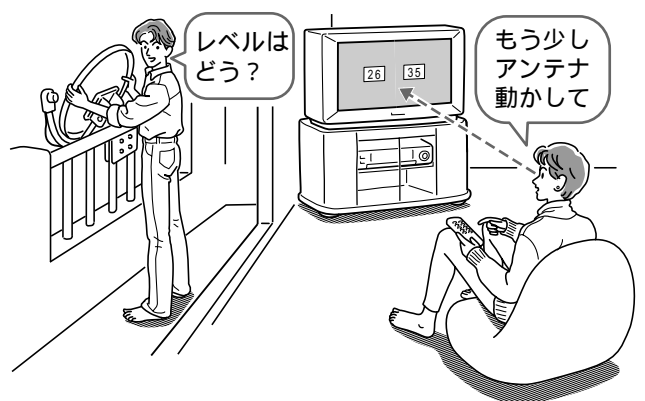
- 室内用：EAC-S310/S320/S330/S350/S3100など
- 室外用：SAK-C10/C20/C30など


ちょっと一言

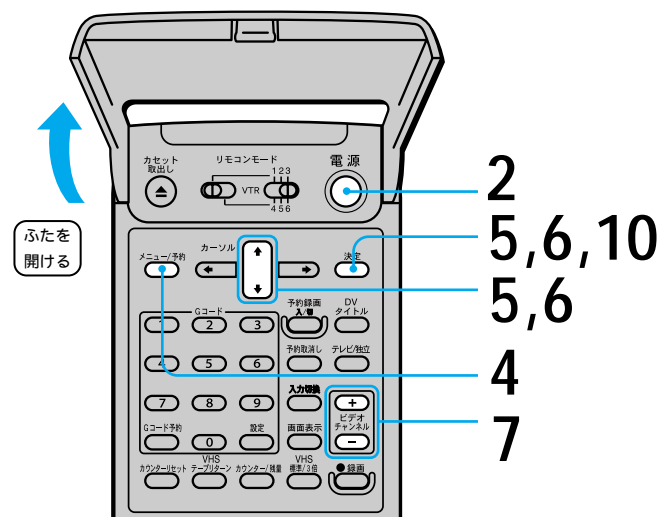
- BS放送の受信電波が弱くノイズが出るときは、別売りの衛星ブースター(BO-BC20など)を本機とBSアンテナの間につないでください。
- 衛星分波器を使って複数のBS機器をつなぐときは、衛星分波器の取扱説明書をご覧ください。

BSアンテナの向きを調節する

BSアンテナをご自分で設置するときや画像の映りが悪いときは、アンテナの向きを調節します。調節には2人必要です。1人がテレビ画面の画像とレベル表示を見て、もう1人がそのレベル表示が最大になるようにBSアンテナを動かして調節します。



1つのBSチャンネルで調節すれば、他のBSチャンネルの調節は不要です。調節する前に、電源コードをつないでください(「手順5：電源コードをつなぐ」 68ページ)。

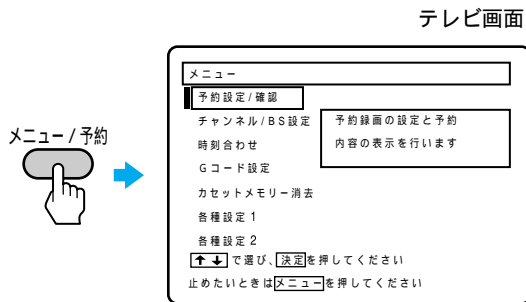


1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

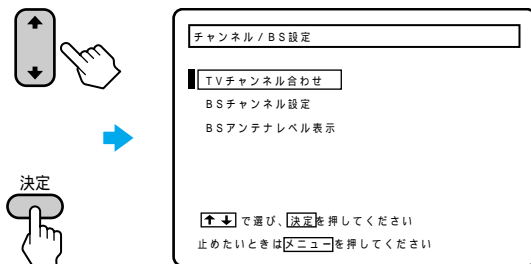
2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

3 BSアンテナを設置する。
設置場所や向きなど、詳しくはBSアンテナの取扱説明書をご覧ください。

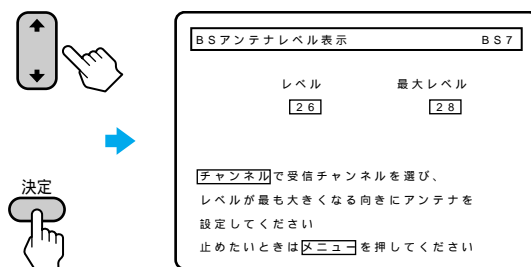
4 メニュー/予約ボタンを押す。



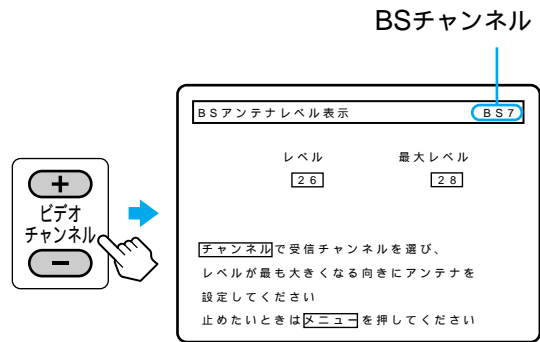
5 ↑/↓で「チャンネル/BS設定」を選び、決定ボタンを押す。



6 ↑/↓で「BSアンテナレベル表示」を選び、決定ボタンを押す。

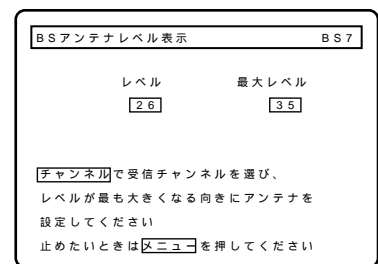


7 ビデオチャンネル+/- ボタンでBSチャンネルを選ぶ。



8 テレビにBS放送の画像が出るように、BSアンテナを動かす。
BS放送の画像がテレビに映った状態で、「最大レベル」の数字がより大きくなるようにします。20以下では受信できないことがあります。25～30以上を目安にしてください。

- BS放送の受信電波が弱くノイズが出るときは別売りのサテライトブースター(BO-BC20など)を本機とBSアンテナの間につないでください。

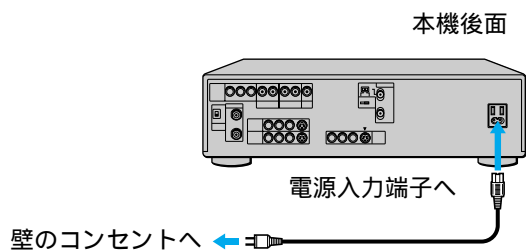


9 「レベル」と「最大レベル」の数字が一致または一番近づいたところで、アンテナを固定する。

10 決定ボタンを押す。
メニューが消えます。

手順5： 電源コードをつなぐ

電源コードは必ず、すべての接続が終わってからつないでください。



他機の電源として本機の電源コンセントを使うには

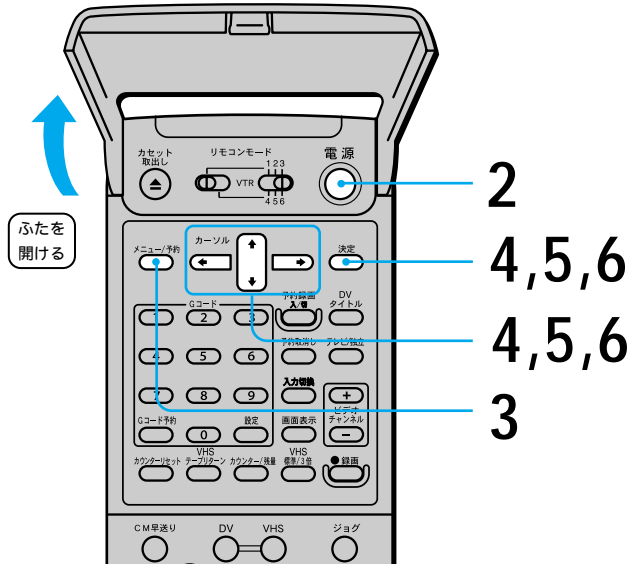
他機の電源コードを本機後面の電源コンセントにつなぎます。ただし、消費電力が200Wを超える機器はつながないでください。

また、メニューの「各種設定1」の「電源コンセント」で、以下の切り換えができます(▶ 89ページ)。

- 「連動」: つないだ機器の電源を本機の電源の入/切と同時に入/切する。
- 「非連動」: 本機の電源の入/切に関係なく、つないだ機器に常に電源を供給する。

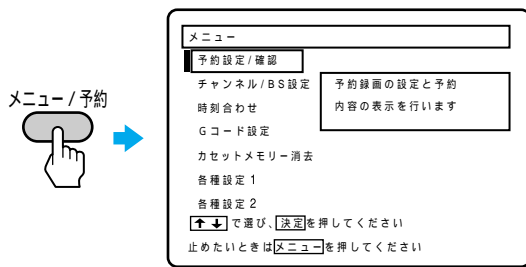
手順6：チャンネルを自動で合わせる(自動チャンネル合わせ)

受信できるVHF放送とUHF放送を自動的に設定します。放送のある時間帯に行ってください。BS放送はお買い上げ時に設定されていますので、チャンネル合わせは必要ありません。

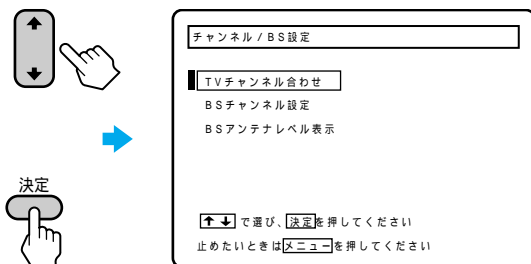


- 1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。
- 2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。
- 3 メニュー/予約ボタンを押す。

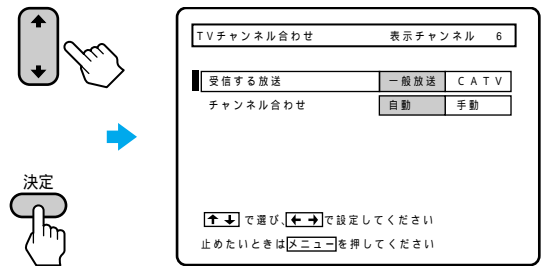
テレビ画面



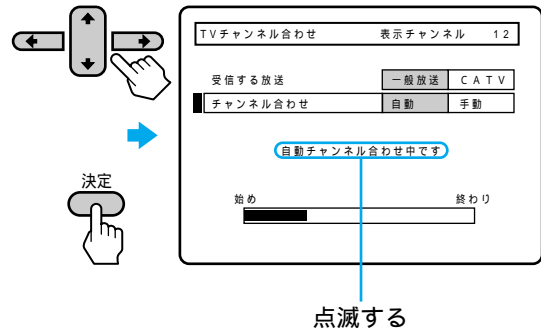
- 4 ▲/▼で「チャンネル/BS設定」を選び、決定ボタンを押す。



- 5 ▲/▼で「TVチャンネル合わせ」を選び、決定ボタンを押す。



- 6 ▲/▼で「チャンネル合わせ」を選び、◀/▶で「自動」にし、決定ボタンを押す。自動的にチャンネル合わせを始めます。終わると、メニュー画面が消えます。



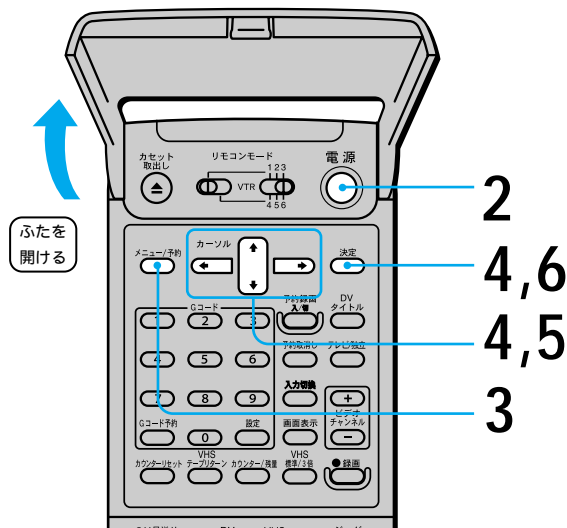
チャンネルの番号を変更したり、削除するには

自動チャンネル合わせでは以下になる場合があります。このときは「チャンネルの番号を変える」(76ページ)をご覧ください。

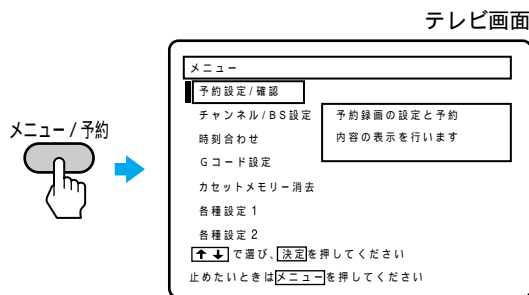
- 同じ番組でも、これまで見ていたチャンネルと違うチャンネルの番号になる。
- お住まいの地域の電波の強さによっては、不必要なチャンネルが設定される。

手順7： 時計を合わせる

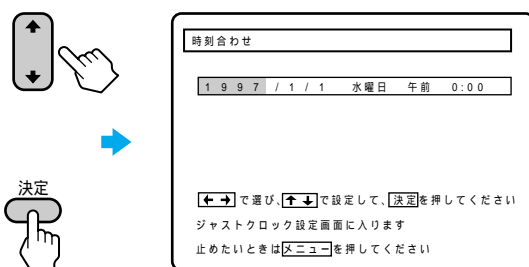
予約するには、時計を合わせておく必要があります。



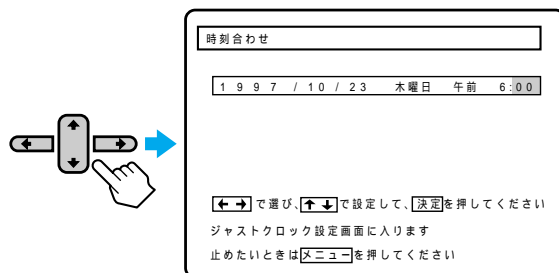
- 1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。
- 2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。
- 3 メニュー/予約ボタンを押す。



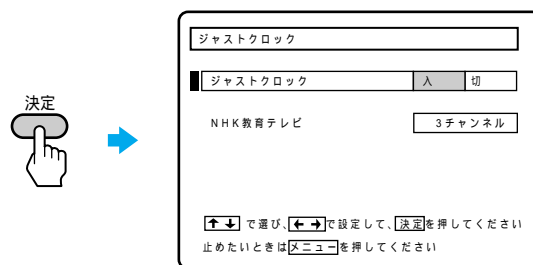
- 4 ↑/↓で「時刻合わせ」を選び、決定ボタンを押す。



- 5 ◀/▶で項目を選び、↑/↓で合わせる。年、月、日、時、分を順に合わせていきます。



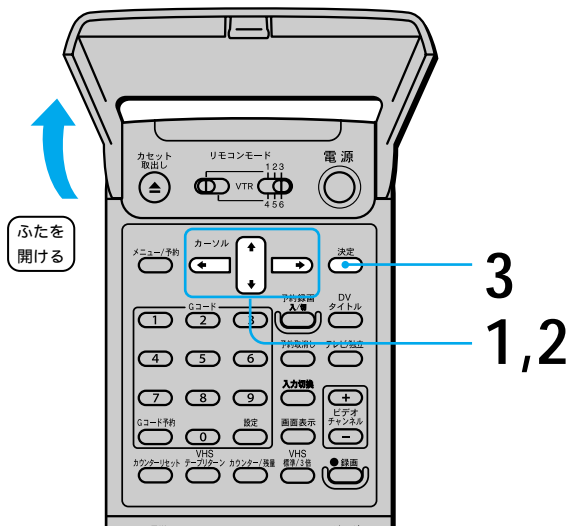
- 6 時報と同時に決定ボタンを押す。「時計を自動補正する」(71ページ)の手順1の画面が出ます。



- 自動補正するとき
「時計を自動補正する」(71ページ)の手順1から3にしたがって設定します。
- 自動補正しないとき
◀/▶でジャストクロックの「切」を選び、決定ボタンを押します。

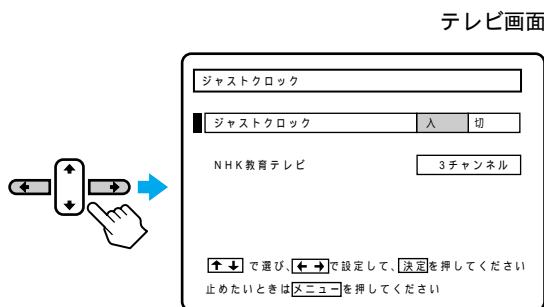
時計を自動補正する (ジャストクロック)

NHK教育テレビの時報を7、12、19時に読みとり、本機の時計を補正します。時計が2分以上ずれていると自動補正できませんので、あらかじめ時計を合わせておいてください。

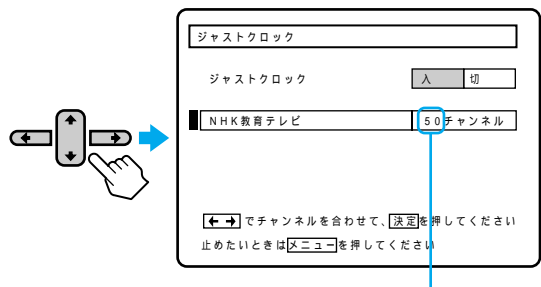


「時計を合わせる」(70ページ)の手順6のあと、下の手順1の画面が出ます。「時計を合わせる」の手順をとばして下の画面を出したいときは、メニューで「時刻合わせ」を選び、決定ボタンを2回押します。

1 ←/→でジャストクロックの「入」を選ぶ。



2 ↑/↓で「NHK教育テレビ」を選び、←/→でNHK教育テレビの表示チャンネルに合わせる。



例：「NHK教育テレビ」の表示チャンネルが50チャンネルのときは、ここを「50」にする

3 決定ボタンを押す。 メニューが消えます。

ご注意

- 時報を読みとるとき(7、12、19時)、本機の電源が入っていると自動補正できません。
- 録画中にジャストクロックの設定はできません。

手順8 : Gコードの 設定をする

Gコードで予約するには、お住まいの地域の地域番号を入れて、Gコードの設定をする必要があります。

地域番号とは、同じ放送局でも地域によってチャンネルが異なるため、その地域でGコード予約できるチャンネルを設定するための番号です。

地域番号を選ぶ

お住まいの地域の地域番号を右の「Gコード地域番号・放送局表」から選んでください。そのあと、「地域番号を入れる」(75ページ)にしたがって、選んだ地域番号を入れてください。

選ぶ地域番号を迷ったときは

- 「チャンネルを自動で合わせる」(69ページ)で受信したチャンネルを、より多く含んでいる地域番号を選びます。受信したチャンネルをメモしておくと便利です。
- お住まいの地域の放送局をより多く含んでいる地域番号を選びます。お住まいの地域の放送局は、新聞のテレビ欄などで確認できます。

ご注意

- 表の中の放送局以外に映る放送局があるときは、「Gコード予約できる放送局を追加する」(81ページ)にしたがって、追加してください。
- ケーブルテレビやマンションの共同受信システムなどをご利用の場合は、表示チャンネルが表と違う場合があります。この場合は、お住まいの地域の放送局をより多く含んでいる地域番号を選んだあと、「チャンネルの番号を変える」(76ページ)で表示チャンネルを変えてください。

Gコード地域番号・放送局表

お住まいの地域の地域番号と、その地域番号でGコード予約できる放送局を一覧表にしています。

表の中の文字の見かた

現在お住まいの地域
札幌 01
地域番号
「地域番号を入れる」の手順5(75ページ)で入れる番号

例：ビデオを3チャンネルにすると、NHK総合(識別番号80)が映る

80 03(NHK総合)

放送局名
ガイドチャンネル
Gコードのための
放送局の識別番号
表示チャンネル
画面に映るチャンネル(一般的に「チャンネル」と呼ばれているのはこの表示チャンネルです)

都道府県	地域名	地域番号	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル(放送局名は略称を使用しています)			
北海道	札幌	01	80 03(NHK総合)	90 12(NHK教育)	01 01(北海道放送)	05 05(札幌テレビ) 35 35(北海道テレビ) 27 27(北海道文化放送) 17 17(テレビ北海道)
	旭川	48	80 09(NHK総合)	90 02(NHK教育)	01 11(北海道放送)	05 07(札幌テレビ) 35 39(北海道テレビ) 27 37(北海道文化放送) 17 33(テレビ北海道)
	北見	49	80 09(NHK総合)	90 02(NHK教育)	01 53(北海道放送)	05 07(札幌テレビ) 35 61(北海道テレビ) 27 59(北海道文化放送)
	帯広	50	80 04(NHK総合)	90 12(NHK教育)	01 06(北海道放送)	05 10(札幌テレビ) 35 34(北海道テレビ) 27 32(北海道文化放送)
	釧路	51	80 09(NHK総合)	90 02(NHK教育)	01 11(北海道放送)	05 07(札幌テレビ) 35 39(北海道テレビ) 27 41(北海道文化放送)
青森	函館	52	80 04(NHK総合)	90 10(NHK教育)	01 06(北海道放送)	05 12(札幌テレビ) 35 35(北海道テレビ) 27 27(北海道文化放送) 17 21(テレビ北海道)
	室蘭	66	80 09(NHK総合)	90 02(NHK教育)	01 11(北海道放送)	05 07(札幌テレビ) 35 39(北海道テレビ) 27 37(北海道文化放送) 17 29(テレビ北海道)
	青森	02	80 03(NHK総合)	90 05(NHK教育)	01 01(青森放送)	38 38(青森テレビ) 34 34(青森朝日放送) 27 27(北海道文化放送) 35 35(北海道テレビ) 05 12(札幌テレビ)
岩手	八戸	53	80 09(NHK総合)	90 07(NHK教育)	01 11(青森放送)	38 33(青森テレビ) 34 31(青森朝日放送) 33 29(岩手めんこいテレビ) 06 02(岩手放送) 35 37(テレビ岩手)
	盛岡	03	80 04(NHK総合)	90 08(NHK教育)	06 06(岩手放送)	35 35(テレビ岩手) 33 33(岩手めんこいテレビ) 01 01(東北放送) 34 34(宮城テレビ) 12 12(仙台放送) 32 32(東日本放送) 20 31(岩手朝日テレビ)
宮城	仙台	04	80 03(NHK総合)	90 05(NHK教育)	01 01(東北放送)	12 12(仙台放送) 34 34(宮城テレビ) 32 32(東日本放送) 06 06(岩手放送)
秋田	秋田	05	80 09(NHK総合)	90 02(NHK教育)	11 11(秋田放送)	37 37(秋田テレビ) 31 31(秋田朝日放送) 34 34(青森朝日放送)
	大館	54	80 04(NHK総合)	90 08(NHK教育)	11 06(秋田放送)	37 57(秋田テレビ) 31 59(秋田朝日放送) 38 38(青森テレビ) 01 01(東北放送)
山形	山形	06	80 08(NHK総合)	90 04(NHK教育)	10 10(山形放送)	38 38(山形テレビ) 36 36(テレビユー山形) 30 30(さくらんぼテレビ)
	鶴岡	55	80 03(NHK総合)	90 06(NHK教育)	10 01(山形放送)	38 39(山形テレビ) 36 22(テレビユー山形) 30 24(さくらんぼテレビ)
福島	福島	07	80 09(NHK総合)	90 02(NHK教育)	11 11(福島放送)	33 33(福島中央テレビ) 35 35(福島放送) 31 31(テレビユー福島) 01 01(東北放送) 34 34(宮城テレビ) 12 12(仙台放送) 32 32(東日本放送)
	会津若松	56	80 01(NHK総合)	90 03(NHK教育)	11 06(福島テレビ)	33 37(福島中央テレビ) 35 41(福島放送) 31 47(テレビユー福島) 34 34(宮城テレビ) 12 12(仙台放送) 32 32(東日本放送)
	いわき	57	80 04(NHK総合)	90 10(NHK教育)	11 08(福島テレビ)	33 58(福島中央テレビ) 35 60(福島放送) 31 62(テレビユー福島) 34 34(宮城テレビ) 12 12(仙台放送) 32 32(東日本放送) 01 01(東北放送)
	水戸	08	80 44(NHK総合)	90 46(NHK教育)	04 42(日本テレビ)	06 40(東京放送) 08 38(フジテレビ) 10 36(テレビ朝日) 12 32(テレビ東京) 16 16(放送大学)
茨城	日立	67	80 52(NHK総合)	90 50(NHK教育)	04 54(日本テレビ)	06 56(東京放送) 08 58(フジテレビ) 10 60(テレビ朝日) 12 62(テレビ東京) 38 38(テレビ埼玉) 46 46(千葉テレビ) 16 16(放送大学)

手順8：Gコードの設定をする (つづき)

都道府県	地域名	地域番号	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル(放送局名は略称を使用しています)																							
徳島	徳島	36	80 03(NHK総合)	90 38(NHK教育)	01 01(四国テレビ)	04 04(毎日放送)	06 06(朝日放送)	08 08(関西テレビ)	10 10(読売テレビ)	36 36(サンテレビ)	30 55(テレビ和歌山)															
香川	高松	37	80 37(NHK総合)	90 39(NHK教育)	33 33(瀬戸内海放送)	09 41(西日本放送)	11 29(山陽放送)	35 31(岡山放送)	23 19(テレビせとうち)	04 04(毎日放送)	06 06(朝日放送)	08 08(関西テレビ)	10 10(読売テレビ)													
			80 44(NHK総合)	90 40(NHK教育)	33 42(瀬戸内海放送)	09 20(西日本放送)	11 18(山陽放送)	35 22(岡山放送)	23 16(テレビせとうち)	12 12(広島テレビ)	愛媛	松山	38	80 06(NHK総合)	90 02(NHK教育)	10 10(南海放送)	37 37(愛媛放送)	29 29(伊予テレビ)	35 35(広島ホームテレビ)	25 25(愛媛朝日テレビ)	31 31(テレビ新広島)					
80 02(NHK総合)	90 04(NHK教育)	10 06(南海放送)	37 36(愛媛放送)	29 27(伊予テレビ)	35 35(広島ホームテレビ)	25 14(愛媛朝日テレビ)	31 31(テレビ新広島)	12 12(広島テレビ)	高知	高知				39	80 04(NHK総合)	90 06(NHK教育)	08 08(高知放送)	38 38(テレビ高知)	01 01(四国テレビ)	09 41(西日本放送)	40 40(高知さんさんテレビ)					
福岡	福岡	40	80 03(NHK総合)	90 06(NHK教育)	04 04(RKB毎日放送)	01 01(九州朝日放送)	09 09(テレビ西日本)	37 37(福岡放送)			19 19(TXN九州)	36 36(サガテレビ)	北九州		63	80 06(NHK総合)	90 12(NHK教育)	04 08(RKB毎日放送)	01 02(九州朝日放送)	09 10(テレビ西日本)	37 35(福岡放送)	19 23(TXN九州)	28 21(山口朝日放送)	11 04(山口放送)		
			80 46(NHK総合)	90 54(NHK教育)	04 48(RKB毎日放送)	01 57(九州朝日放送)	09 60(テレビ西日本)	37 52(福岡放送)	19 14(TXN九州)	36 36(サガテレビ)	久留米	94		80 53(NHK総合)		90 50(NHK教育)	04 61(RKB毎日放送)	01 58(九州朝日放送)	09 55(テレビ西日本)	37 43(福岡放送)	19 19(TXN九州)	11 11(熊本放送)	22 22(熊本県民テレビ)	16 16(熊本朝日放送)	34 34(テレビ熊本)	
	大牟田	95	80 49(NHK総合)	90 46(NHK教育)	04 60(RKB毎日放送)	01 57(九州朝日放送)	09 54(テレビ西日本)	37 43(福岡放送)	19 19(TXN九州)	36 37(テレビ大分)			05 51(大分放送)	行橋	96	80 03(NHK総合)	90 01(NHK教育)	05 05(長崎放送)	37 37(テレビ長崎)	27 27(長崎文化放送)	25 25(長崎国際テレビ)	19 19(TXN九州)	34 34(テレビ熊本)	22 22(熊本県民テレビ)	16 16(熊本朝日放送)	11 11(熊本放送)
			80 08(NHK総合)	90 02(NHK教育)	05 10(長崎放送)	37 35(テレビ長崎)	27 31(長崎文化放送)	25 17(長崎国際テレビ)	36 41(サガテレビ)	佐賀	41	80 38(NHK総合)	90 40(NHK教育)			36 36(サガテレビ)	11 11(熊本放送)	09 60(テレビ西日本)	37 52(福岡放送)	19 14(TXN九州)	04 48(RKB毎日放送)	01 57(九州朝日放送)				
	長崎	長崎	42	80 03(NHK総合)	90 01(NHK教育)	05 05(長崎放送)	37 37(テレビ長崎)	27 27(長崎文化放送)	25 25(長崎国際テレビ)			19 19(TXN九州)	34 34(テレビ熊本)	22 22(熊本県民テレビ)	16 16(熊本朝日放送)	11 11(熊本放送)	佐世保	97	80 47(NHK総合)	90 45(NHK教育)	05 49(長崎放送)	37 42(テレビ長崎)	27 24(長崎文化放送)	25 20(長崎国際テレビ)	22 22(熊本県民テレビ)	16 16(熊本朝日放送)
				80 08(NHK総合)	90 02(NHK教育)	05 10(長崎放送)	37 35(テレビ長崎)	27 31(長崎文化放送)	25 17(長崎国際テレビ)	36 41(サガテレビ)	熊本	熊本	43	80 09(NHK総合)	90 02(NHK教育)	11 11(熊本放送)			34 34(テレビ熊本)	22 22(熊本県民テレビ)	16 16(熊本朝日放送)	19 19(TXN九州)	01 01(九州朝日放送)	04 04(RKB毎日放送)	05 05(長崎放送)	37 37(福岡放送)
大分		大分	44	80 03(NHK総合)	90 12(NHK教育)	05 05(大分放送)	36 36(テレビ大分)	24 24(大分朝日放送)	19 19(TXN九州)	10 06(宮崎放送)				宮崎	宮崎	45	80 04(NHK総合)	90 02(NHK教育)	10 06(宮崎放送)	35 35(テレビ宮崎)	32 48(鹿児島放送)	30 42(鹿児島読売テレビ)	38 52(鹿児島テレビ)	01 62(南日本放送)		
	80 04(NHK総合)			90 02(NHK教育)	10 06(宮崎放送)	35 39(テレビ宮崎)	鹿児島	鹿児島	46	80 03(NHK総合)	90 05(NHK教育)	01 01(南日本放送)	38 38(鹿児島テレビ)				32 32(鹿児島放送)	30 30(鹿児島読売テレビ)	22 40(熊本県民テレビ)	16 36(熊本朝日放送)	34 42(テレビ熊本)					
阿久根	65	80 08(NHK総合)	90 12(NHK教育)	01 10(南日本放送)	38 35(鹿児島テレビ)	32 23(鹿児島放送)				30 17(鹿児島読売テレビ)	22 36(熊本県民テレビ)	16 32(熊本朝日放送)	11 06(熊本放送)	34 38(テレビ熊本)	鹿屋	99	80 04(NHK総合)	90 02(NHK教育)	01 06(南日本放送)	38 33(鹿児島テレビ)	32 31(鹿児島放送)	30 25(鹿児島読売テレビ)	10 10(宮崎放送)	35 39(テレビ宮崎)		
		80 02(NHK総合)	90 12(NHK教育)	10 10(琉球放送)	08 08(沖縄テレビ)	28 28(琉球朝日放送)																				
		沖縄	那覇	47																						

BS・CS放送およびCATVのガイドチャンネル表

次の場合には、BS・CS放送やCATVをGコード予約できません。

- ケーブルテレビやマンションの共同受信システムなどで、BS・CS放送を本機でご覧になれる場合BS・CS放送およびCATVをGコード予約できません。「1~62チャンネルで映るBS放送をGコード予約するには」(82ページ)にしたがって、ガイドチャンネルと表示チャンネルを設定してください。
- 本機の入力端子にCSチューナーなどをつないだ場合「本機の入力端子につないだ機器をGコード予約するには」(82ページ)にしたがって、ガイドチャンネルと表示チャンネルを設定してください。
- ガイドチャンネル以下の表にしたがって入れます(BS放送のガイドチャンネルはお買い上げ時に設定されているので、入れる必要はありません)。

放送の種類	Gコードで予約できる放送局のガイドチャンネル		
BS	74(NHK衛星第1) 73(WOWOW)	75(ハイビジョン)	76(NHK衛星第2)
スカイポートTV	88(ホーム・チャンネル) 99(朝日ニュースター)	83(スター・チャンネル)	87(GAORA) 81(CNN) 92(ファミリー劇場) 94(ザ・ゴルフチャンネル)
CSパーン	84(スペースシャワーTV) 86(シネマジパネスク) 91(BBC)	85(スポーツ・アイ) 89(スカイA)	
ケーブルネットワーク	40(日本テレビケーブルニュース) 49(CSN1ムービーチャンネル) 50(チャンネルNECO)	51(ゴルフネットワーク)	

表示チャンネル

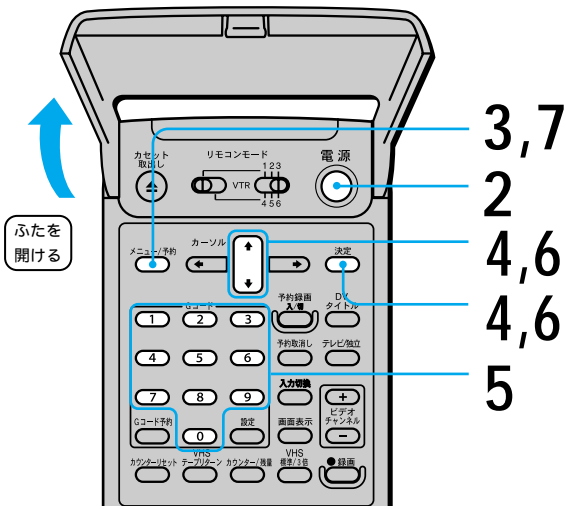
チャンネル合わせで設定したチャンネル(画面に映るチャンネル)の番号を入れます。

ご注意

- デジタルCS放送(パーフェクTVなど)はGコード予約できません。

地域番号を入れる

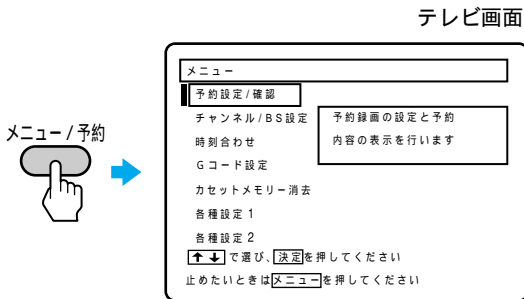
「Gコード地域番号・放送局表」(72ページ)の中から選んだ地域番号を入れます。



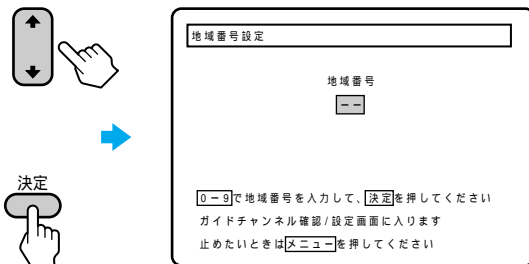
1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

3 メニュー/予約ボタンを押す。

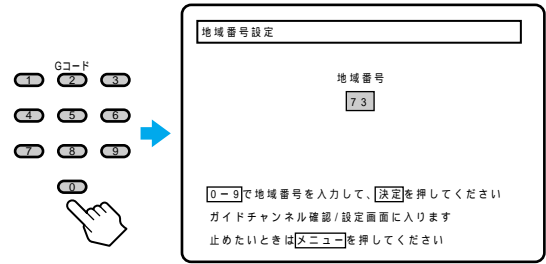


4 ↑/↓で「Gコード設定」を選び、決定ボタンを押す。



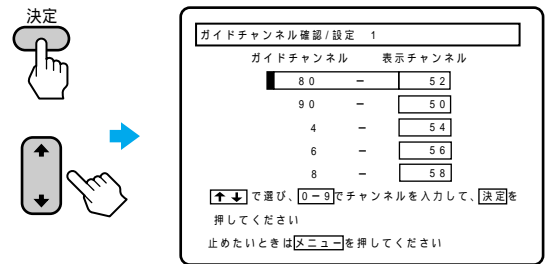
5 「Gコード地域番号・放送局表」(72ページ)から選んだ地域番号を、数字ボタンで入れる。

間違えたときは、正しい番号を続けて入れます。1桁の番号(08など)は0も押します。



6 決定ボタンを押す。

手順5で選んだ地域番号で受信できるチャンネルが表示されます。受信できるチャンネルをすべて確認するには、↓または決定ボタンをくり返し押します。一番下の行で↓または決定ボタンを押すと、次のページに行きます。



7 確認したら、メニュー/予約ボタンを押す。メニューが消えます。

ちょっと一言

- BS放送の表示チャンネルには、放送を行っていないものも含まれています。

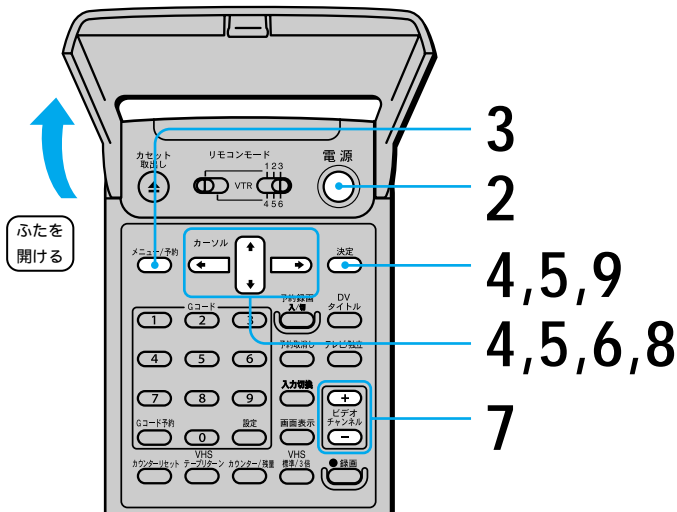
チャンネルの番号を変える(手動チャンネル合わせ)

「手順6：チャンネルを自動で合わせる」(69 ページ)でチャンネルを合わせれば、お住まいの地域で受信できるチャンネルはご覧になります。ただしチャンネルを自動で合わせたときには、これまでご覧になっていたチャンネルと違うチャンネルになる場合があります。

例：NHK教育テレビは3チャンネルで見ていたのに、50チャンネルになった

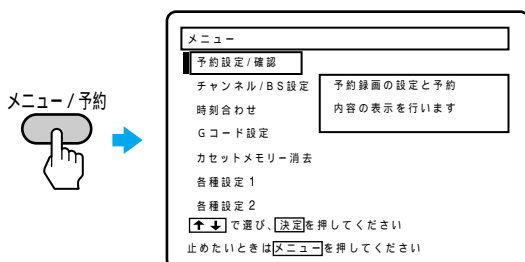
このような場合は、以下の手順で3チャンネルに変えることができます。

チャンネルの番号を変えたときは、必ずGコードの表示チャンネルも同じ番号に合わせてください。

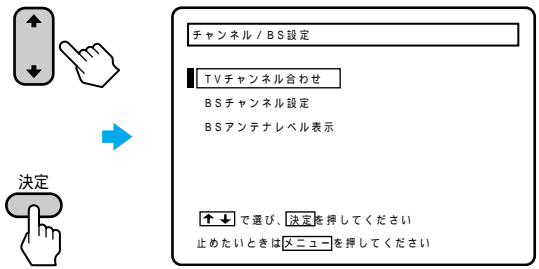


- 1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。
- 2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。
- 3 メニュー/予約ボタンを押す。

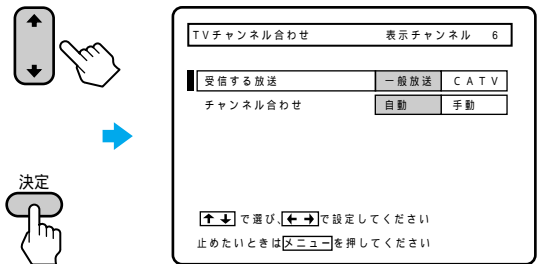
テレビ画面



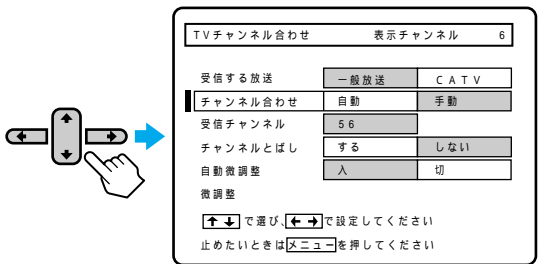
- 4 ▲/▼で「チャンネル/BS設定」を選び、決定ボタンを押す。



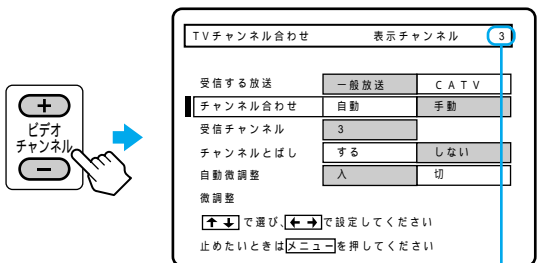
- 5 ▲/▼で「TVチャンネル合わせ」を選び、決定ボタンを押す。



- 6 ▲/▼で「チャンネル合わせ」を選び、◀/▶で「手動」にする。



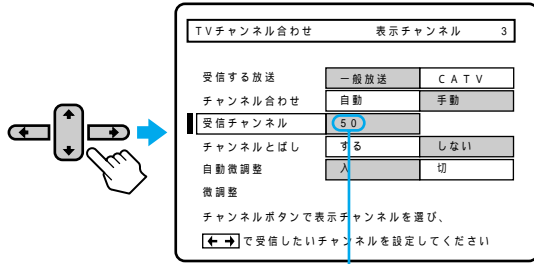
- 7 ビデオチャンネル+/- ボタンで「表示チャンネル」を変える。



例：50チャンネルを3チャンネルに変えたいときは、ここを「3」にする

8

▲/▼で「受信チャンネル」を選び、◀/▶で変える。



例：50チャンネルを3チャンネルに変えたいときは、ここを「50」にする

9

決定ボタンを押す。

メニューが消えます。

ただし、このままでは元のチャンネルも映ります。

例：NHK教育テレビが3チャンネルと50チャンネルの両方で映る

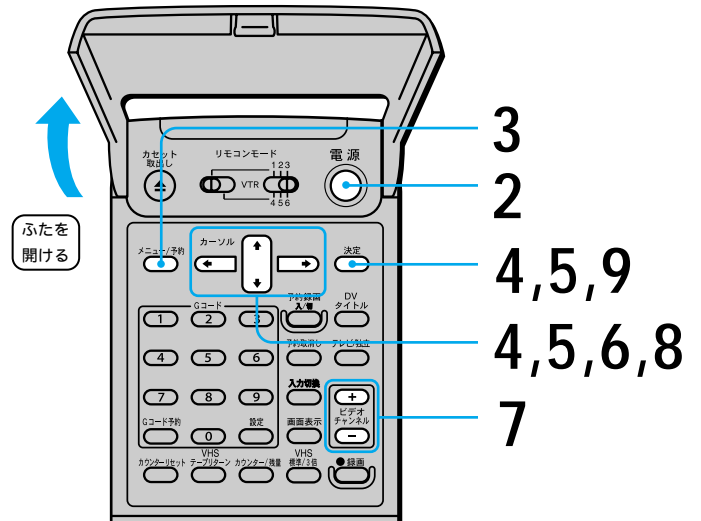
50チャンネルで映らないようにするには、「放送のないチャンネルをとばす」の手順を続けて行ってください。

Gコードの表示チャンネルも同じ番号にする

チャンネルの番号を変えたときは、変えたチャンネルでGコード予約できるように、必ずGコードの表示チャンネルも同じ番号に合わせてください（「Gコードの設定を変えたチャンネルの番号に合わせる」▶▶80ページ）。合わせないと、Gコードで予約したときに正しく録画されません。

放送のないチャンネルをとばす

不要なチャンネルを映らないようにします。チャンネル+/-ボタンでチャンネルを選ぶときに、映るチャンネルだけ見ることができます。



1

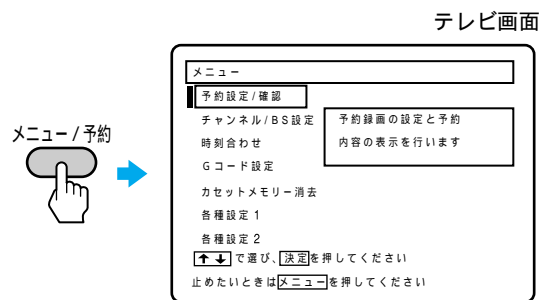
テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2

電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

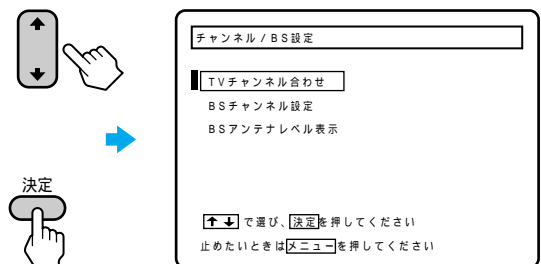
3

メニュー/予約ボタンを押す。



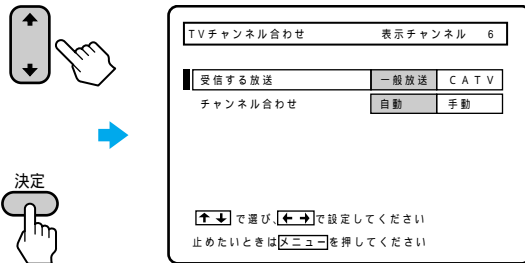
4

▲/▼で「チャンネル/BS設定」を選び、決定ボタンを押す。

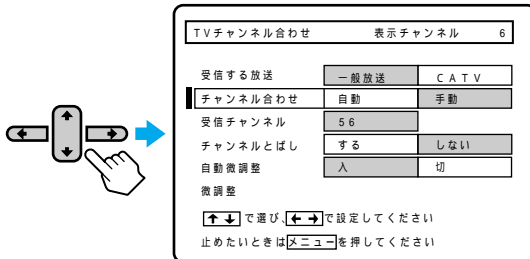


チャンネルの番号を変える (つづき)

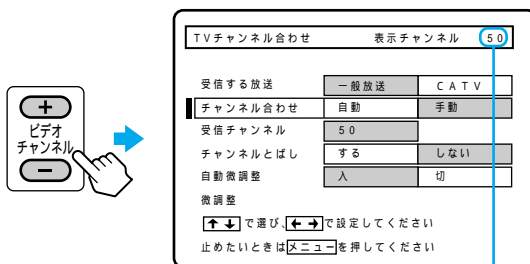
- 5 ▲/▼で「TVチャンネル合わせ」を選び、決定ボタンを押す。



- 6 ▲/▼で「チャンネル合わせ」を選び、▲/▼で「手動」にする。

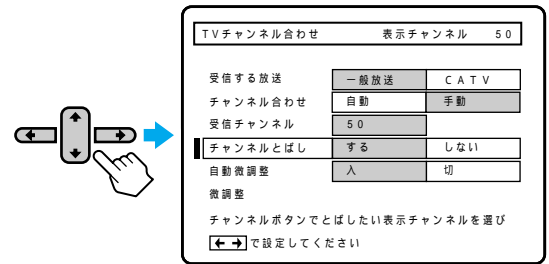


- 7 ビデオチャンネル+/- ボタンで「表示チャンネル」をとばしたいチャンネルにする。



例：50チャンネルをとばしたいときは、ここを「50」にする

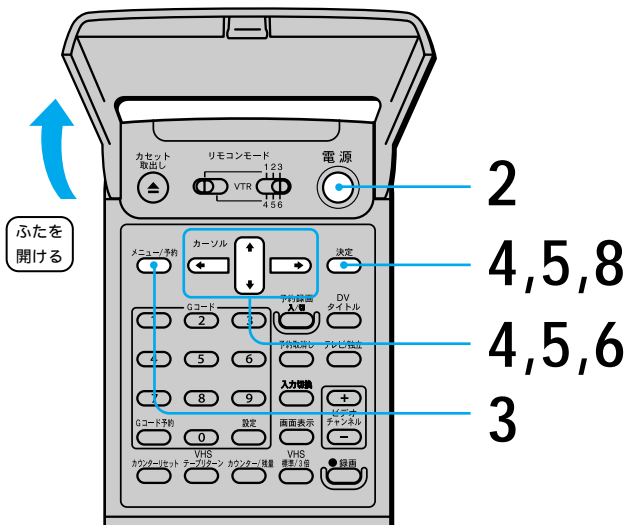
- 8 ▲/▼で「チャンネルとばし」を選び、▲/▼で「する」にする。



- 9 決定ボタンを押す。
メニューが消えます。

放送のないBSチャンネルをとばす

不要なBSチャンネルを映らないようにします。
チャンネル+/- ボタンでチャンネルを選ぶときに、
映るBSチャンネルだけを見ることができます。

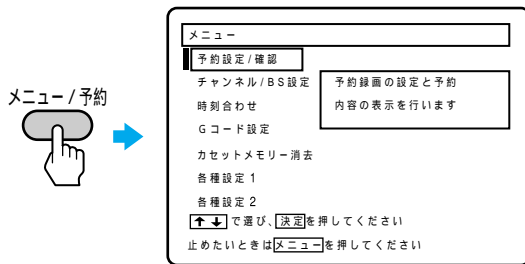


1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

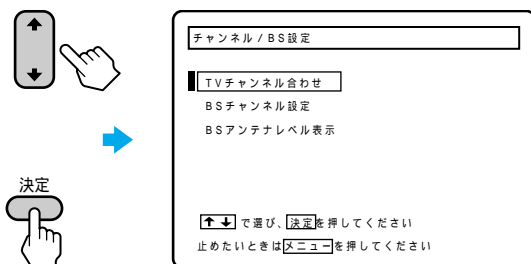
2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

3 メニュー/予約ボタンを押す。

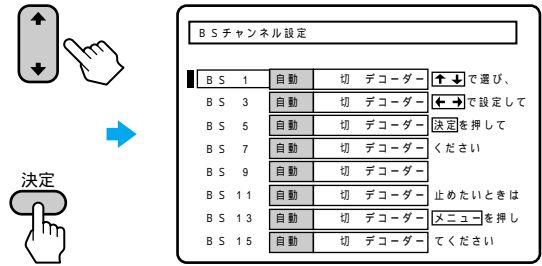
テレビ画面



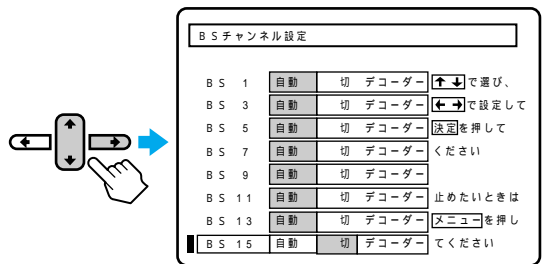
4 ↑/↓で「チャンネル/BS設定」を選び、決定ボタンを押す。



5 ↑/↓で「BSチャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す。



6 ↑/↓で放送のないBSチャンネルを選び、→で「切」にする。



7 他のチャンネルをとばすときは、手順6を繰り返す。

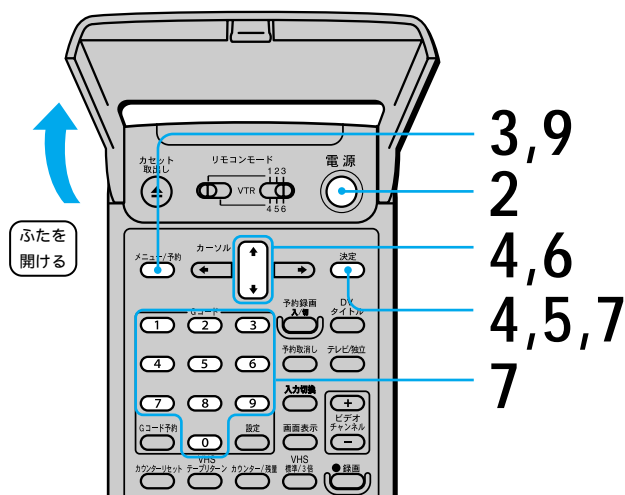
8 終わったら決定ボタンを押す。
メニューが消えます。

Gコードの設定を変える

Gコードの設定を変えたチャンネルの番号に合わせる

「手順8：Gコードの設定をする」(72ページ)で地域番号を入れて自動的にGコードを設定すれば、その地域番号に含まれる放送局はGコード予約できます。地域番号に含まれる放送局は、「Gコード地域番号・放送局表」(72ページ)をご覧ください。

ただし、「チャンネルの番号を変える」(76ページ)を行ったときは、変えたチャンネルでGコード予約できるように、Gコードのチャンネルを合わせます。合わせないと、変えたチャンネルはGコードで予約したときに正しく録画されません。

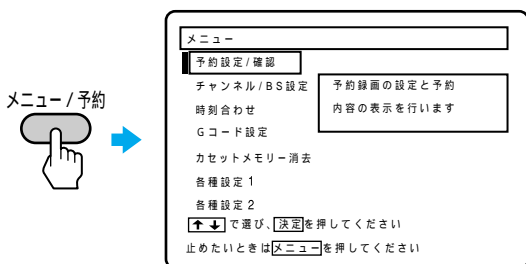


1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

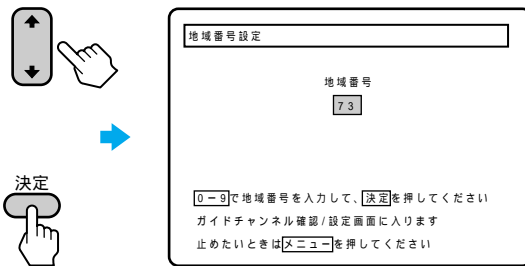
2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

3 メニュー/予約ボタンを押す。

テレビ画面

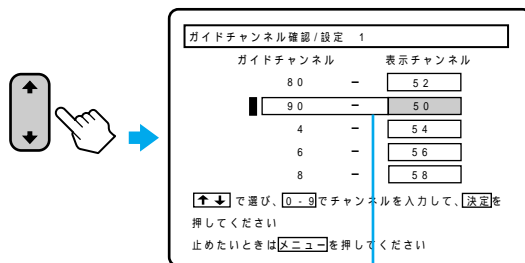


4 ▲/▼で「Gコード設定」を選び、決定ボタンを押す。



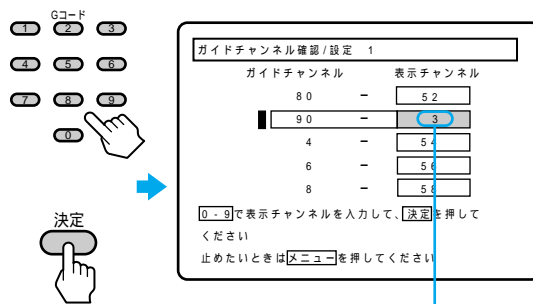
5 もう1度決定ボタンを押す。

6 ▼をくり返し押して、合わせるチャンネルの行を選ぶ。
行きすぎたときは、▲を押します。



例：50チャンネルを3チャンネルに変えたときは、この行を選ぶ

7 数字ボタンで変えたチャンネルを入れて、決定ボタンを押す。
間違えたときは正しいチャンネルを続けて入れるか、決定ボタンを押さずに、▼を押してから入れ直します。



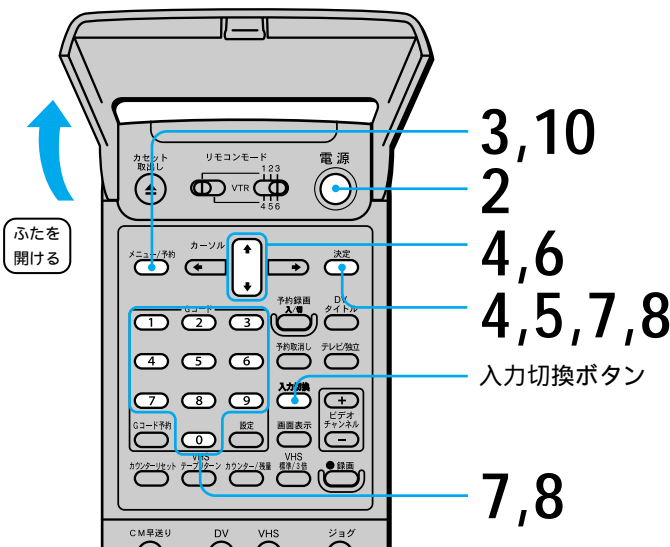
例：50チャンネルを3チャンネルに変えたときは、ここを「3」にする

8 他のチャンネルも変えるときは、手順6から7をくり返す。

9 終わったらメニュー/予約を押す。
メニューが消えます。

Gコード予約できる放送局を追加する

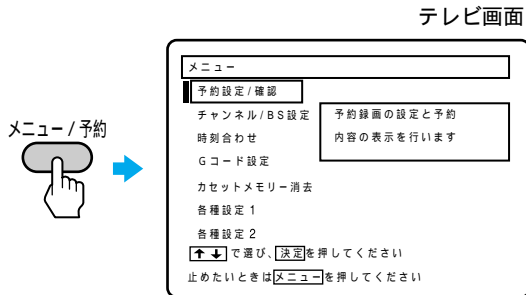
「手順8：Gコードの設定をする」(72ページ)で設定した地域番号に含まれる放送局の他にご覧になれる放送局があるときは、Gコード予約できるように追加します。追加する放送局のガイドチャンネルは「Gコード地域番号・放送局表」(72ページ)でご確認ください。



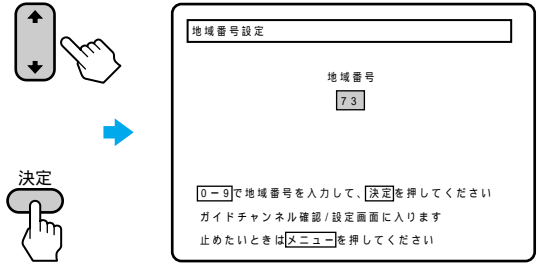
1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。

2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。

3 メニュー/予約ボタンを押す。

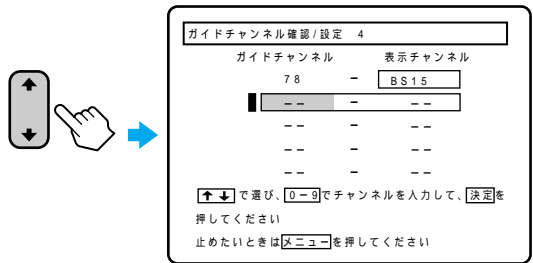


4 ▲/▼で「Gコード設定」を選び、決定ボタンを押す。

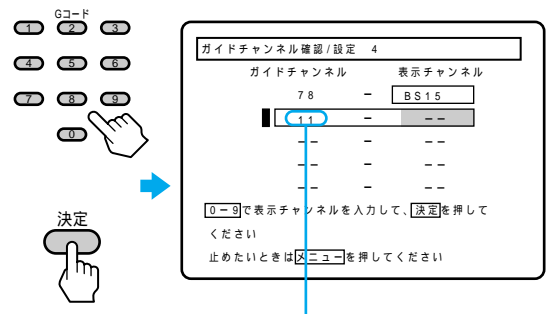


5 もう1度決定ボタンを押す。

6 ▼をくり返し押して、ガイドチャンネルが「--」になっている行を選ぶ。



7 数字ボタンで追加する放送局のガイドチャンネルを入れ、決定ボタンを押す。

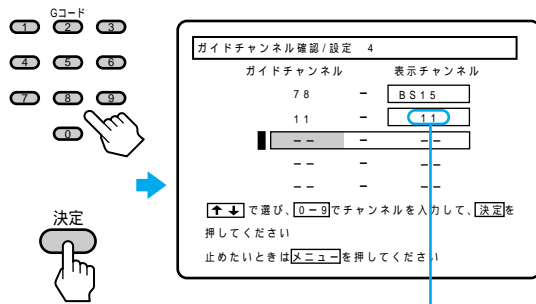


例：小田原にお住まいの方が、静岡放送(ガイドチャンネル：11、表示チャンネル：11)を追加するときは、ここに「11」を入れる

Gコードの設定を変える(つづき)

8

数字ボタンで追加する放送局の表示チャンネルを入れ、決定ボタンを押す。



例：小田原にお住まいの方が、静岡放送(ガイドチャンネル：11、表示チャンネル：11)を追加するときは、ここに「11」を入れる

9

他の放送局も追加するときは、手順6から8をくり返す。

10

終わったらメニュー/予約ボタンを押す。メニューが消えます。

追加した放送局を変えるには

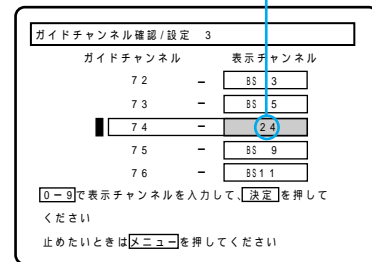
追加した放送局の代わりに、別の放送局を入れます。

また、すべて消して最初からやり直すこともできます。「Gコードの設定をする」(72ページ)にしたがって、現在設定している地域番号以外の番号を入れたあと、もう一度現在設定している地域番号を入れます。これで放送局を追加する前の状態に戻ります。

1~62チャンネルで映るBS放送をGコード予約するには

- 手順6でBS放送が設定されている行を選ぶ。
- 入力切換ボタンを押して、VHF/UHFチャンネルを表示チャンネルに出す。
押すたびに次のように切り換わります。
VHF/UHFチャンネル→BSチャンネル→入力1→入力2
- 数字ボタンでBS放送が映るチャンネルを入れ、決定ボタンを押す。

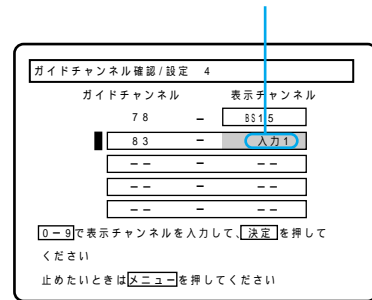
例：BS7チャンネルが24チャンネルで映っているときは、ここを「24」にする



本機の入力端子につないだ機器をGコードで予約するには

手順8で入力切換ボタンを押して、「入力1」または「入力2」を表示チャンネルに出します。「入力1」または「入力2」を入れた放送局は、本機の入力端子につないだ機器から録画されます。

例：スカイポートTVのSTARチャンネルをGコード予約するときは、ここを「入力1」または「入力2」にする



ちょっと一言

- 1~62チャンネルで映るCS放送をGコード予約するには、手順8でCS放送が映るチャンネルを入れ、決定ボタンを押してください。

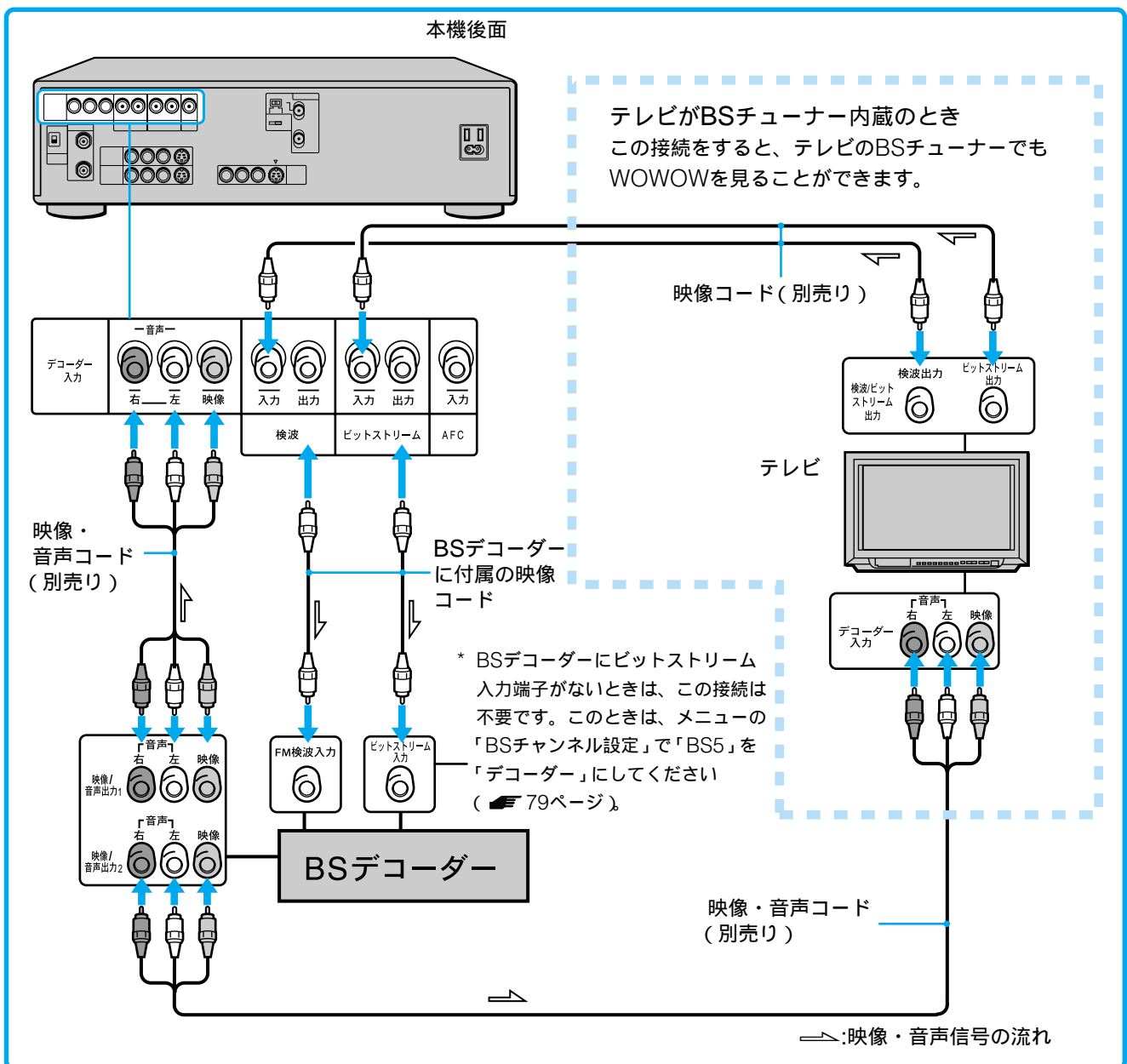
ご注意

- あらかじめ設定されているガイドチャンネルを変えたり、消すことはできません。
- すでに本機に設定されているガイドチャンネルは、追加できません。

デコーダーやケーブルテレビなどをつなぐ

BSデコーダー(WOWOW)をつなぐ

WOWOWと受信契約すると送られてくるBSデコーダーをつなぐと、お買い上げ時のBSチャンネル設定のままで、WOWOWを見ることができます。BSデコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。



接続と準備

St.GIGAを受信するには

メニューの「BSチャンネル設定」で「BS5」を「デコーダー」にします(79ページ)

次のページにつづく

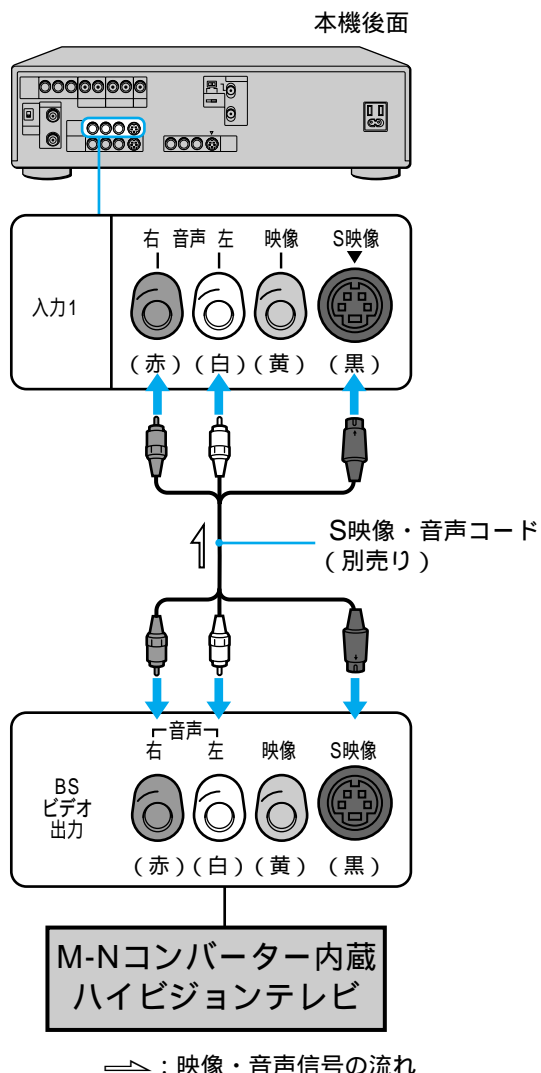
デコーダーやケーブルテレビなどを つなく(つづき)

M-Nコンバーター内蔵のハイビジョン テレビ・MUSE-NTSCコンバー ターをつなく

ハイビジョンテレビまたはMUSE-NTSCコンバーターをつなくと、ハイビジョン放送を受信することができます。ただし、テレビ放送の画質に変換されるため、ハイビジョン放送本来の画質より劣ります。

テレビまたはコンバーターの取扱説明書もあわせてご覧ください。

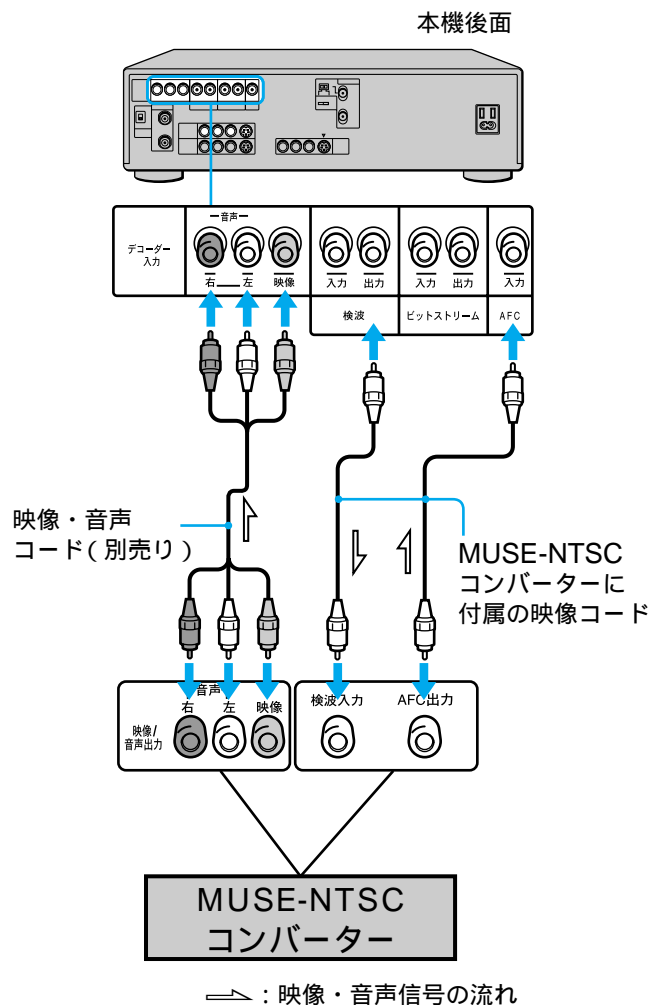
M-Nコンバーター内蔵のハイビジョンテレビ のとき



ちょっと一言

- S映像・音声コードのかわりに、映像・音声コードでハイビジョンテレビをつなぐこともできます。
- 本機の入力1端子にS映像コードをつないだときは、メニューの「各種設定1」で「映像入力1」を「S映像」にします(89ページ)。

MUSE-NTSCコンバーターのとき



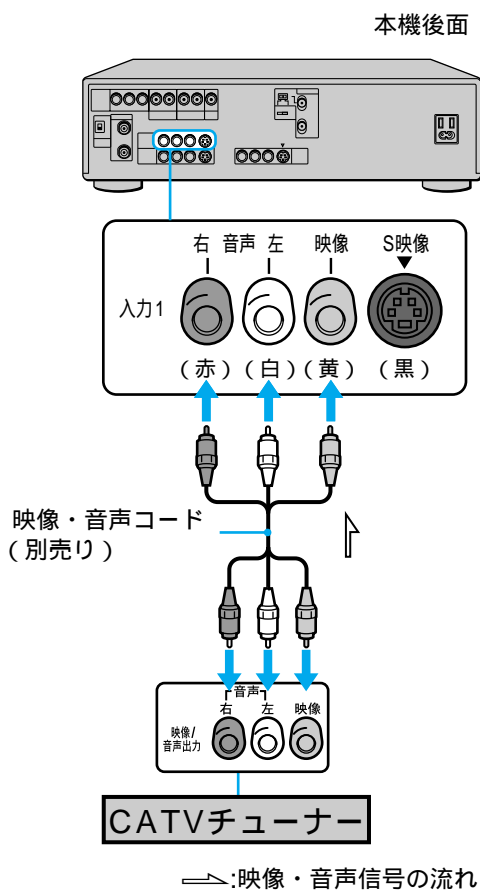
ハイビジョン放送を受信するには

メニューの「BSチャンネル設定」で「BS9」を「デコーダー」にします(79ページ)。

ケーブルテレビ(CATV)をつなぐ

CATV局と受信契約すると送られてくるCATVチューナーをつなぐと、CATVを受信することができます。なお、CATVは受信できない地域もあります。くわしくは、お近くのCATV局にお問い合わせください。

CATVチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。



CATVを受信するには

- 1 CATVチューナーで、受信したいチャンネルを選ぶ。
- 2 本機のチャンネル+/- ボタンを押して、ビデオ本体の表示窓に「L1」または「L2」を出す。
CATVチューナーを入力1端子につないでいるときは「L1」を、入力2端子につないでいるときは「L2」を出します。

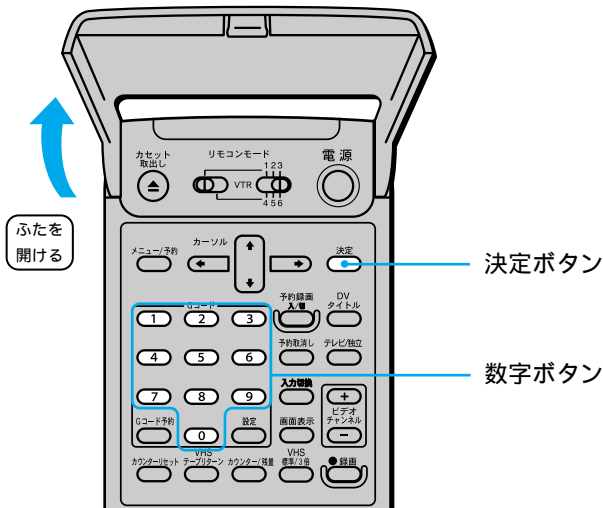
CATVのVHF/UHF放送のチャンネルを本機で受信するには

CATVのVHF/UHF放送の中には、本機で受信できるチャンネルもあります。

- 1 F型コネクター付き同軸ケーブル(別売り)で、本機のVHF/UHF入力端子とCATVチューナーのVHF/UHF出力端子をつなぐ。
- 2 メニュー/予約ボタンを押して、▲/▼で「チャンネル/BS設定」を選び、決定ボタンを押す。
- 3 ▲/▼で「TVチャンネル合わせ」を選び、決定ボタンを押す。
- 4 ▲/▼で「受信する放送」を選び、◀/▶で「CATV」を選ぶ。
- 5 チャンネル+/- ボタンを押して「表示チャンネル」を、放送のないチャンネルの番号(例:20)にする。
- 6 ▲/▼で「受信チャンネル」を選び、◀/▶で受信したいチャンネルの番号(例:C30)を入れる。
- 7 手順5と6をくり返して、チャンネルを合わせていく。
- 8 決定ボタンを押す。

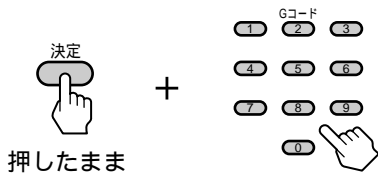
リモコンで各社のテレビを操作する

リモコン信号をお手持ちのテレビのメーカーに合わせて、本機のリモコンでテレビのチャンネルや音量、電源を操作できます。お買い上げ時はソニーのマーク付きテレビを操作できるように設定されています。



テレビのメーカー	メーカー番号
ソニー(マーク付き)	01(お買い上げ時の設定)
松下電器 1 *1	02
東芝	03
日立製作所	04
三菱電機	05
日本ビクター	06
三洋電機 1 *1	07
シャープ 1 *1	08
NEC	09
パイオニア *2	10
富士通ゼネラル	11
ソニー(マーク無し)*2	12
松下電器2 *1	13
フナイ(PRECIOUS)	14
三洋電機2 *1	15
シャープ2 *1	16
アイワ	17
三星(SAMSUNG)	18

決定ボタンを押したまま数字ボタンを押して、テレビのメーカー番号を入れる。
テレビのメーカー番号は次のページの表の通りです。

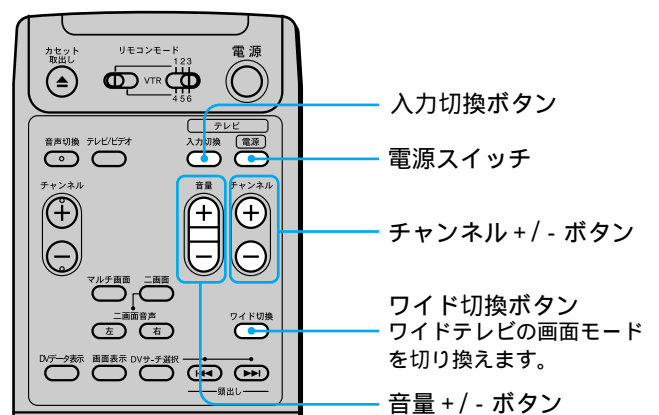


例：メーカー番号を03に合わせるときは、「03」と押す。

*1 メーカー番号「02」「07」「08」で操作できないときは同じメーカーのもう1つの番号(「13」「15」「16」)にしてください。

*2 入力切替ボタンは使えません。

各社のテレビに使えるボタン

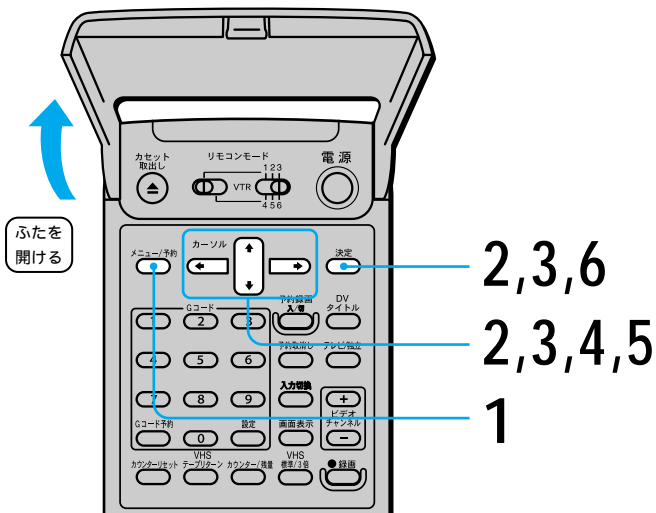


ご注意

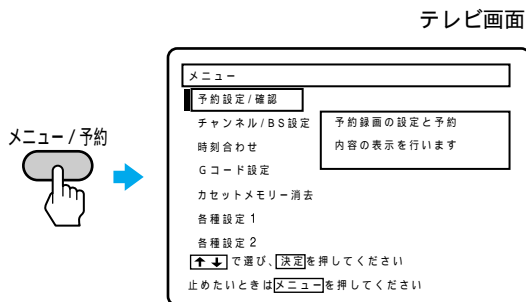
- テレビによっては、メーカー番号を合わせても操作できないことや、一部のボタンが使えないことがあります。
- リモコンの乾電池を交換したときは、テレビのメーカー番号を合わせ直してください。

受信状態を調整する

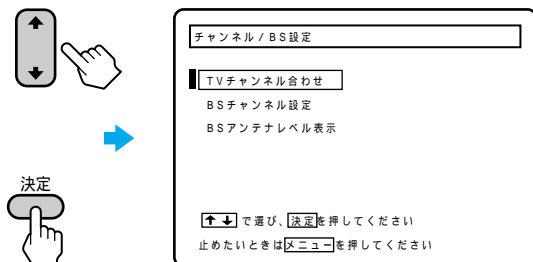
本機ではテレビ放送の受信状態を自動的に調整するので、何もしなくてもきれいな画像をお楽しみいただけます。それでも映りが悪いときは、手動で調整してください。



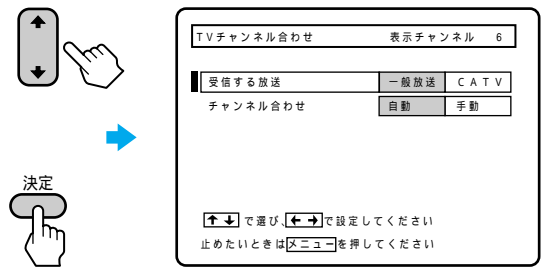
1 映りの悪いチャンネルを見ているときに、メニュー/予約ボタンを押す。



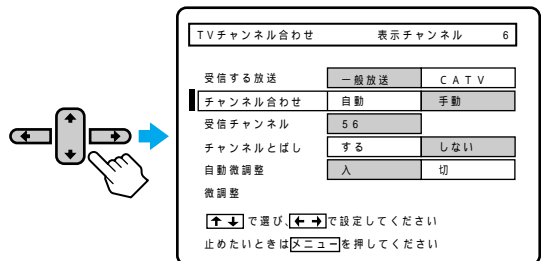
2 ↑/↓で「チャンネル/BS設定」を選び、決定ボタンを押す。



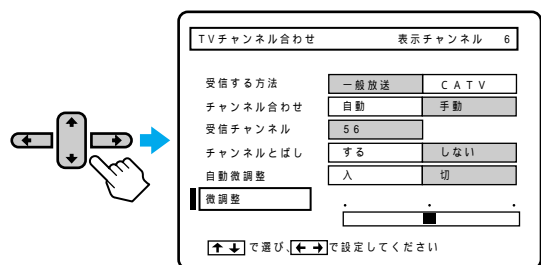
3 ↑/↓で「TVチャンネル合わせ」を選び、決定ボタンを押す。



4 ↑/↓で「チャンネル合わせ」を選び、←/→で「手動」にする。



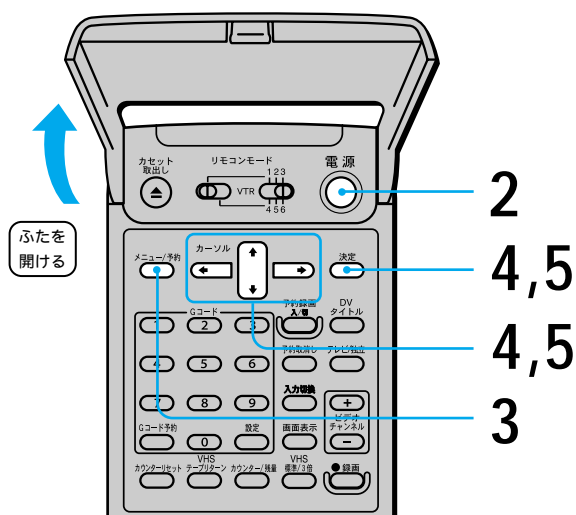
5 ↑/↓で「微調整」を選び、←/→で画面を見ながらきれいに映るように調整する。



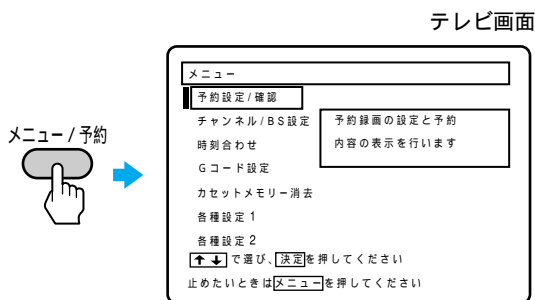
6 終わったら決定ボタンを押す。メニューが消えます。

お買い上げ時の設定 を変える

画面表示やアンテナ切換えなどの設定を変えることができます。通常はお買い上げ時の設定で使えます。編集するときや、アンテナ線だけでテレビとつないだときなど、必要に応じて変えてください。

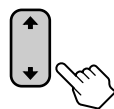
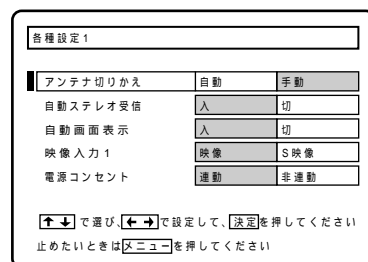


- 1 テレビの電源を入れてから、テレビの入力を「ビデオ」に切り換える。
- 2 電源スイッチを押して、ビデオの電源を入れる。
- 3 メニュー/予約ボタンを押す。

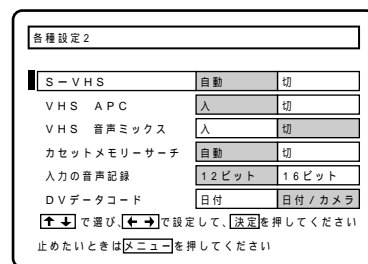


- 4 ▲/▼で「各種設定1」または「各種設定2」を選び、決定ボタンを押す。

「各種設定1」を選んだとき



「各種設定2」を選んだとき



- 5 ▲/▼で設定したい項目を選び、◀/▶で設定する。設定が終わったら、決定ボタンを押す。
メニューが消えます。

各設定の内容(: お買い上げ時の設定)

「各種設定1」

アンテナ切りかえ

自動	映像・音声端子のないテレビとつないだときにこの位置にする
手動	映像・音声コードでテレビとつないだときにこの位置にする

自動ステレオ受信

入	ステレオ放送がステレオで聞ける(通常はこの位置にする)
切	ステレオ放送でもモノラルになる(雑音が多いときにこの位置にする)

自動画面表示

入	「再生」、「早送り再生」などの走行表示やお知らせガイドが出る(約3秒間出て消える)
切	走行表示やお知らせガイドが出ない(他機での録画時に走行表示を入れたくないときにこの位置にする)

映像入力1

映像	入力1端子に映像・音声コードだけつないだときにこの位置にする
S映像	入力1端子にS映像コードをつないだときにこの位置にする

電源コンセント

連動	本機後面の電源コンセントにつないだ機器の電源を、本機の電源の入/切と同時に入/切する。
非連動	本機後面の電源コンセントにつないだ機器に、本機の電源の入/切に関係なく常に電源を供給する。

「各種設定2」

S-VHS

自動	テープの種類(S-VHS/VHS方式)を自動判別し、録画する
切	常にVHS方式で録画する(S-VHSテープにVHS方式で録画するときにこの位置にする)

VHS APC^{*1}

入	テープとヘッドの状態を自動判別し、最適な画質で再生、録画 ^{*2} する(通常はこの位置にする)
切	APCは働かない

VHS音声ミックス

入	アフレコした音声と元の音声を同時に聞くとときにこの位置にする
切	通常はこの位置にする

カセットメモリーサーチ

自動	カセットメモリー付きのDVテープで、場面を一覧表示して頭出しできる(通常はこの位置にする)
切	テープ上の頭出し信号を使って、前後の場面を順に頭出ししたいときにこの位置にする

入力の音声記録

12ビット	本機の入力1端子または入力2端子につないだ機器から録画するとき、または本機でVHSからDVへダビングするとき、2つのステレオ音声記録できる(アフレコができる)
16ビット	本機の入力1端子または入力2端子につないだ機器から録画するとき、または本機でVHSからDVへダビングするとき、高品質な音声を記録したい場合はこの位置にする

DVデータコード

日付	DVデータコードボタンを押したとき、日付データのみを表示させたい場合はこの位置にする
日付/ カメラ	DVデータコードボタンを押したとき、日付データとカメラデータを表示する

*1 Adaptive Picture Control(アダプティブ・ピクチャー・コントロール)の略です。

*2 録画一時停止中にビデオ本体の表示窓にAPC表示が点滅するときは、録画●ボタンを押します。APC表示が点滅から点灯に変わります。これを確かめてから録画を始めてください。点滅した状態で録画を始めても、APCは働きません。

その他

ここでは、本機をご使用になる上でのご注意や、本機が正常に動かないときに解決する方法などについて説明します。
また、各部のなまえや索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。



使えるテープと再生・録画方式について

使用できるカセットについて

DVデッキでは、DV規格対応のDV、^{Mini}DVマークのついたカセットをお使いください。ミニDVカセットを入れると、ビデオ本体の表示窓にMini表示が出ます。

VHSデッキはS-VHS方式です。S-VHS方式は、VHS方式をさらに高画質・高解像度にした方式です。VHS・S-VHSマークのついたカセットをお使いください。メニューの「各種設定2」の「S-VHS」が「自動」のときは、S-VHSカセット使用中に、ビデオ本体の表示窓にS-VHS表示が出ます(▶ 89ページ)。

再生について

DVデッキでは、SPモードで録画したテープのみ再生できます。

VHSデッキでは、録画済みテープの記録方式(S-VHS/VHS)と録画モード(標準/3倍)を自動判別して再生します。

ご注意

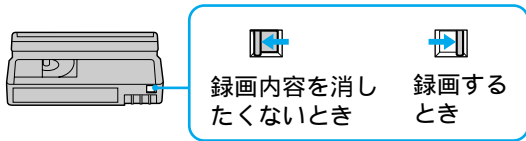
- 日本と違うカラーテレビ方式の外国製ビデオソフトは再生できません。
- S-VHS方式で録画したテープはVHS方式ビデオデッキでは再生できません。

録画について

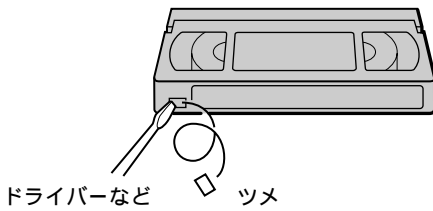
VHSデッキでは、メニューの「各種設定2」の「S-VHS」を「自動」にしておくと、テープの種類(S-VHS/VHS)を自動判別して録画します。「切」にすると、常にVHS方式で録画します(89ページ)。

ちょっと一言

- DVテープの録画内容を消したくないときは、カセットの背にある誤除去防止つまみを横にずらして赤い部分を出します。再び録画するときは、誤除去防止つまみを戻してください。



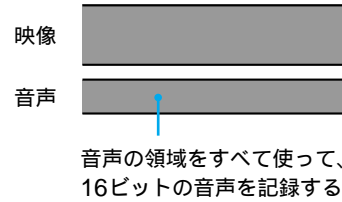
- VHSテープの録画内容を消したくないときは、ツメを折って取ります。再び録画するときは、セロハンテープなどでふさいでください。



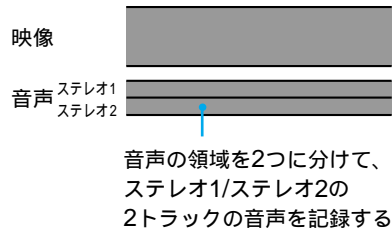
音声記録モードについて

DVデッキで録画するとき、音声は次のいずれかの方式で記録されます。

- 16ビットモード
DAT(デジタル・オーディオ・テープ)と同等の音質で記録できます。本機のチューナーでテレビやBS放送を録画するときは、音声は常に16ビットで記録されます。



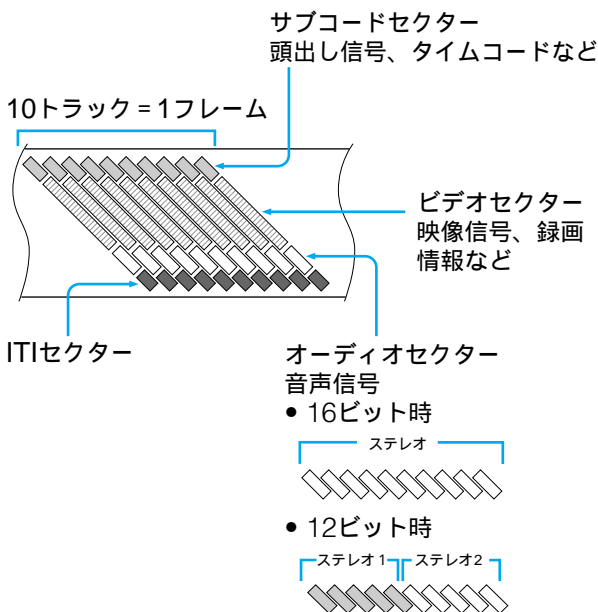
- 12ビットモード
ステレオ1/ステレオ2の2トラックで音声を記録できます。アフレコができます。



本機の入力端子につないだ機器からDVデッキで録画するとき、音声記録モードを選ぶことができます。音声記録モードは、メニューの「各種設定2」の「入力の音声記録」で選びます(89ページ)。

DV方式の記録について

DVデッキでは、テープに次のように録画を行います。



カセットメモリーについて

DVカセットおよびミニDVカセットには、カセットメモリー(CIIマーク)の付いているものがあります。カセットメモリーには、各番組の録画日時とテープ上の位置が記録され、番組の頭出しに利用できます。カセットのCII4Kマーク表示は、4キロビットまでメモリーができることを示します。なお、本機は16キロビットのカセットまで対応しています。

ご注意

- 海外の放送方式の異なるデジタルビデオとの互換性はありません。
- これらは登録商標です。

DI、^{Mini}**DI**、**CII**

使用上のご注意

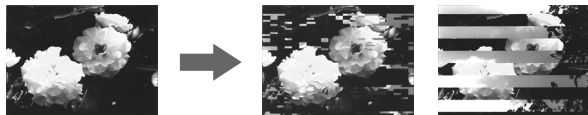
ヘッドのお手入れ - きれいな画像にするために

約20時間使ったら、別売りの乾式クリーニングカセット(DV用: DVM12CLなど、VHS用: T-25CLDなど)で、ヘッドをクリーニングしてください。クリーニングカセットは、お買い上げ店やお近くのソニーショップでお求めください。

次のような症状が出たら、すぐにヘッドをクリーニングしてください。ヘッドが汚れています。

DVのビデオヘッドが汚れたとき

- 画像にモザイク状のノイズが見られる。
- 正常に録画されなくなる。



VHSのビデオヘッドが汚れたとき

- 画像がザラついたり、不鮮明になる。
- 画像が出なかったり、灰色の画面になる。



ご注意

- クリーニングしても正常な画像に戻らないときは、くり返しヘッドをクリーニングします。ただし、5回以上くり返さないでください。それでも正常にならないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。ヘッド交換が必要なため、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- 湿式のクリーニングカセットは使わないでください。故障の原因になることがあります。

ビデオテープについて

- 落としたり、強い振動、ショックを与えないでください。
- ムラなく巻き取り、ケースに入れて立てて保管してください。
- ご使用後のテープは、所定のケースに入れ、高温多湿、磁気、直射日光、熱器具の近く、チリ、ホコリの多い場所およびカビの発生しやすい場所をさけて保管してください。
- 磁気を持ったものを近づけないでください。大切な記録が損なわれることがあります。
- 冷えた場所から暖かい場所に移すと、テープに水滴がつくことがあります。カビが生えたり、ビデオヘッドを傷める原因になりますので、乾燥するまで使用しないでください。

DVテープについて

• 端子のクリーニング

DVテープおよびミニDVテープの金メッキ端子が汚れたりゴミが付着したりすると、カセットメモリーサーチ機能などが正しく働かないことがあります。カセット取り出し回数10数回を目安にして、綿棒でテープの金メッキ端子をクリーニングしてください。



- DVテープにラベルを貼るときは
下図の場所以外には、絶対に貼らないでください。故障の原因となります。




• DVテープの使用後は

ご使用後はテープを始めまで巻き戻して、ケースに入れた上で立てて保管するようにしてください。巻き戻さないまま放置すると、画像や音声がかかる原因となることがあります。

結露について

部屋の暖房を入れた直後など、本機内部のドラムやテープに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままにしておくと、テープがドラムに貼りついて本機の故障やテープを傷める原因となります。

結露が起これると、ビデオ本体に表示が出て、本機はまったく動作しなくなったり、カセットが自動的に出てきたりします。

結露が起きたときは

電源を入れたまま1時間以上放置し、再度電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

テープの結露が起きたときは


テープが結露すると、カビが生えたり、ビデオヘッドを傷める原因となります。このときは乾燥するまでテープは使用しないでください。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。


保証期間中の接続・操作・故障に関するお問い合わせは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。


電源

電源が入っているのに操作できない。 → 結露が起きている。電源を入れたまま、本体表示窓のが消えるまで（1時間以上）待つ。

電源が入らない。 → 電源プラグをコンセントからはずす。約1分後、もう1度コンセントに電源プラグを差し込み、電源を入れる。
→ 両方のデッキに予約が入っているときは、予約録画入/切ボタン以外は働かない。

カセット



カセットが入らない。 → 電源プラグをコンセントに差し込む。
→ テープの見える面を上にして入れる。
→ 他のカセットが入っている。カセット取出しボタンを押して取り出す。



カセットを入ると出てくる。 → 結露が起きている。電源を入れたまま、本体表示窓のが消えるまで（1時間以上）待つ（DVのみ）。


画像



ビデオの画像が映らない。 → テレビを「ビデオ」の入力に切り換える。または、テレビのチャンネルを1または2（放送のないほう）にし、テレビ/ビデオボタンを押して、ビデオ本体の表示窓に「ビデオ」を表示させる。
→ メニューが出ている。メニュー/予約ボタンを押して消す。
→ 予約画面が出ている。メニュー/予約ボタンを押す。
→ テープに何も記録されていない。



DVまたはVHSどちらか一方の映像しか映らない。 → ビデオ本体の出力1切換スイッチを「ノーマル」にする。
→ テレビを出力2端子につなぐ。

再生した画像がチラつく、汚ない、モザイク状のノイズが出る。 → トラッキングがずれている（VHSのみ）。トラッキング+/- ボタンで調整する（ 28ページ）。
→ ビデオヘッドが汚れている。別売りの乾式クリーニングカセットでヘッドをクリーニングする（ 92ページ）。
→ テープに傷がある。
→ LPモードで記録されたDVテープを再生している。

ビデオで受信しているテレビ放送が映らない。 → アンテナやテレビを正しくつなぐ（ 62ページ）。
→ メニューの「チャンネル合わせ」でチャンネルを合わせる（ 69ページ）。
→ 外部入力になっている（ビデオ本体の表示窓に「L1」、「L2」または「DV」が表示されている）。チャンネル+/- ボタンを押して、テレビのチャンネルを表示させる。

ビデオで受信しているテレビ放送の画像が汚い。 → 電波が弱い。別売りアンテナブースターで電波を増幅する。
→ アンテナの向きを調節する。
→ 画像を微調整する（ 87ページ）。
→ 本機とテレビを離して設置する。
→ 本機から離してアンテナ線をたばねる。

BSが映らない。 → BSアンテナやBSコンバーターを正しくつなぐ（ 66ページ）。
→ BSアンテナの向きを調節する。
→ BSアンテナのごみや雪を取り除く。
→ メニューの「BSチャンネル設定」で、受信するチャンネルを「自動」にする（ 79ページ）。

WOWOWが映らない。 → 受信契約をして、BSデコーダーを正しくつなぐ（ 83ページ）。
→ BSデコーダーの電源を入れる。
→ メニューの「BSチャンネル設定」で、受信するチャンネルを「自動」または「デコーダー」にする（ 79ページ）。

テレビのチャンネルを変えられない。
→ テレビを「テレビ」の入力に切り換える。または、本機のテレビ/ビデオボタンを押して、ビデオ本体の表示窓の「ビデオ」を消す。

2画面/マルチ画面が映らない。
→ ビデオ本体の出力1切換スイッチを「ノーマル」にする(35、37ページ)。

2画面/マルチ画面のとき画像の一部にゆがみや色ズレが生じる。
→ テレビの明るさなどを調節して明るさを下げる。

本機の入力端子につないだ機器の画像が映らない。
→ ビデオチャンネル+/- ボタンを押して、入力1端子につないでいるときは「L1」を、入力2端子につないでいるときは「L2」を、DV端子につないでいるときは「DV」をビデオ本体の表示窓に出す。
→ S映像端子を使って本機の入力1端子につないだ場合は、メニューの「各種設定1」で「映像入力1」を「S映像」にする。S映像端子を使っていなければ「映像」にする(89ページ)。

本機につないだ他機で再生・受信している画像がゆがむ。
→ DVDプレーヤーやビデオデッキなどで再生しているソフトや、デジタルCSチューナーなどで受信している信号に、著作権保護のための信号が含まれている。プレーヤーやチューナーなどの機器を本機からはずして、テレビに直接つなぐ。

音声

2つの音が混ざって聞こえる。
→ 音声切換ボタンを押す。
→ メニューの「各種設定2」で「VHS音声ミックス」を「切」にする(89ページ)。
→ 2画面の音声と同時にしている。音声を元に戻す(36ページ)。
→ DV音声切換スイッチが「ミックス」になっている。「ステレオ1」または「ステレオ2」にする(25ページ)。

再生時に音声が途切れる。
→ テープに傷がある。

ステレオ放送を録画したテープがモノラルで聞こえる。
→ モノラル音声選ばれている。音声切換ボタンを押してステレオ音声を選ぶ。

→ モノラルビデオで録画したテープは、常にモノラル音声になる。
→ テレビとビデオをアンテナ線だけでつないでいる。映像・音声入力端子付きテレビのときは、映像・音声コードもつなぐ。
→ 録画するときにメニューの「各種設定1」で「自動ステレオ受信」を「入」にしておく(88ページ)。
→ 電波が弱いためモノラルで録画されていた。アンテナの向きを調節するか、別売りのアンテナブースターで電波を増幅する。

録画・予約・編集

録画ボタンを押すと、カセットが出てくる。
→ カセットが録画できない状態になっている。録画したいときは録画できる状態にする(91ページ)。

ダビングボタンを押すと、カセットが出てくる。
→ カセットが録画できない状態になっている。ダビングしたいときは録画できる状態にする(91ページ)。
→ 市販のビデオソフト/レンタルビデオはダビングできません。

裏番組録画中、テレビでチャンネルを変えられない。
→ テレビを「テレビ」の入力に切り換える。または、本機のテレビ/ビデオボタンを押して、本体表示窓の「ビデオ」を消す。

予約したのに録画されていない。
→ 予約待機中に1時間以上の停電があり、時計が止まったため。時計を合わせ直す(70ページ)。
→ 著作権保護のための信号が含まれているものを予約していた(DVのみ)。

予約した内容が途中で切れている。
→ 予約録画中に停電が起きて電源が切れたため。1時間以内に停電が回復すれば時計は止まらず、回復時から終了時刻まで録画される。1時間以上の停電で時計が止まったときは、時計を合わせ直す(70ページ)。
→ 予約が重なっていた(15ページ)。
→ プロ野球中継など前の番組が延長されたため。

故障かな？と思ったら(つづき)

予約した内容が途中から始まっている。

→ 予約録画が始まる前に停電があり、回復時から録画が行われたため。

アフレコ中にテープが止まる。

→ カウンターが0H00M00Sになると自動的に停止するため。

→ テープに録画されていない部分がある(DVのみ)

→ テープの音声記録モードが、12ビットから16ビットに途中で切り換わっている(DVのみ)

→ テープの録画モードがSPからLPに途中で切り換わっている(DVのみ)

Gコード

Gコードが入力できない。予約内容が違う。

→ 間違ったGコードが入力されている。正しいGコードを入力する。

→ 間違った地域番号が設定されている。正しい地域番号を設定する。

→ 受信している放送局が登録されていない。チャンネルを追加する(➡81ページ)

→ ケーブルテレビ(CATV)は、Gコードで予約できないことがある。時刻指定予約をする。

→ 日付がずれている。日付・時計を正しく合わせる(➡70ページ)

表示

メニューや画面表示が画面に出ない。

→ テレビを「ビデオ」の入力に切り換える。または、テレビのチャンネルを1または2(放送のないほう)にする。

→ テレビの入力端子に本機の出力2端子をつなぐ。

→ ビデオ本体の出力1切換スイッチを「ノーマル」にする。

ビデオ本体のカセット表示が点滅する。

→ 予約待機中で、テープが終わりまで進んでいるため。テープを巻き戻し、予約録画入/切ボタンを押す。

→ 予約待機中で、カセットが入っていない。カセットを入れ、予約録画入/切ボタンを押す。

ビデオ本体の

テープカウン
ターが動かない。

→ 録画されていない部分は動かない。
→ 早送り、巻き戻しの加減速中は、表示が止まることもある(DVのみ)

テープカウン
ターやタイム
コードが連続
して表示され
ない(DVの
み)

→ 本機はドロップフレーム方式(➡106ページ)を採用しているため、29フレームから02フレームに飛ぶことがある。

→ 録画されていない部分がある。

→ ヘッドが汚れている。

→ 早送り、巻き戻しの加減速中は、表示が止まることもある。

本体表示窓に「- : -」が点灯している。

→ 時計を合わせる(➡70ページ)

→ 1時間以上の停電で時計が止まっている。時計を合わせ直す(➡70ページ)

ビデオ本体に
表示が出て
いる。

→ 自己診断機能が働いている。右の「自己診断表示」にしたがって対応する。

リモコン

リモコンが働かない。

→ 電池が消耗している(➡61ページ)。

→ 電池が入っていない(➡61ページ)。

→ 本体の電源を入れる。

→ リモコンを本体に向けて操作する。

→ ビデオ本体とリモコンのリモコンモードが違っている。同じリモコンモードにする(➡61ページ)。

→ 両方のデッキに予約が入っているときは、予約録画入/切ボタン以外は働かない。


→ 電池を交換すると、リモコンのテレビメーカー設定はお買い上げ時の設定に戻る。メーカー番号を合わせ直す(➡86ページ)。

本機のリモ
コンで操作したら、
本機と他のソ
ニーのビデオ
が同時に動い
てしまった。

→ 本機と他機のリモコンモードが同じになっている。本機のリモコンモードを変える(➡61ページ)。



自己診断表示

(アルファベットや数字で始まる表示、表示が出たら)

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機が正しく動作していないときに、ビデオ本体の表示窓に数字とアルファベットの4桁～5桁の表示、または表示を出してお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧ください。各表示にあった対応をしてください。

表示の「□□」に入る数字またはアルファベットは、本機の状態によって変わります。

表示	原因と対応のしかた
	結露が起きている。電源を入れたまま、本体表示窓の  が消えるまで(1時間以上)待つ。
□□□□ (4桁、DV)	本機が正しく動作していない。カセットを入れ直し、再度操作し直す。
□□□□□ (5桁、VHS)	

正常に戻らないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。その際は、表示をお知らせください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が、添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービスへお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社はビデオデッキの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

型名 : WV-D10000

故障の状態 : できるだけ詳しく

購入年月日 :

主な仕様

システム

録画方式	DV : DV方式(民生用デジタルVCR・SD仕様) VHS : 回転2ヘッドヘリカルスキャンFM方式
録音方式	DV : 回転2ヘッドヘリカルスキャンデジタルコンポーネント記録 VHS : 回転2ヘッドハイファイステレオ方式(VHS従来音声トラックはモノラル録音)
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
映像量子化(DV)	8ビット
映像標準化周波数(DV)	13.5MHz(4:1:1コンポーネント)
音声量子化(DV)	16ビット(直線)または12ビット(非直線)
音声標準化周波数(DV)	48kHz(16ビット録音時)または32kHz(12ビット録音時)
テープ速度	DV : 18.8 mm / 秒(SP) VHS : 33.4 mm / 秒(標準) 11.1 mm / 秒(3倍)
使用可能テープ	DV : DV方式、ミニDV方式のビデオカセットテープ VHS : S-VHS, VHS方式のビデオカセットテープ
最大録画時間	DV(DV120使用時): 2時間 VHS(T-180使用時): 3時間(標準) 9時間(3倍)
早送り・巻き戻し時間	DV : 約1分30秒(DV120使用時) VHS : 約3分(T-120使用時)
映像受信方式	周波数シンセサイザー方式
音声受信方式	インターキャリア方式
受信チャンネル	VHF : 1~12チャンネル UHF : 13~62チャンネル CATV : C13~C35チャンネル BS : 1,3,5,7,9,11,13,15チャンネル

入・出力端子

アンテナ入出力	VHF/UHF1軸、 75 F型コネクター BS-IF : 75 F型コネクター (コンバーター用電源出力DC15V最大4W) 芯線側+、入/切スイッチ付き (本体電源スイッチと非連動)
映像入力	入力1/入力2/デコーダー入力の3系統、ピンジャック、 1 Vp-p(75 不平衡)
映像出力	出力1/出力2の2系統、 ピンジャック、 1 Vp-p(75 不平衡)
S映像入力	入力1/入力2の2系統、4ピンミニDIN、1 Vp-p(75 不平衡) 色信号 : 0.286 Vp-p (75 不平衡)
S映像出力	出力1/出力2の2系統、4ピンミニDIN、1 Vp-p(75 不平衡) 色信号 : 0.286 Vp-p (75 不平衡)
音声入力	入力1/入力2/デコーダー入力の3系統、ピンジャック(左、右) 入力レベル : 327 mVrms (入力インピーダンス : 47 k 以上)
音声出力	出力1/出力2の2系統、ピンジャック(左、右) 出力レベル : 327 mVrms (出力インピーダンス : 10 k 以下)
DV入出力	4ピンジャック
検波入力	ピンジャック、75 、0.67 Vp-p
検波出力	ピンジャック、75 、0.67 Vp-p
ビットストリーム入力	ピンジャック、75 、0.5 Vp-p
ビットストリーム出力	ピンジャック、75 、0.5 Vp-p
AFC入力	ピンジャック、75

電源部・その他

電源部	AC100 V、50/60 Hz
消費電力	53 W(コンバーター用電源「切」時)、5.5 W(電源「切」時)
補助電源コンセント	連動/非連動(最大200 W)
時計方式	クォーツクロック、12時間デジタル表示
停電補償時間	1回 約1時間以内
許容動作温度	5 ~ 40
許容保存温度	- 20 ~ 60
最大外形寸法	幅 430 × 高さ 122 × 奥行き 393mm(最大突起含む)
本体質量	約 9.6 kg
付属リモコン	RMT-V228 電源 : DC 3 V(単3形乾電池2個付属)
付属品	60ページ参照

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

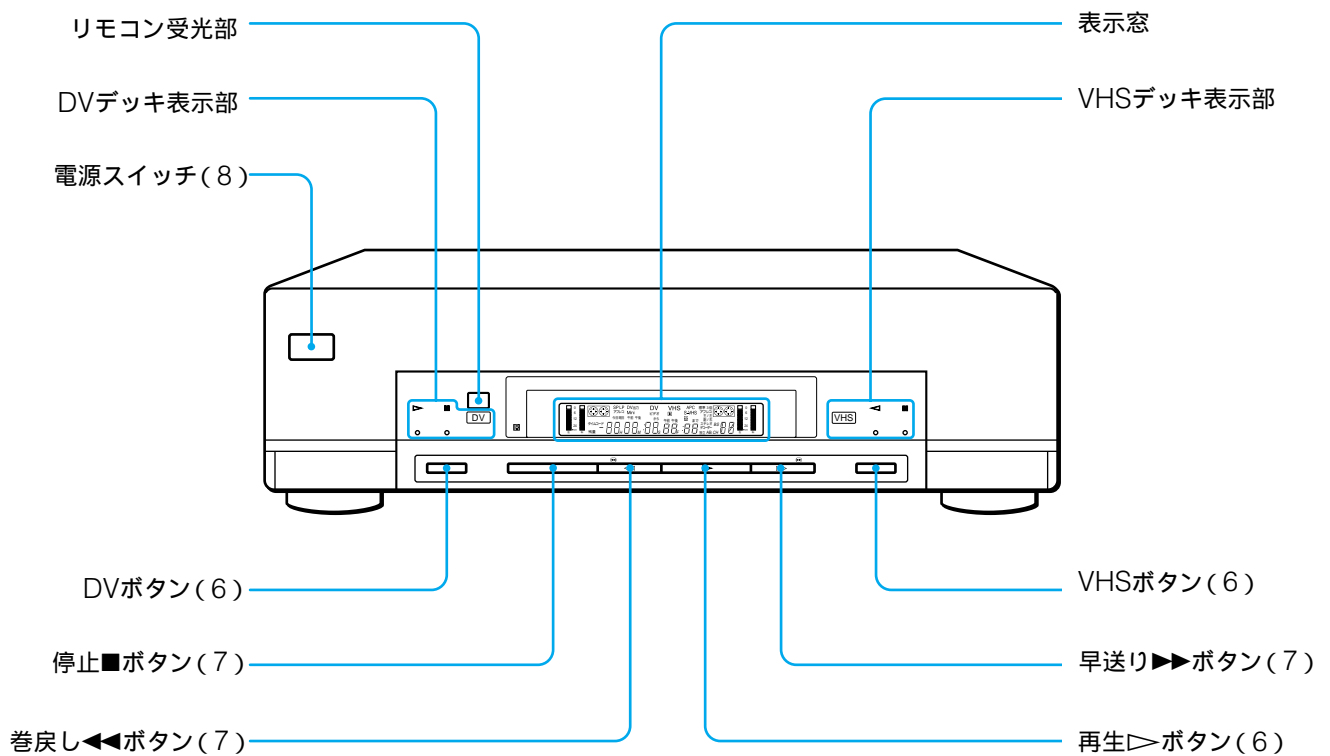
各部のなまえ

各部の説明は()内のページをご覧ください。

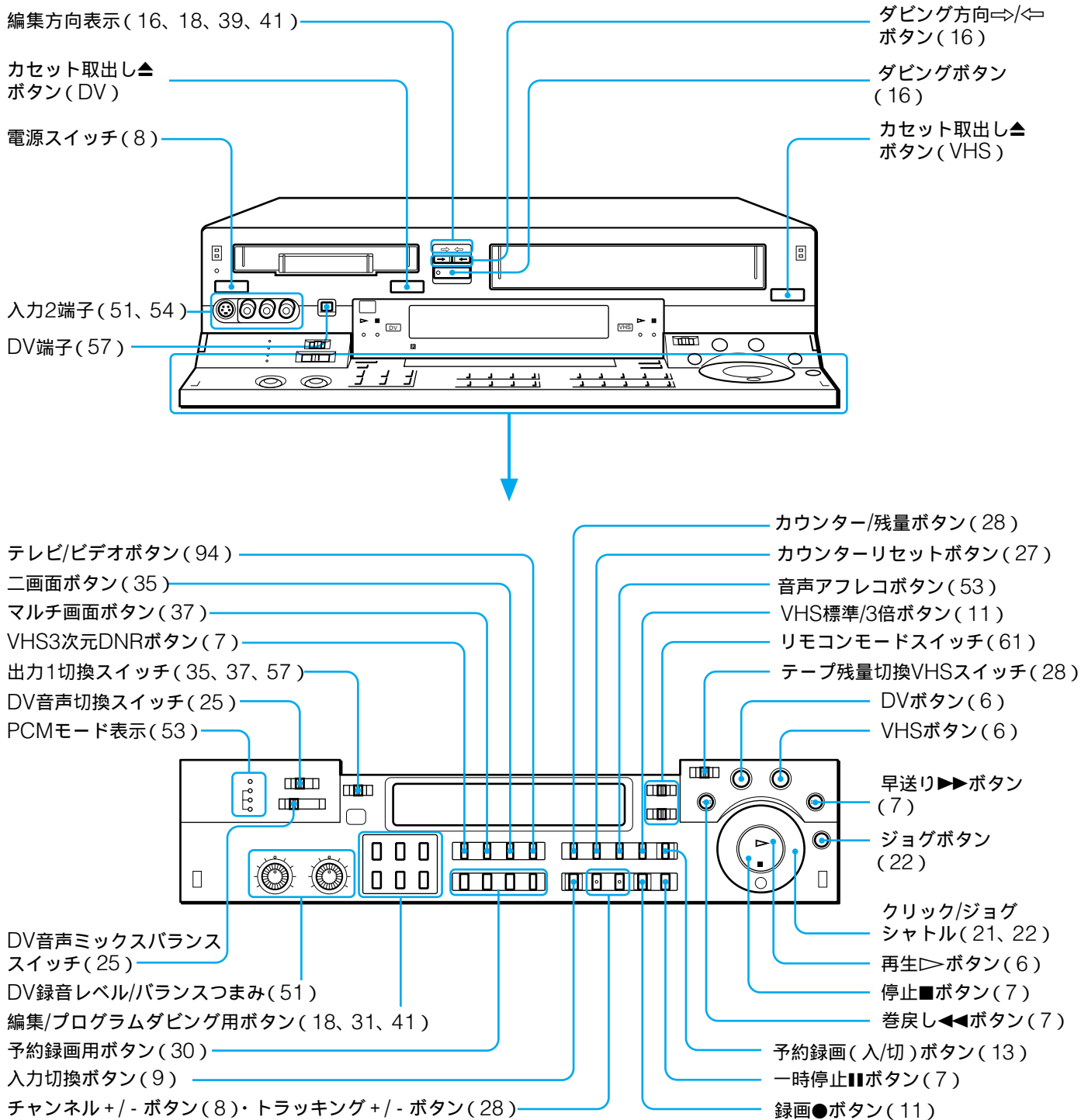
本体

本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。

前面

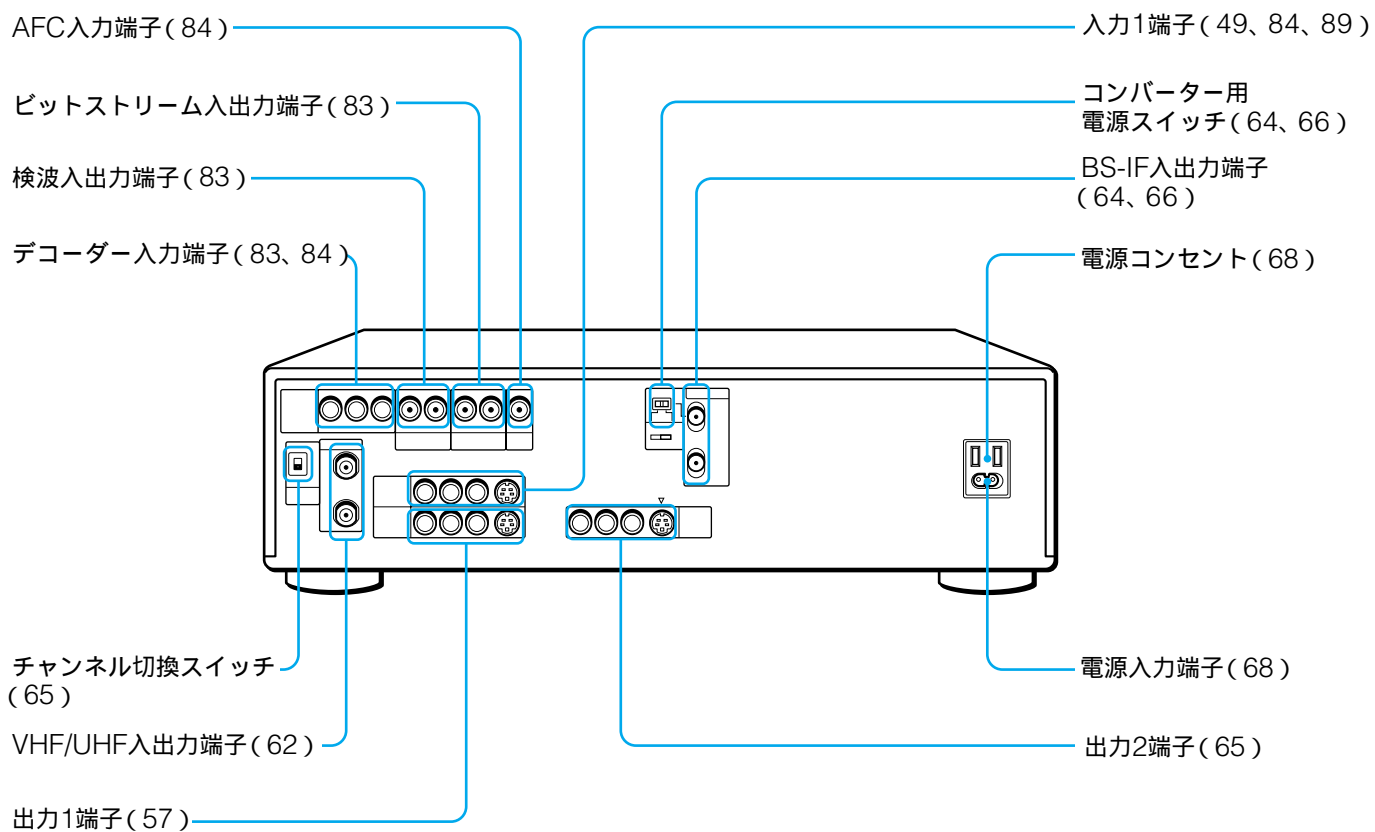


前面(とびらを開けたとき)

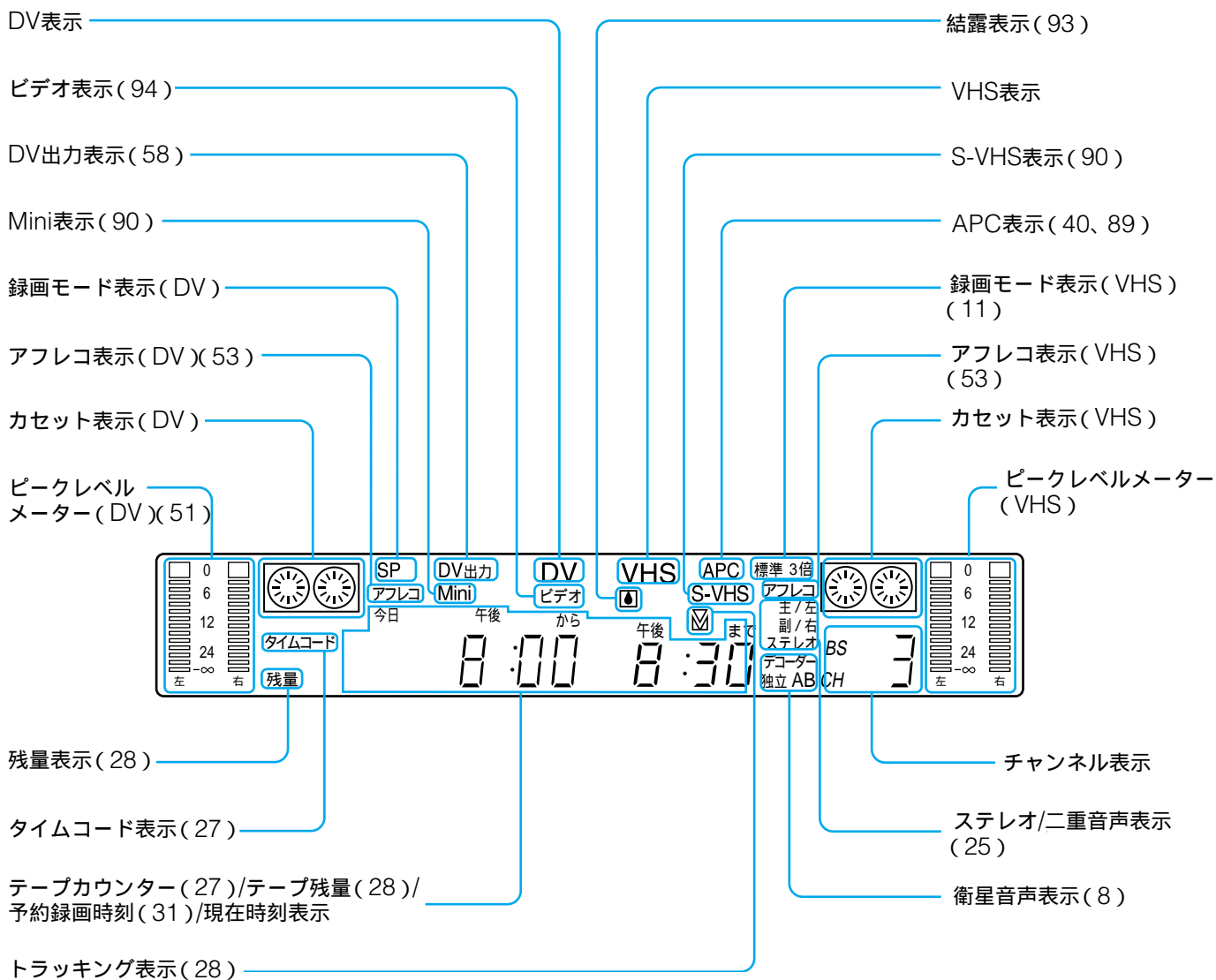


各部のなまえ(つづき)

後面



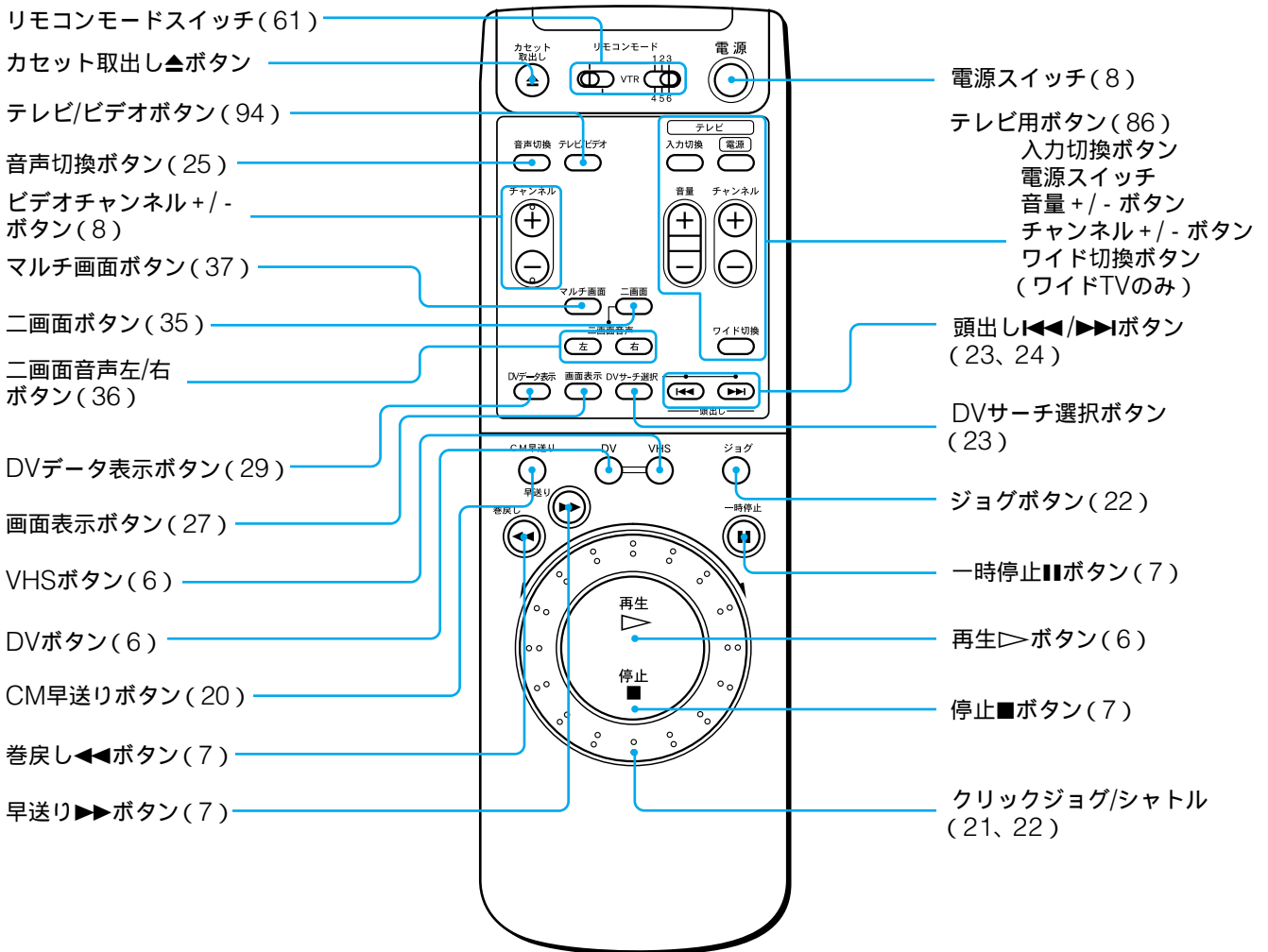
本体表示窓



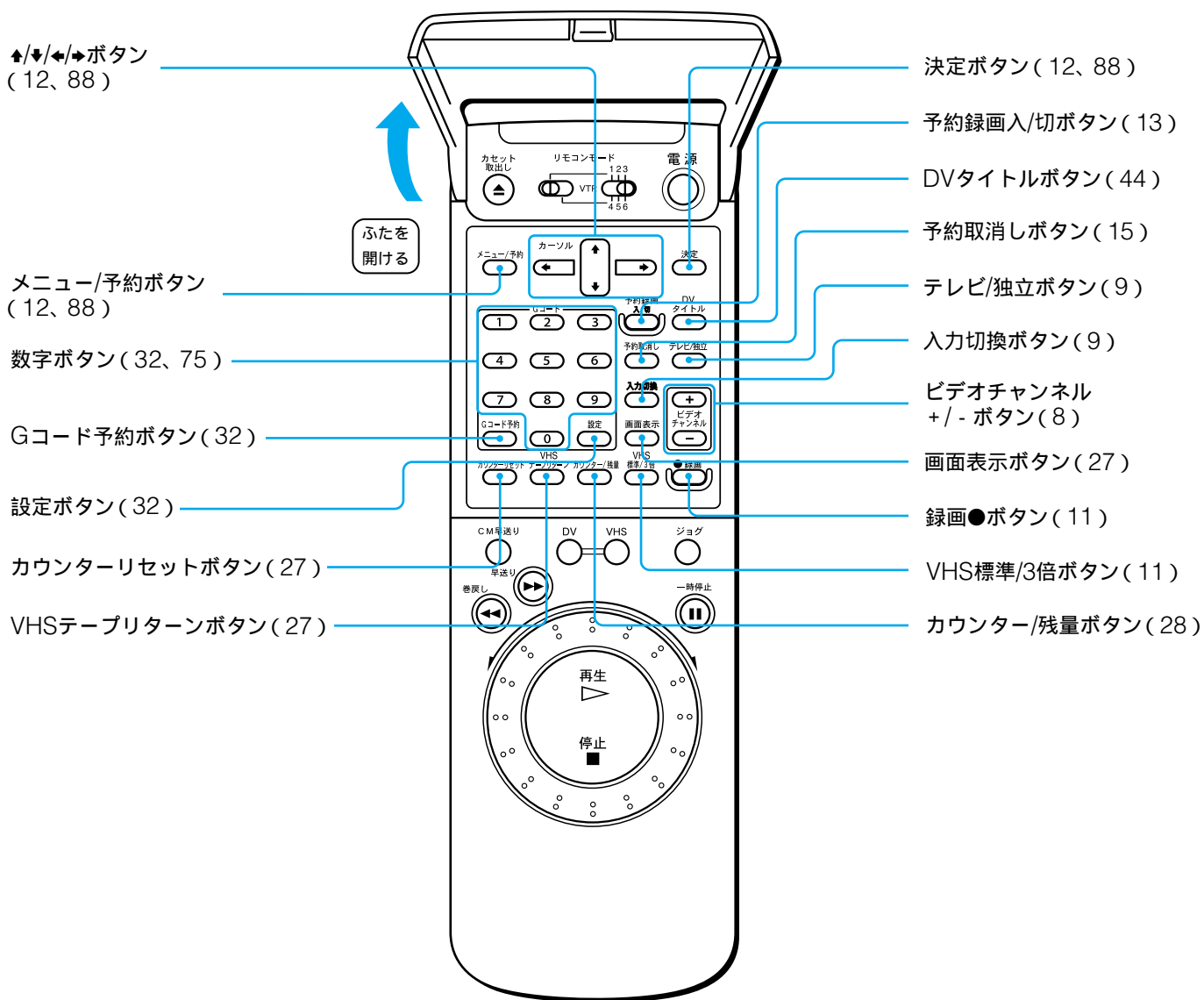
各部のなまえ(つづき)

リモコン

リモコンのボタンは本体の同じ名前のボタンと同じ働きをします。



ふたを開けたとき



用語解説


五十音順

カ行

ガイドチャンネル

ジェムスター社が各放送局に割り当てている識別番号です。

結露

暖房を入れて室温が急に上がったときなどに、本機のドラムやテープに水滴が付くことです。テープがドラムに貼り付いて故障の原因になります。電源を入れたまま表示窓のが消えるまで1時間以上待ってください。

検波

放送衛星から送られてくるFM電波を復調することです。

サ行

3次元DNR

デジタル処理で再生画像のノイズを軽減します。

DNRはDigital Noise Reduction(デジタル・ノイズ・リダクション)の略です。

受信チャンネル

ビデオが放送局を受信したときのチャンネルです。通常は新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されている各放送局の番号と同じです。本機では、チャンネルの設定を自動で行ったときに設定されます。

タ行

タイムコード

DVデッキで、テープ上の位置を映像とともに時・分・秒・フレーム(1フレーム=約1/30秒)単位で記録する機能です。1フレームが映像の1コマに対応しており、テープ上の位置の正確なカウンターとして使えます。なお、本機ではドロップフレーム方式を採用しています。

トラッキング

テープに記録された信号をなぞって読みとるようにすることです。ずれると再生時に画像がチラついたり、雑音が入ったりします。

ドロップフレーム方式

30フレーム/秒でカウントするタイムコードと、フレーム周期が1/29.97秒のNTSC映像信号との間に起きるずれを自動的に補正する方式です。分の単位が更新されるときに、フレームを02から(分が10の倍数のときは00から)始めることで補正を行っています。

ナ行

ノーマル音声

ハイファイでないVHSビデオで録画・再生するときやアフレコ機能のあるVHSビデオでアフレコするときに使われるモノラル音声です。

ハ行

ハイファイ音声

ハイファイビデオ(本機など)で再生したときに聞こえる高品質なステレオ音声です。

ビットストリーム

放送衛星から送られてくる電波のデジタル信号(音声信号とデータ信号)のことです。データ信号は、文字放送や静止画放送、ファクシミリ放送などが開始したときに送られてくる信号です。

表示チャンネル

ビデオで放送局を選ぶとき表示されるチャンネルです。通常は受信チャンネルと同じですが、変更することができます。

ヘッド

テープに信号を記録したり、テープから信号を読みとる部分です。美しい画像を楽しむために定期的にクリーニングしてください。

ヤ行

予約待機

予約をすると、ビデオ本体の予約録画表示が点灯して電源が切れます。これが予約待機(予約録画待ち)の状態です。予約した時間になると自動的に録画が行われます。

ラ行

リモコンモ - ドスイッチ

2台以上のソニーのビデオデッキを使うとき、操作したいデッキだけが反応するようにリモコンの信号を切り換えるスイッチです。ビデオ本体とリモコンのリモコンモ - ドが合っていないと、リモコンでは操作できません。

アルファベット順

AFC

ハイビジョンの周波数を自動的に調整し、正確に保ちます。

AFCはAutomatic Frequency Control(オートマチック・フレクエンシー・コントロール)の略です。

APC

他機で録画したVHSテープの再生・録画やレンタルビデオの再生を、テープやヘッドの状態を自動的に判断して、最適な画質にします。本機ではメニューで「APC」を「切」にしない限り常にはたります。

APCはAdaptive Picture Control(アダプティブ・ピクチャー・コントロール)の略です。

BSコンバーター

放送衛星から送られてくる高周波数の電波を、BSチューナーで受信できるよう低周波数に変換する機器です。

BSデコーダー

民間BS(WOWOWなど)のスクランブルのかかった電波を解読する機器です。

CATV

契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送のことです。通常のテレビ番組やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

CATVはCable Television(ケーブル・テレビジョン)の略です。

Gコード

一部の新聞や雑誌のテレビ欄で、各番組の末尾にのっている、番組を予約するための番号です。

索引

五十音順

ア行

頭出し 22
アンテナ切りかえ 65、88
一時停止 7
裏番組 11
オートプレイ 7
音声切換 25
音声記録モード 5
音声ミックス 25、26

カ行

快速本体予約 30
ガイドチャンネル 72、81、106
外部入力 54、56
カウンター 27
「各種設定1」 88
「各種設定2」 89
カセットメモリー 22、48、91
「カセットメモリー消去」 48
画面表示 27
クリーニングカセット 92
ケーブルテレビ 85
ゲームをする 54
結露 93、106
検波 106

サ行

再生 6
2倍速 21
スロー 21
再生・録画方式 90
3次元DNR 7、106
3倍 11
「時刻合わせ」 70
自己診断表示 97
ジャストクロック 71
受信チャンネル 77、106
ステレオ放送 25

Gコードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しています。

Printed in Japan

タ行

タイムコード 27、106
ダビング 16、18、41
地域番号 72、75
「チャンネル/BS設定」
自動チャンネル合わせ 69
手動チャンネル合わせ 76
チャンネルとばし 78、79
ツインサウンド 36
ツインピクチャー 34
ツメ 7、11、13、91
テープカウンター 27
テープ残量 28
停止 7
電源コード 68
電源コンセント 68
時計合わせ 70
トラッキング 28、106

ナ行

二か国語放送 25
2画面 34
ノーマル音声 106

ハ行

ハイビジョン 84
ハイファイ音声 106
早送り 7
ビットストリーム 106
ビデオを見る 6、54
表示チャンネル 76、82、106
標準 11
ヘッド 92、106
編集 38、56

マ行

巻戻し 7
マルチピクチャー 37
メーカー設定 86

ヤ行

予約 12
Gコード予約 32
快速本体予約 30
確認 14
取り消し 14
変更 14
「予約設定/確認」 12、14
予約待機 13、106

ラ行

リモコン 61、86
リモコン電池交換 61
リモコンモード 61、106
録画 10
録画情報 29
録画モード 11

アルファベット順

AFC 107
APC 89、107
BSアンテナ 66
BSアンテナの向きを調節する 66
BSコンバーター 107
BSデコーダー 83、107
BSを見る 8
CATV 85、107
CMとばし 20
DV方式 91
Gコード 32、72、107
「Gコード設定」 75
「L1」、「L2」 55、58
SP 7、11
S-VHS 89、90
VHS 89、90

保証期間中の接続・操作・故障に関するお問い合わせは
テクニカルインフォメーションセンターへ
フリーダイヤル 0120-88-9374

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル……………  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は…………… 03-5448-3311

● Fax …………… 0466-31-2595

受付時間：

月～金

9:00～20:00

土・日・祝日

9:00～17:00